

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 在宅介護実態調査

調査結果報告書

令和2年6月



目 次

I 調査の概要.....	1
1 調査の目的	3
2 調査の設計	3
3 表記及び注意点について	4
II 調査結果①【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】	5
調査票記入者やご本人の情報について	7
（1）調査票記入者	7
（2）年齢	7
（3）性別	8
（4）居住地区	8
1 あなたのご家族や生活状況について	9
（1）家族構成	9
（2）介護・介助の必要性	9
（3）介護・介助が必要になった主な原因	10
（4）主な介護・介助者	11
（5）現在の暮らしの経済的状況	11
（6）住居の形態	12
2 からだを動かすことについて	13
（1）階段昇行	13
（2）起立	13
（3）継続的な歩行	14
（4）転倒した経験	14
（5）転倒に対する不安	14
（6）外出しているか	15
（7）外出頻度の減少	15
（8）外出を控えているか	15
（9）外出を控える理由	16
（10）外出する際の移動手段	17
3 食べることについて	18
（1）本人の身長・体重	18
（2）固いものが食べにくくなったか	19
（3）お茶や汁物等でむせることがあるか	19
（4）口の渇き	19
（5）歯磨きの習慣	20
（6）歯の数と入れ歯の利用状況	20
（7）噛み合わせ	21
（8）入れ歯の手入れ	21
（9）体重の減少	22
（10）誰かと食事をする機会	22
4 毎日の生活について	23
（1）物忘れがあるか	23
（2）電話をかけているか	23
（3）日にちがわからないことがあるか	24
（4）一人での外出	24
（5）食品・日用品の買い物	24
（6）食事の用意	25
（7）請求書の支払い	25
（8）預貯金の出し入れ	25

(9) 年金などの書類が書けるか	26
(10) 新聞を読んでいるか	26
(11) 本や雑誌を読んでいるか	26
(12) 健康についての記事や番組への関心	27
(13) 友人宅への訪問	27
(14) 相談にのっているか	27
(15) 病人の見舞いができるか	28
(16) 若い人への話しかけ	28
(17) 趣味はあるか	29
(18) 生きがいはあるか	29
5 地域での活動について	30
(1) 会・グループへの参加状況	30
(2) 地域活動への参加者としての参加希望	33
(3) 地域活動への企画・運営者としての参加希望	33
6 たすけあいについて	34
(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人	34
(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人	34
(3) 看病や世話をしてくれる人	35
(4) 看病や世話をしてあげる人	35
(5) 家族や友人・知人以外の相談相手	36
(6) 友人・知人と会う頻度	37
(7) 1か月間に会った友人・知人の数	37
(8) よく会う友人・知人との関係	38
7 健康について	39
(1) 主観的健康感	39
(2) 主観的幸福感	39
(3) 最近1か月間の気分の状態	40
(4) 最近1か月間の物事に対する心の状態	40
(5) 飲酒の状況	41
(6) 喫煙の状況	41
(7) 治療中の病気	42
8 認知症にかかる相談窓口の把握について	43
(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか	43
(2) 認知症に関する相談窓口の認知度	43
9 その他	44
(1) 健康維持のために必要なこと	44
(2) 利用してみたい高齢者福祉サービス	45
10 リスク分析	47
(1) 運動器機能の低下	47
(2) 転倒リスク	48
(3) 閉じこもり傾向	49
(4) 低栄養傾向	50
(5) 口腔機能の低下	51
(6) 認知機能の低下	52
(7) IADL（手段的自立度）の低下	53
(8) うつ傾向	54
(9) 知的能動性の低下	55
(10) 社会的役割の低下	56
(11) 居住地区別有リスク割合	57

Ⅲ 調査結果②【在宅介護実態調査】	59
調査票記入者について	61
◎A表の聞き取りを行った相手の方	61
◎性別	61
◎年齢	61
◎要介護状態区分	62
A票 認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目	63
(1) 世帯類型	63
(2) 家族・親族からの介護の状況	63
(3) 主な介護者	64
(4) 主な介護者の性別	64
(5) 主な介護者の年齢	65
(6) 主な介護者が行っている介護	65
(7) 介護を理由に仕事を辞めた家族・親族	66
(8) 介護保険サービス以外の支援・サービス利用状況	66
(9) 在宅生活の継続に必要な支援・サービス	67
(10) 施設への入所・入居の検討状況	67
(11) 現在抱えている傷病	68
(12) 訪問診療の利用状況	68
(13) 介護保険サービスの利用状況	69
(14) 介護保険サービスを利用していない理由	69
B票 主な介護者、もしくはご本人にご回答・ご記入頂く項目	70
(1) 主な介護者の勤務形態	70
(2) 働き方の調整について	70
(3) 仕事と介護の両立のための支援	71
(4) 主な介護者の仕事と介護の継続	71
(5) 主な介護者が不安に感じる介護	72
Ⅳ 自由記述	73
Ⅴ 資料編	85
1 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査 調査票	87
2 在宅介護実態調査 調査票	103

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、令和3年度から令和5年度を計画期間とする「第8期匝瑳市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」を策定するにあたり、本市の高齢者の日常生活の状況、心身の状態、介護予防に対する意識、在宅介護の状況、福祉・介護保険事業に関する意見などをうかがい、計画づくりの参考資料とし活用するために実施しました。

2 調査の設計

調査の設計対象は次のとおりです。

	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	在宅介護実態調査
調査地域	匝瑳市全域	匝瑳市全域
調査基準日	令和元年12月31日現在	—
調査期間	令和2年2月7日～2月21日	令和元年10月3日～令和2年4月30日
調査方法	郵送配布、郵送回収	認定調査員による聞き取り調査
調査対象	要介護認定(要介護1～5)を受けていない65歳以上の方(無作為抽出)	在宅で生活している要支援・要介護認定を受けている方のうち、上記の「調査期間」内に更新申請及び区分変更申請に伴う認定調査を行った方
調査対象者数	2,000人	—
有効回収数	1,391人	237人
有効回収率	69.6%	—
その他	調査票送付後10日から2週間後に礼状兼催促状を郵送	—

3 表記及び注意点について

1. 回答は、各質問の回答該当者数を基数とした百分率（％）で示しています。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合があります。
2. 複数回答を許している回答項目については、その項目に対して有効な回答をした者の数を基数として比率算出を行っているため、回答比率の合計は100.0%を超えることがあります。
3. 説明文及びグラフで、選択肢の語句を一部簡略化して表しています。
4. グラフでは、その設問に対して回答することのできる対象者数を「n」と表記し、その数を表しています。
5. 日常生活圏域として設定した「匝瑳市全域」、および「西地区」「東地区」「南地区」の3地区別に集計を行いました。

居住地区	中学校区	地区名
西地区	八日市場第二中学校	中央、豊栄、須賀、匝瑳、吉田、飯高
東地区	八日市場第一中学校	豊和、共興、平和、椿海
南地区	野栄中学校	野田、栄

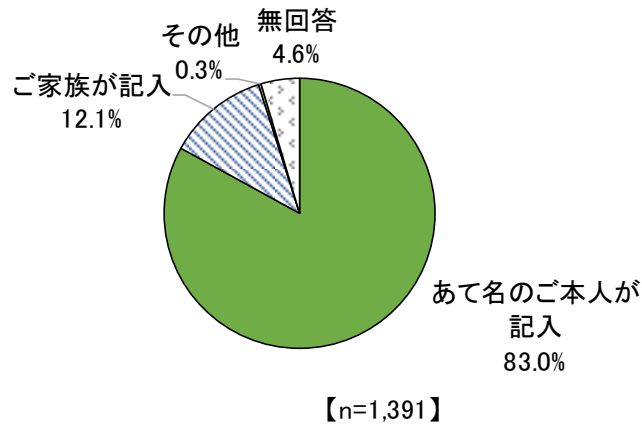
Ⅱ 調査結果①

【介護予防・日常生活圏域二一ズ調査】

調査票記入者やご本人の情報について

(1) 調査票記入者

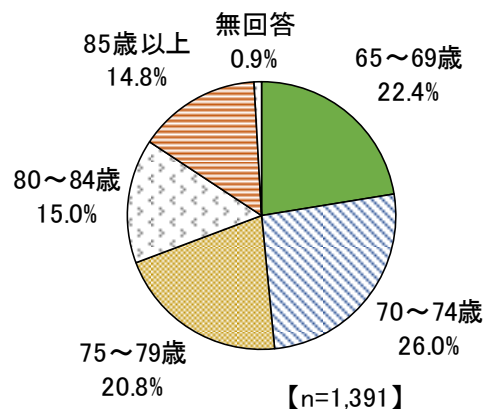
調査票を記入されたのはどなたですか。（○は1つ）



調査票を記入した方は、「あて名のご本人が記入」が83.0%で最も多く、次いで「ご家族が記入」が12.1%となっています。

(2) 年齢

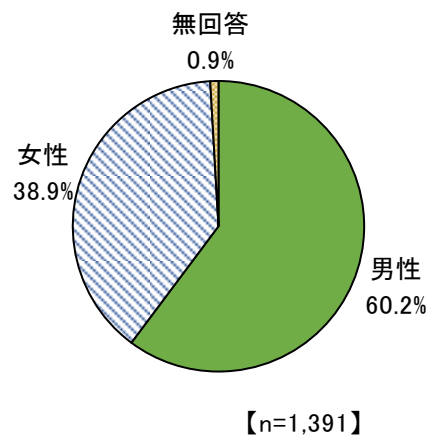
あて名のご本人の年齢を記入してください。



年齢は、「70～74歳」が26.0%で最も多く、以下、「65～69歳」が22.4%、「75～79歳」が20.8%、「80～84歳」が15.0%、「85歳以上」が14.8%などとなっています。

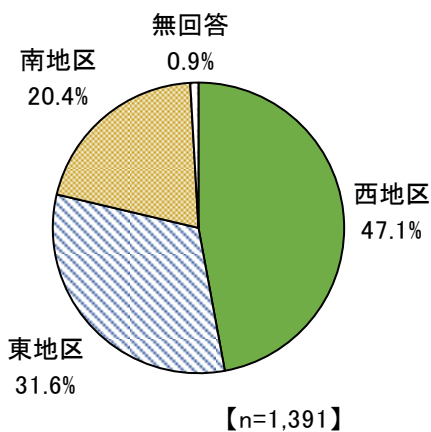
(3) 性別

(3) あて名のご本人の性別をお答えください。



性別は、「男性」が60.2%で、「女性」が38.9%となっています。

(4) 居住地区

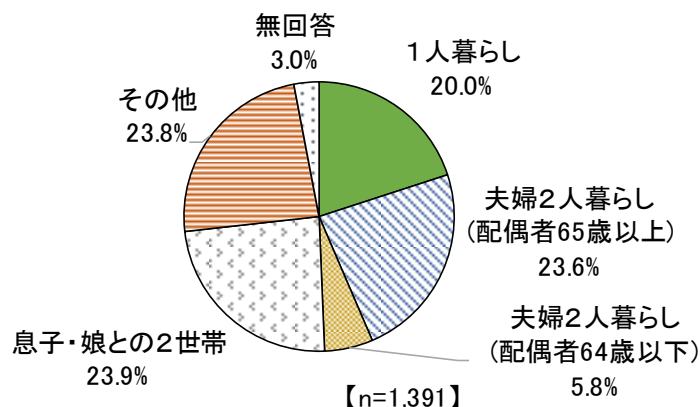


居住地区は、「西地区」が47.1%、「東地区」が31.6%、「南地区」が20.4%となっています。

1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成

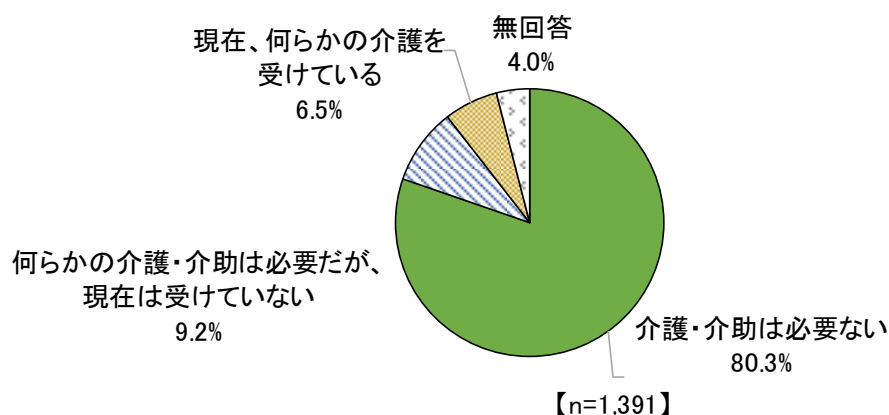
(1) 家族構成をお教えてください。(○は1つ)



家族構成については、「息子・娘との2世帯」が23.9%で最も多く、以下、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が23.6%、「1人暮らし」が20.0%、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」が5.8%となっています。

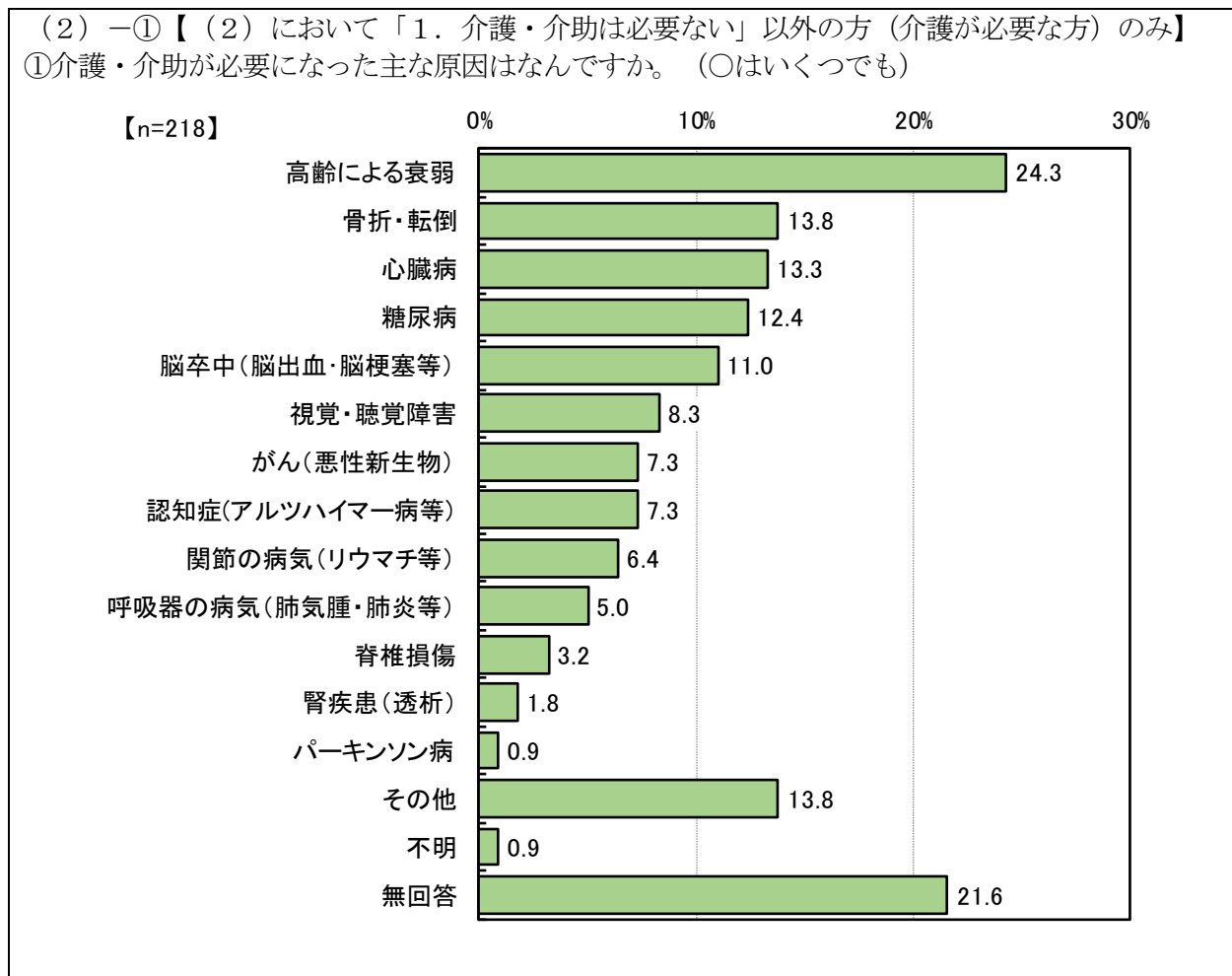
(2) 介護・介助の必要性

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)



普段の生活で介護・介助を必要とするかについては、「介護・介助は必要ない」が80.3%で最も多く、以下、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が9.2%、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」が6.5%となっています。

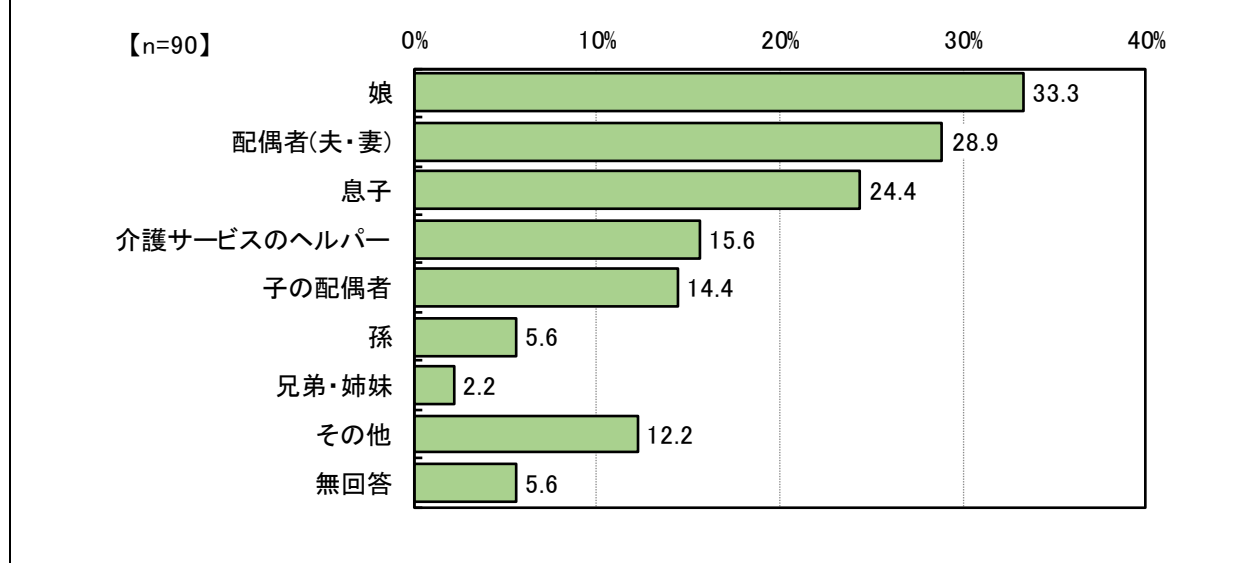
(3) 介護・介助が必要になった主な原因



介護・介助が必要と回答した人に、介護・介助が必要になった原因を尋ねたところ、「高齢による衰弱」が24.3%で最も多く、以下、「骨折・転倒」が13.8%、「心臓病」が13.3%、「糖尿病」が12.4%、「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」が11.0%などとなっています。

(4) 主な介護・介助者

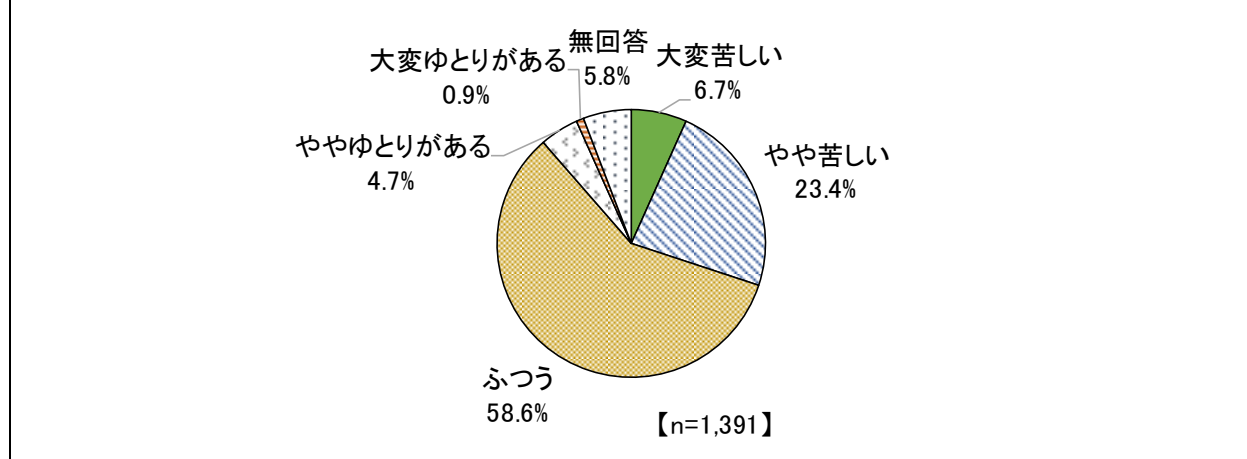
(2) - ②【(2)において「3. 現在、何らかの介護を受けている」方のみ】
 ②主にどなたの介護、介助を受けていますか。(〇はいくつでも)



介護・介助を受けていると回答した人に、主な介護・介助者を尋ねたところ、「娘」が33.3%で最も多く、以下、「配偶者(夫・妻)」が28.9%、「息子」が24.4%、「介護サービスのヘルパー」が15.6%、「子の配偶者」が14.4%などとなっています。

(5) 現在の暮らしの経済的状況

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(〇は1つ)

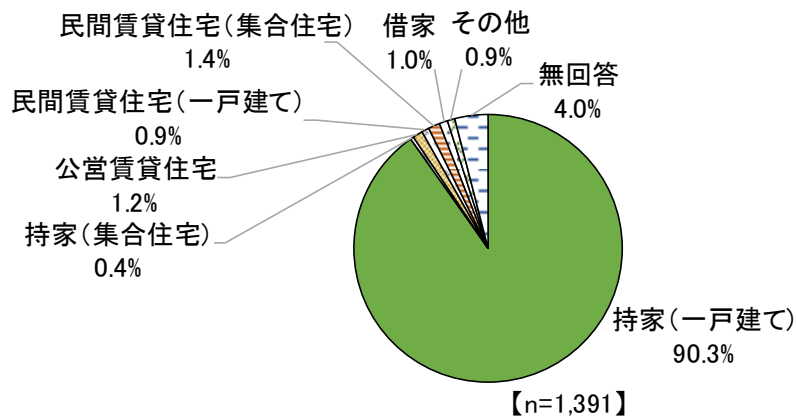


現在の暮らしの経済的状況を尋ねたところ、「ふつう」が58.6%で最も多く、以下、「やや苦しい」が23.4%、「大変苦しい」が6.7%、「ややゆとりがある」が4.7%、「大変ゆとりがある」が0.9%などとなっています。

大別して、生活が苦しいと感じる割合（「やや苦しい」及び「大変苦しい」の合計）は30.1%を占めています。

(6) 住居の形態

(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(○は1つ)

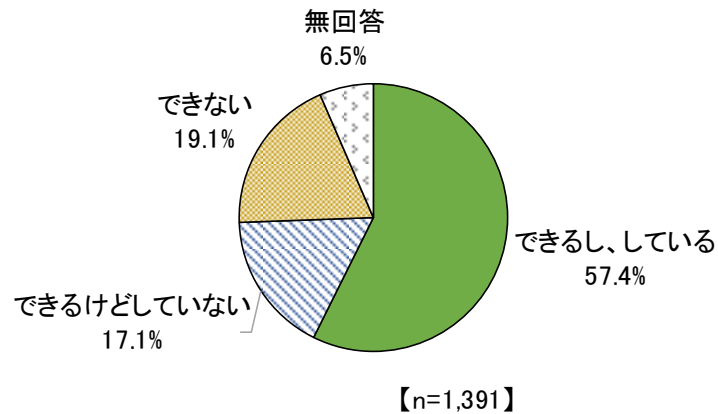


住居の形態を尋ねたところ、「持家（一戸建て）」が90.3%で大半を占めています。

2 からだを動かすことについて

(1) 階段昇行

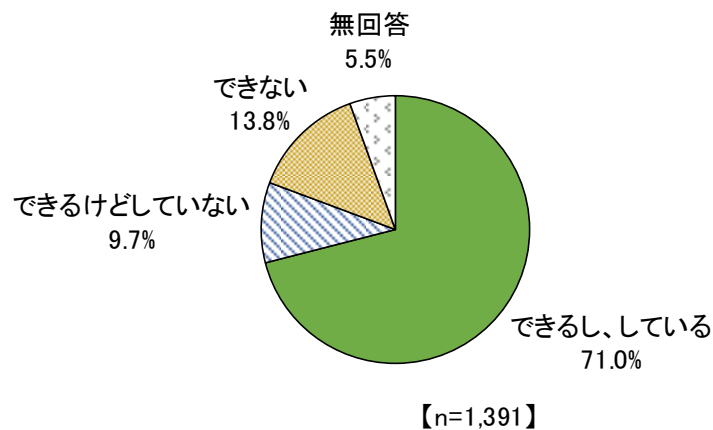
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(それぞれ1つに○)



階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか尋ねたところ、運動器機能低下のチェック該当となる「できない」の割合は19.1%となっています。

(2) 起立

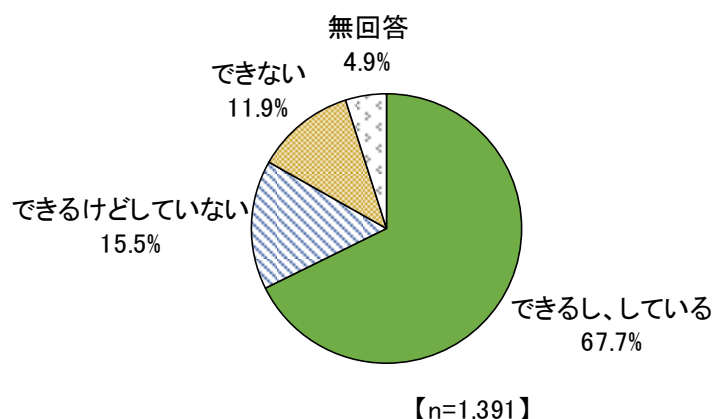
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(それぞれ1つに○)



椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか尋ねたところ、運動器機能低下のチェック該当となる「できない」の割合は13.8%となっています。

(3) 継続的な歩行

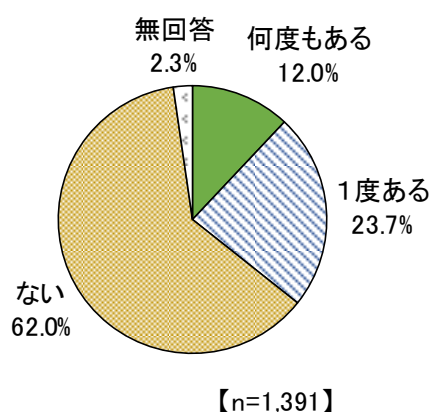
(3) 15分位続けて歩いていますか。(それぞれ1つに○)



15分位続けて歩いているか尋ねたところ、運動器機能低下のチェック該当となる「できない」の割合は11.9%となっています。

(4) 転倒した経験

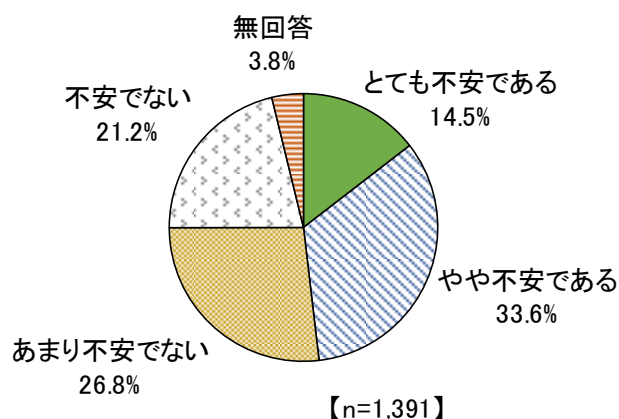
(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)



この1年間に転んだことがあるか尋ねたところ、運動器機能低下及び転倒リスクのチェック該当となる『ある割合』（「何度もある」と「1度ある」の合計）は35.7%となっています。

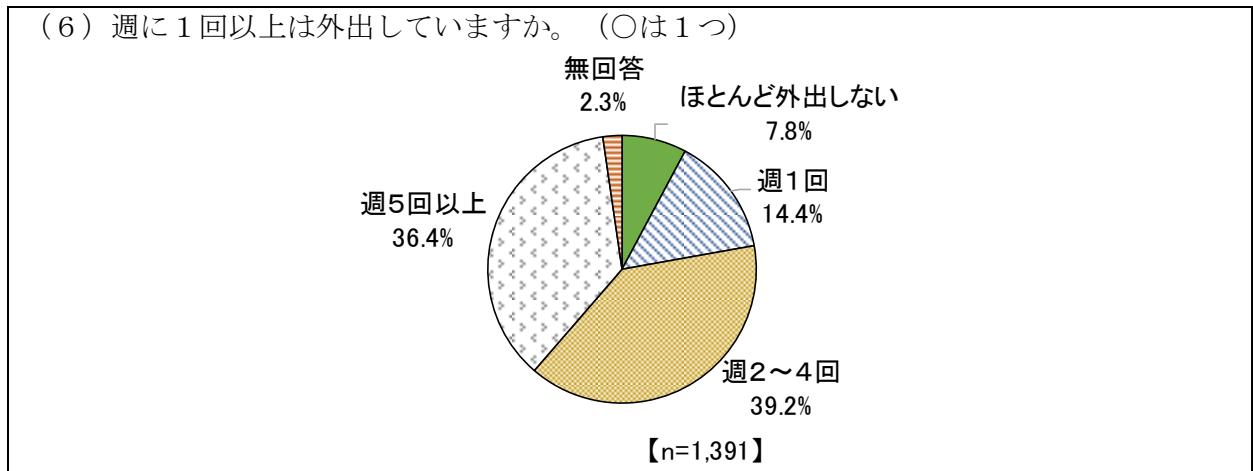
(5) 転倒に対する不安

(5) 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)



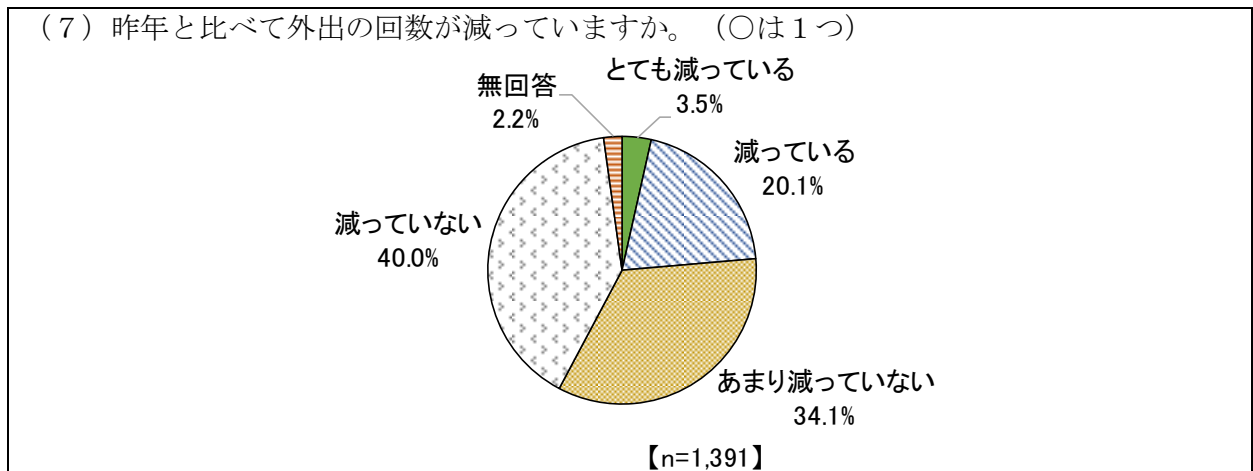
転倒に対する不安を尋ねたところ、運動器機能低下及び転倒リスクのチェック該当となる『不安である割合』（「とても不安である」と「やや不安である」の合計）は48.1%となっています。

（６）外出しているか



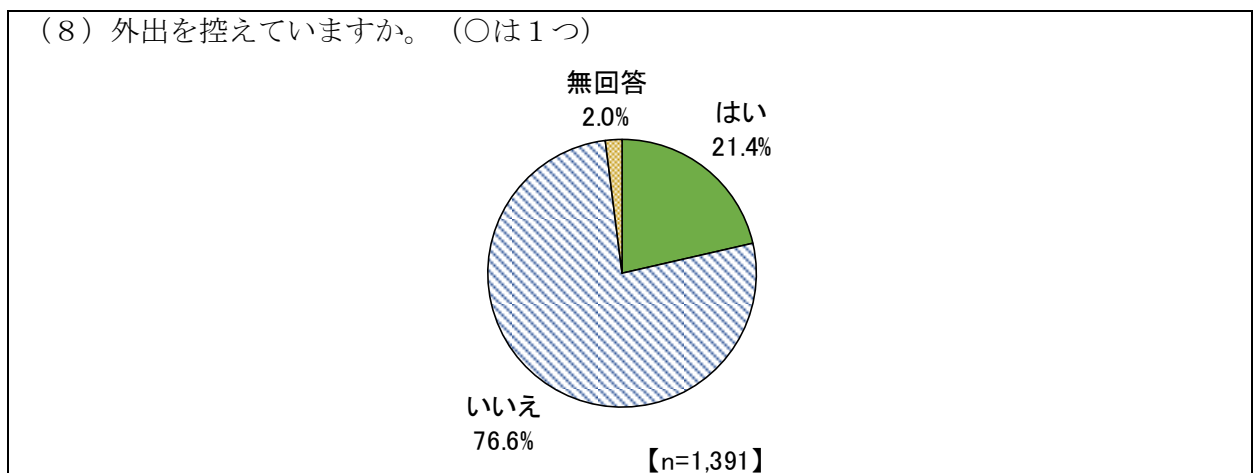
週に１回以上は外出しているか尋ねたところ、閉じこもり傾向のチェック該当となる『外出が少ない割合』（「ほとんど外出しない」と「週１回」の合計）は22.2%となっています。

（７）外出頻度の減少



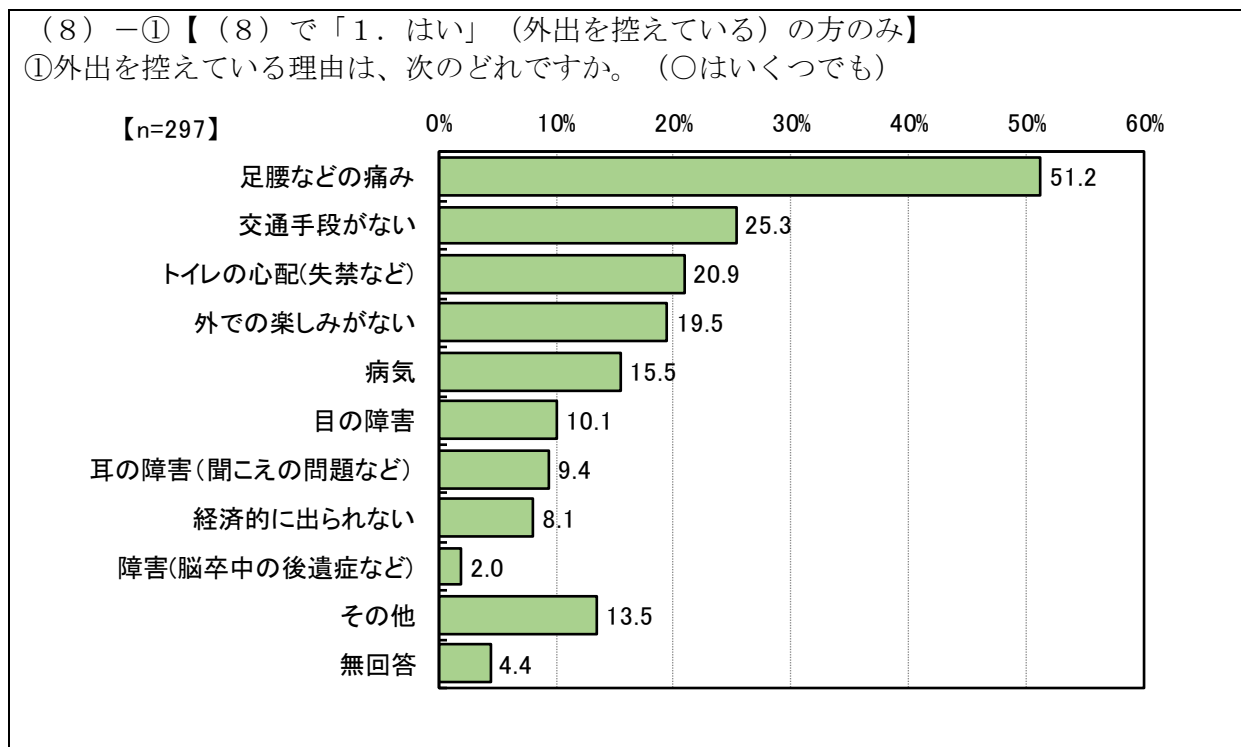
昨年と比べて外出の回数が減っているか尋ねたところ、「減っていない」が40.0%で最も多く、以下、「あまり減っていない」が34.1%、「減っている」が20.1%、「とても減っている」が3.5%などとなっています。

（８）外出を控えているか



外出を控えているか尋ねたところ、21.4%が「はい」と回答しています。

(9) 外出を控える理由



外出を控えている人に、その理由について尋ねたところ、「足腰などの痛み」が51.2%で最も多く、以下、「交通手段がない」が25.3%、「トイレの心配(失禁など)」が20.9%、「外での楽しみがない」が19.5%、「病気」が15.5%などとなっています。

■居住地区 (外出を控える理由)

単位: %

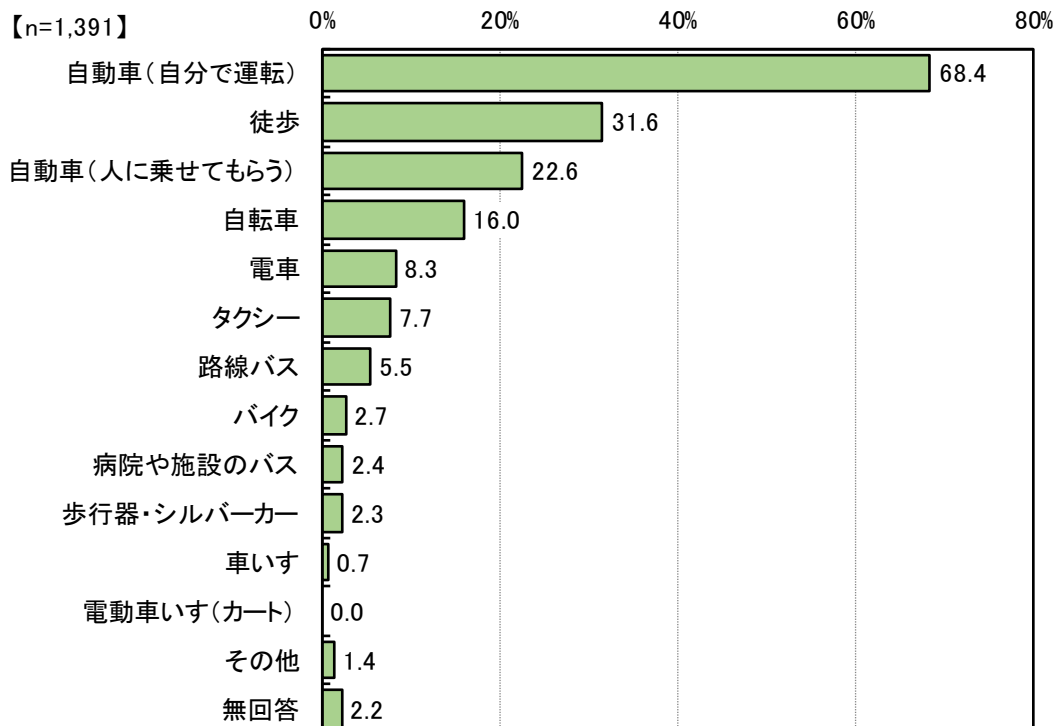
	足腰などの痛み	交通手段がない	トイレの心配(失禁など)	外での楽しみがない	病気	目の障害	耳の障害(聞こえの問題など)	経済的に出られない	障害(脳卒中の後遺症など)	その他	無回答
全体(n=297)	51.2	25.3	20.9	19.5	15.5	10.1	9.4	8.1	2.0	13.5	4.4
西地区(n=138)	59.4	26.8	21.0	17.4	16.7	8.7	7.2	5.1	2.2	15.2	2.2
東地区(n=88)	40.9	22.7	15.9	17.0	19.3	12.5	17.0	11.4	3.4	11.4	2.3
南地区(n=68)	48.5	25.0	27.9	27.9	7.4	10.3	4.4	10.3	0.0	11.8	11.8

居住地区でみると、いずれの地区においても「足腰なども痛み」が最も多くなっており、特に西地区では59.4%を占めています。

南地区では「トイレの心配(失禁など)」と「外での楽しみがない」が第2位となっており、「外での楽しみがない」は他の地区より10ポイント以上多くなっています。

(10) 外出する際の移動手段

(9) 外出する際の移動手段は何ですか。(○はいくつでも)



外出する際の移動手段については、「自動車(自分で運転)」が68.4%で最も多く、以下、「徒歩」が31.6%、「自動車(人に乗せてもらう)」が22.6%、「自転車」が16.0%、「電車」が8.3%などとなっています。

■居住地区(外出する際の移動手段)

単位: %

	自動車(自分で運転)	徒歩	自動車(人に乗せてもらう)	自転車	電車	タクシー	路線バス
全体(n=1,378)	68.4	31.3	22.4	16.0	8.1	7.6	5.5
西地区(n=655)	64.7	36.5	23.4	15.1	10.8	9.8	5.0
東地区(n=439)	72.2	30.1	22.1	19.4	6.4	5.5	5.2
南地区(n=284)	70.8	21.1	20.8	12.7	4.6	6.0	7.0

※1位～7位

	バイク	病院や施設のバス	歩行器・シルバーカー	車いす	電動車いす(カート)	その他	無回答
全体(n=1,378)	2.8	2.4	2.3	0.7	0.0	1.4	2.2
西地区(n=655)	2.0	3.1	2.6	0.5	0.0	1.8	2.3
東地区(n=439)	4.3	0.9	2.1	0.9	0.0	0.5	1.4
南地区(n=284)	2.1	3.2	2.1	1.1	0.0	1.8	3.5

※8位～無回答

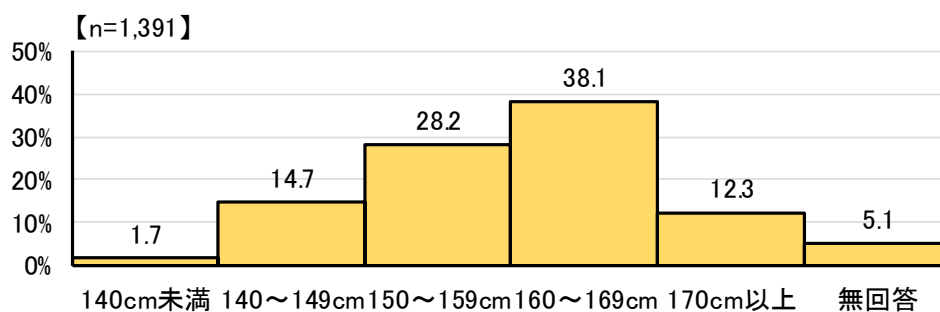
居住地区でみると、いずれの地区においても「自動車(自分で運転)」が最も多く、次いで「徒歩」となっています。

3 食べることについて

(1) 本人の身長・体重

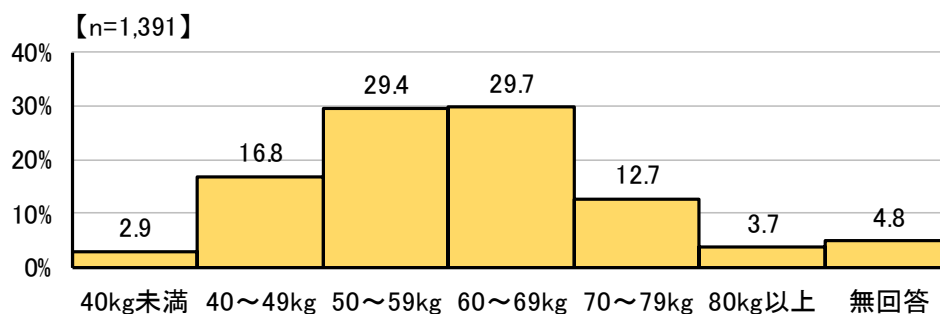
(1) あて名のご本人の身長・体重をお答えください。(それぞれ数字を記入)

<身長>



身長は、「160～169cm」が38.1%で最も多く、以下、「150～159cm」が28.2%、「140～149cm」が14.7%となっています。

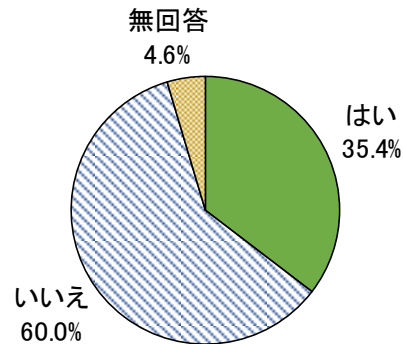
<体重>



体重は、「60～69kg」が29.7%で最も多く、以下、「50～59kg」が29.4%、「40～49kg」が16.8%となっています。

(2) 固いものが食べにくくなったか

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(それぞれ1つに○)

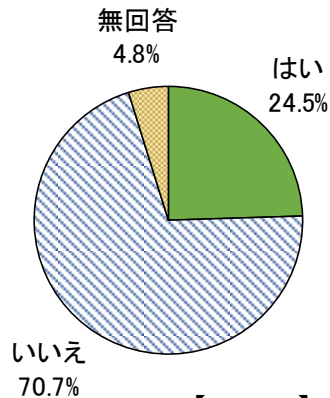


【n=1,391】

半年前に比べて固いものが食べにくくなったか尋ねたところ、口腔機能の低下リスクのチェック該当となる「はい」の割合は35.4%となっています。

(3) お茶や汁物等でむせることがあるか

(3) お茶や汁物等でむせることがありますか。(それぞれ1つに○)

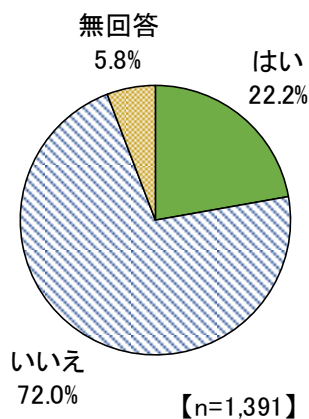


【n=1,391】

お茶や汁物等でむせることがあるか尋ねたところ、口腔機能低下のチェック該当となる「はい」の割合は24.5%となっています。

(4) 口の渇き

(4) 口の渇きが気になりますか。(それぞれ1つに○)

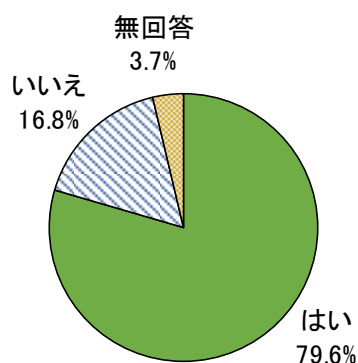


【n=1,391】

口の渇きが気になるか尋ねたところ、口腔機能低下のチェック該当となる「はい」の割合は22.2%となっています。

(5) 歯磨きの習慣

(5) 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（それぞれ1つに○）



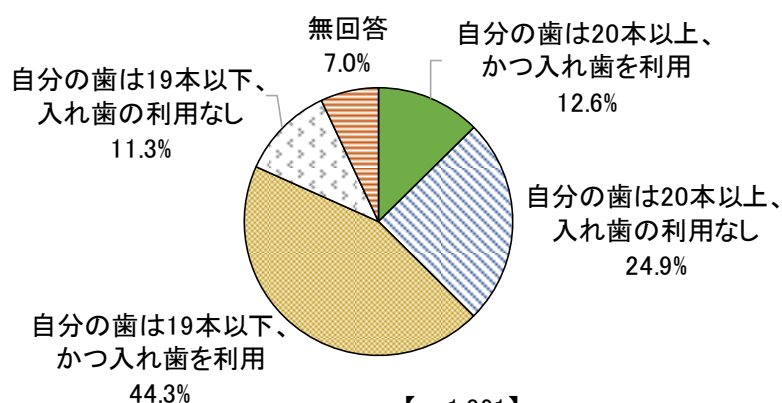
【n=1,391】

歯磨きを毎日しているか尋ねたところ、「はい」が79.6%で、「いいえ」が16.8%となっています。

(6) 歯の数と入れ歯の利用状況

(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。（○は1つ）

（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）



【n=1,391】

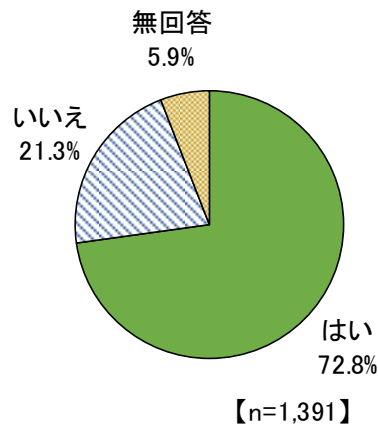
歯の数と入れ歯の利用状況を尋ねたところ、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が44.3%で最も多く、以下、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が24.9%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が12.6%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が11.3%などとなっています。

したがって、『自分の歯は20本以上の人』は37.5%、『入れ歯を利用している人』は56.9%となっています。

(7) 噛み合わせ

(6) -①【すべての方】

①噛み合わせは良いですか。(○は1つ)

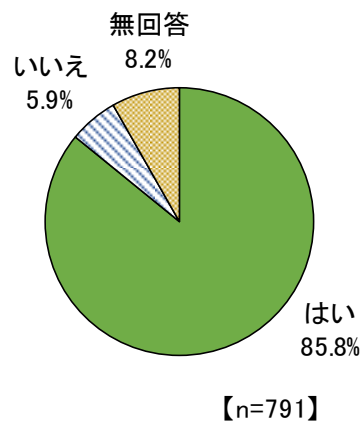


噛み合わせは良いか尋ねたところ、「はい」が72.8%、「いいえ」が21.3%となっています。

(8) 入れ歯の手入れ

(6) -②【(6)で「1」または「3」の方(入れ歯を利用している方)のみ】

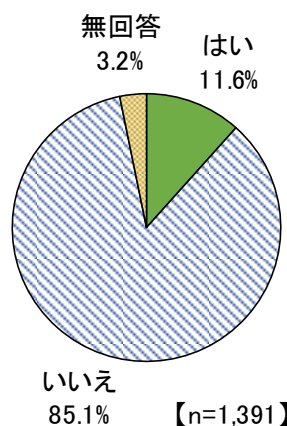
②毎日入れ歯の手入れをしていますか。(○は1つ)



入れ歯をしていると回答した人に、毎日入れ歯の手入れをしているか尋ねたところ、「はい」が85.8%、「いいえ」が5.9%となっています。

(9) 体重の減少

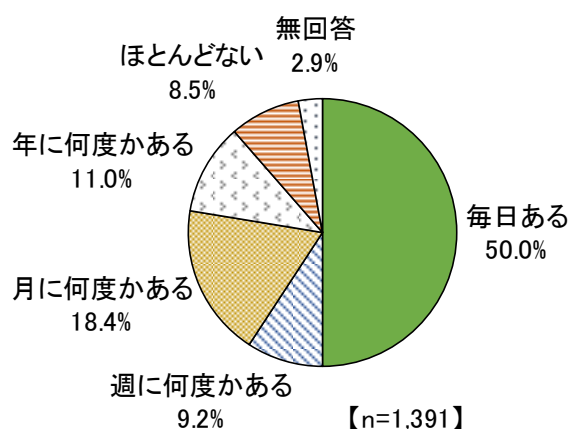
(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(○は1つ)



6か月間で2～3kg以上の体重減少があったか尋ねたところ、低栄養傾向のチェック該当となるの「はい」の割合は11.6%となっています。

(10) 誰かと食事をする機会

(8) どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(○は1つ)

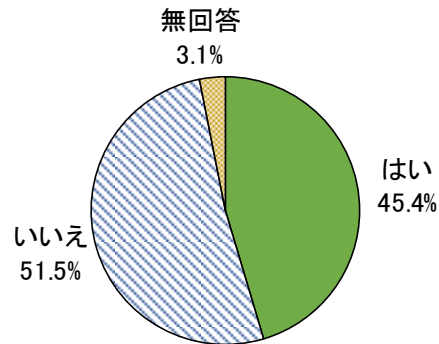


誰かと食事をとにもする機会があるか尋ねたところ、「毎日ある」が50.0%で最も多く、以下、「月に何度かある」が18.4%、「年に何度かある」が11.0%、「週に何度かある」が9.2%、「ほとんどない」が8.5%となっています。

4 毎日の生活について

(1) 物忘れがあるか

(1) 物忘れが多いと感じますか。(それぞれ1つに○)

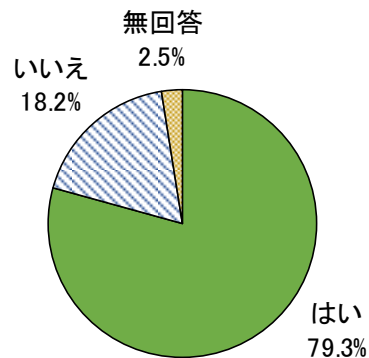


【n=1,391】

物忘れが多いと感じるか尋ねたところ、認知機能低下のチェック該当となる「はい」の割合は45.4%となっています。

(2) 電話をかけているか

(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(それぞれ1つに○)

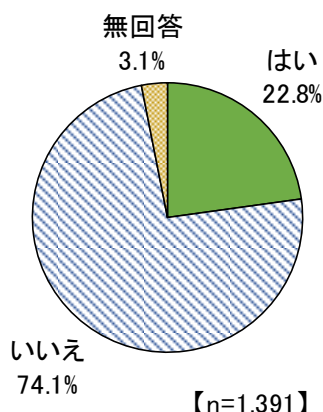


【n=1,391】

自分で電話番号を調べて電話をかけているか尋ねたところ、認知機能低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は18.2%となっています。

(3) 日にちがわからないことがあるか

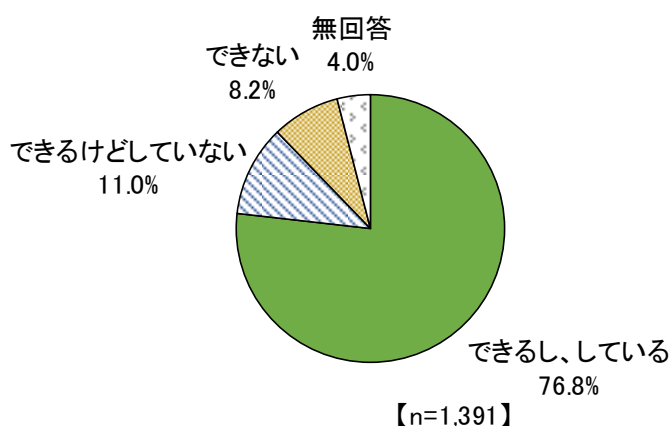
(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか。(それぞれ1つに○)



日にちがわからないことがあるか尋ねたところ、認知機能低下のチェック該当となる「はい」の割合は22.8%となっています。

(4) 一人での外出

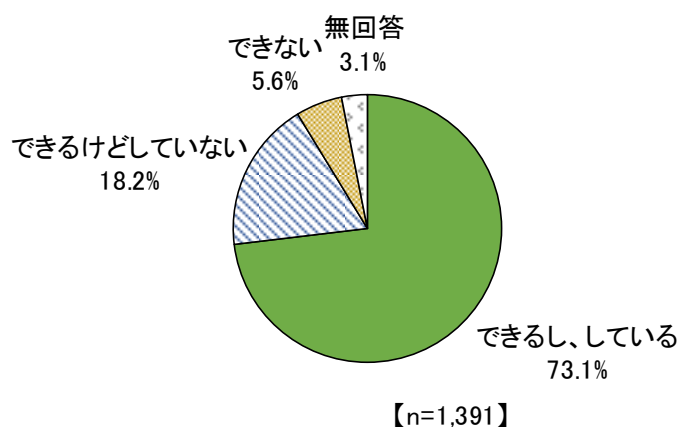
(4) バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可) (それぞれ1つに○)



バスや電車を使って一人で外出しているか尋ねたところ、IADL（手段的自立度）低下のチェック該当となる「できない」の割合は8.2%となっています。

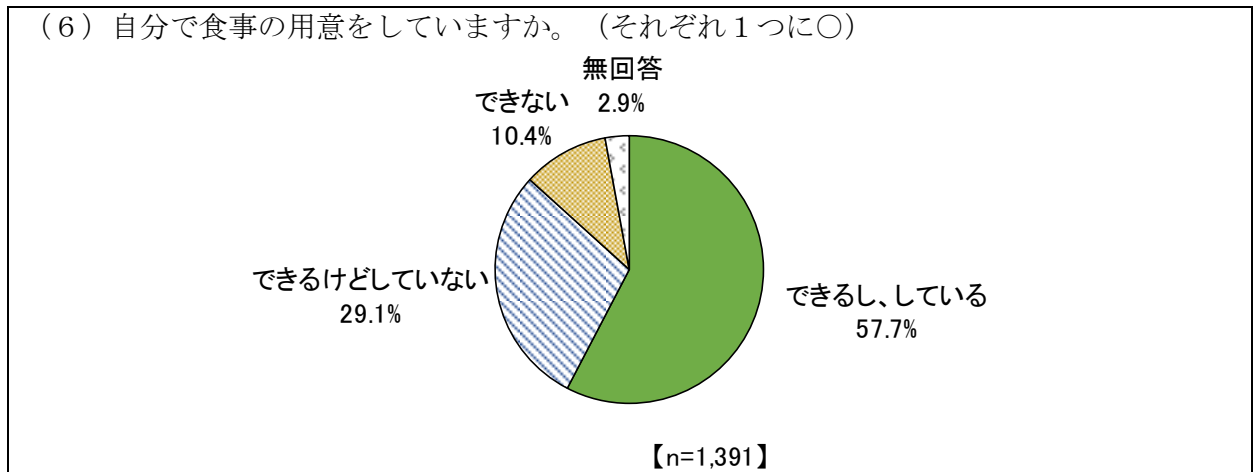
(5) 食品・日用品の買い物

(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(それぞれ1つに○)



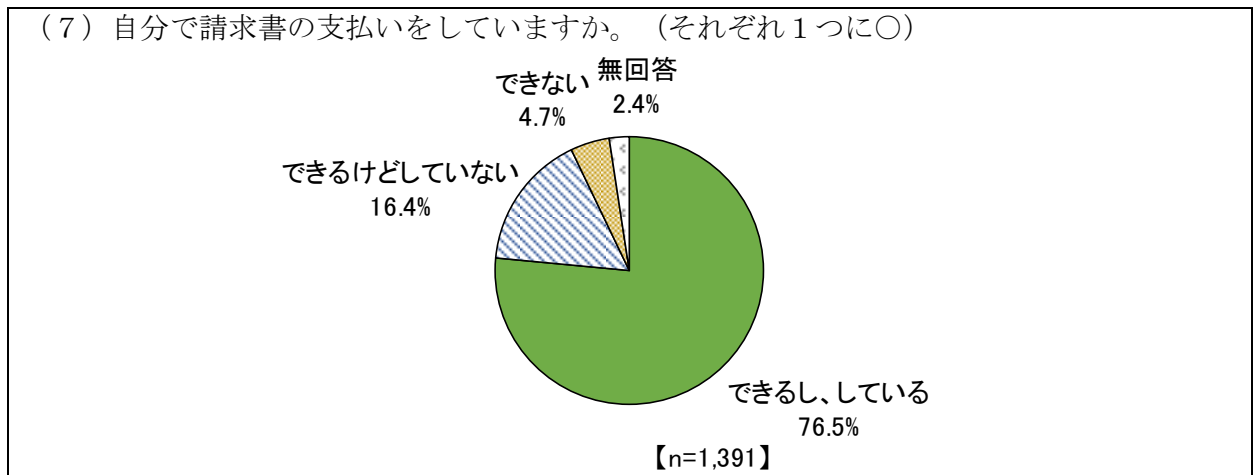
自分で食品・日用品の買物をしているか尋ねたところ、IADL（手段的自立度）低下のチェック該当となる「できない」の割合は5.6%となっています。

(6) 食事の用意



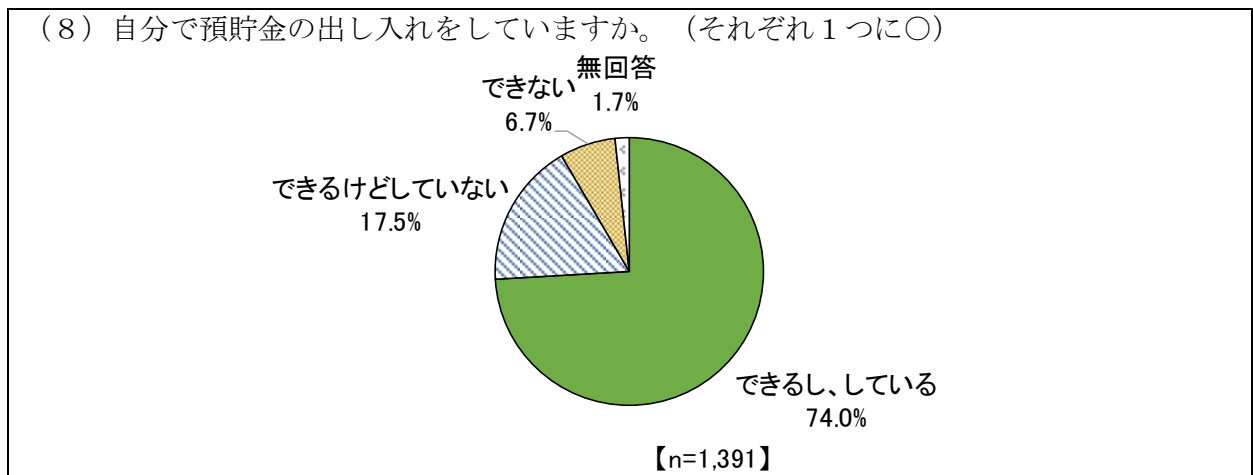
自分で食事の用意をしているか尋ねたところ、IADL（手段的自立度）低下のチェック該当となる「できない」の割合は10.4%となっています。

(7) 請求書の支払い



自分で請求書の支払いをしているか尋ねたところ、IADL（手段的自立度）低下のチェック該当となる「できない」の割合は4.7%となっています。

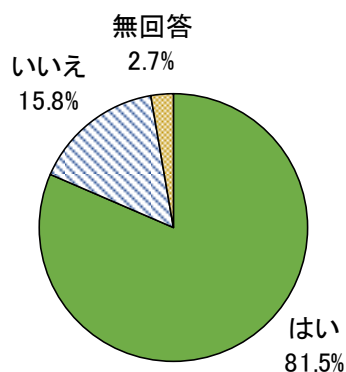
(8) 預貯金の出し入れ



自分で預貯金の出し入れをしているか尋ねたところ、IADL（手段的自立度）低下のチェック該当となる「できない」の割合は6.7%となっています。

(9) 年金などの書類が書けるか

(9) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。（それぞれ1つに○）

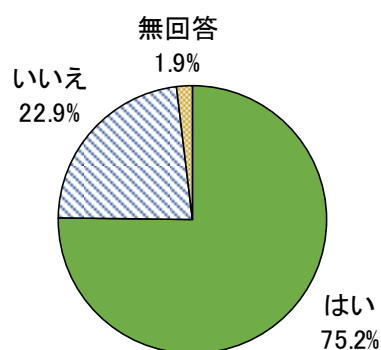


【n=1,391】

年金などの書類が書けるか尋ねたところ、知的能動性低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は15.8%となっています。

(10) 新聞を読んでいるか

(10) 新聞を読んでいますか。（それぞれ1つに○）

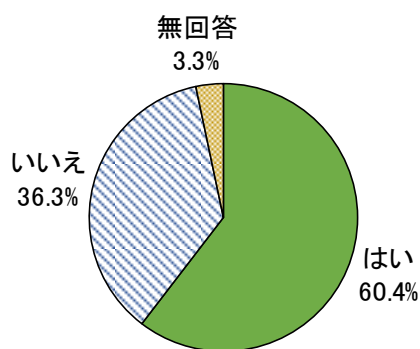


【n=1,391】

新聞を読んでいるか尋ねたところ、知的能動性低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は22.9%となっています。

(11) 本や雑誌を読んでいるか

(11) 本や雑誌を読んでいますか。（それぞれ1つに○）

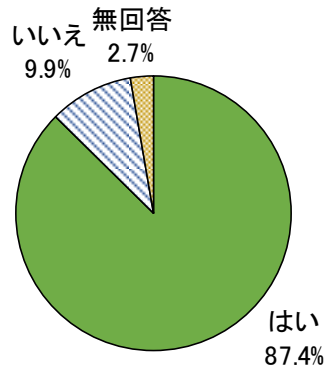


【n=1,391】

本や雑誌を読んでいるか尋ねたところ、知的能動性低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は36.3%となっています。

(12) 健康についての記事や番組への関心

(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか。（それぞれ1つに○）

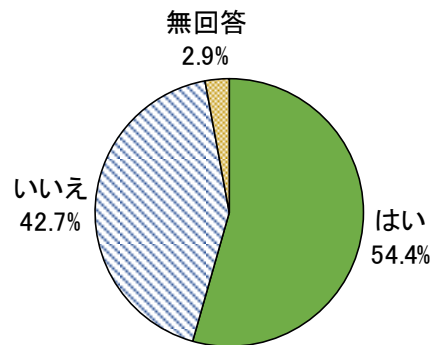


【n=1,391】

健康についての記事や番組に関心があるか尋ねたところ、知的能動性低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は9.9%となっています。

(13) 友人宅への訪問

(13) 友人の家を訪ねていますか。（それぞれ1つに○）

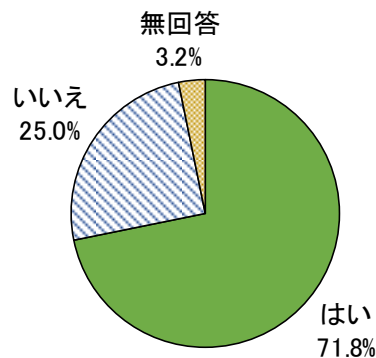


【n=1,391】

友人宅を訪ねているか尋ねたところ、社会的役割の低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は42.7%となっています。

(14) 相談にのっているか

(14) 家族や友人の相談にのっていますか。（それぞれ1つに○）

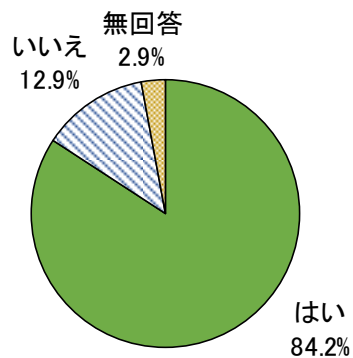


【n=1,391】

家族や友人の相談にのっているか尋ねたところ、社会的役割の低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は25.0%となっています。

(15) 病人の見舞いができるか

(15) 病人を見舞うことができますか。(それぞれ1つに○)

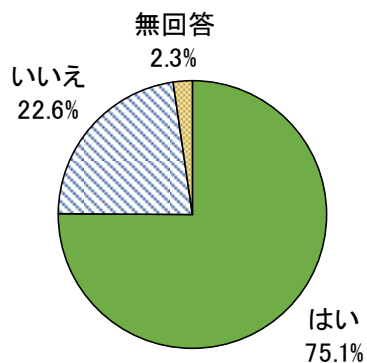


【n=1,391】

病人の見舞いができるか尋ねたところ、社会的役割の低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は12.9%となっています。

(16) 若い人への話しかけ

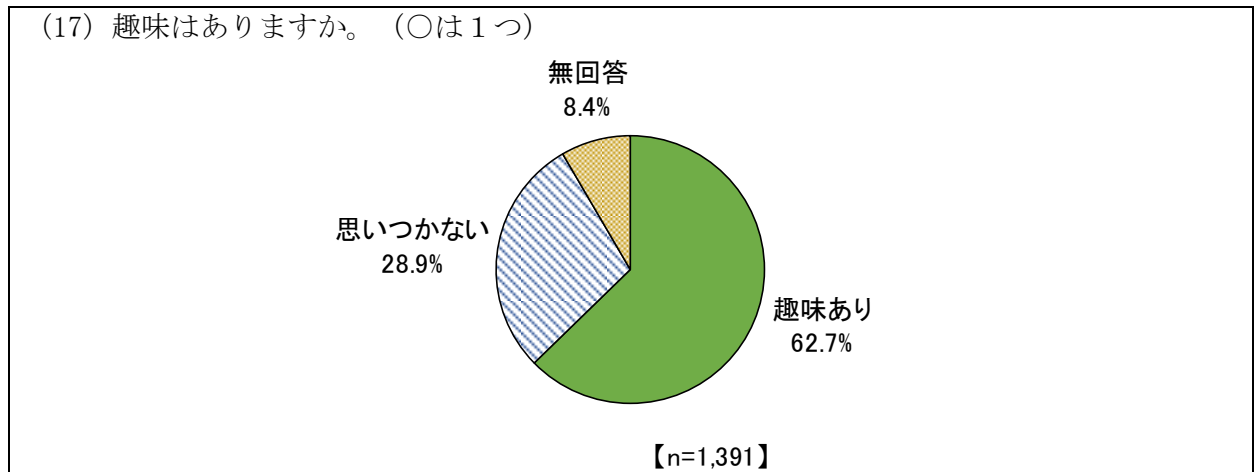
(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか。(それぞれ1つに○)



【n=1,391】

若い人に話しかけることがあるか尋ねたところ、社会的役割低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は22.6%となっています。

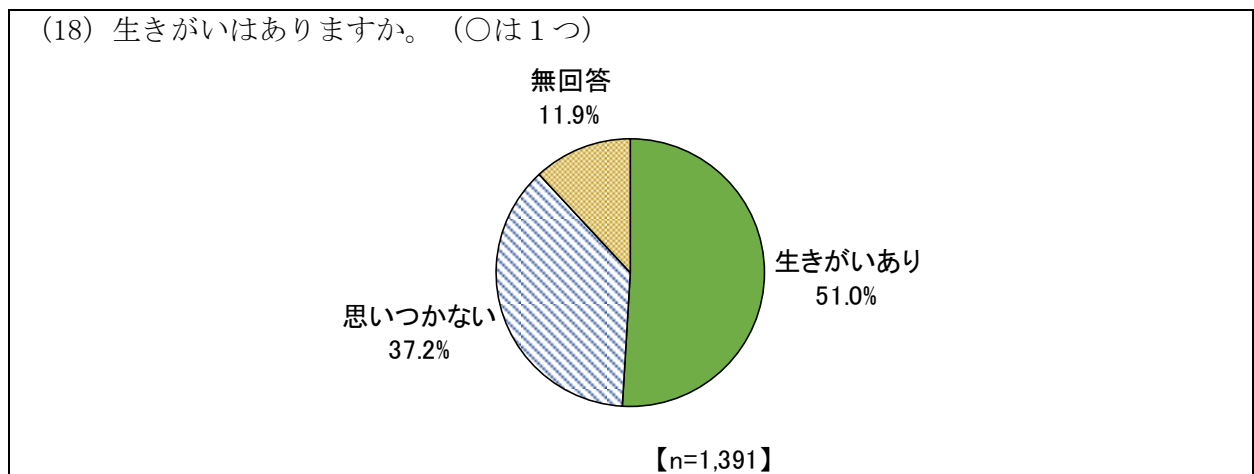
(17) 趣味はあるか



趣味はあるか尋ねたところ、「趣味あり」が62.7%、「思いつかない」が28.9%となっています。

具体的には、ガーデニング、カラオケ、グラウンドゴルフ、ゴルフ、ドライブ、園芸、音楽鑑賞、家庭菜園、釣り、写真、手芸、囲碁・将棋、読書、旅行などが多く挙げられています。

(18) 生きがいはあるか



生きがいはあるか尋ねたところ、「生きがいあり」が51.0%で、「思いつかない」が37.2%となっています。

具体的には、孫の成長が突出して多く挙げられており、その他では、家族や友人との時間、健康でいること、仕事、趣味を続けること、家庭菜園、旅行などが多く挙げられています。

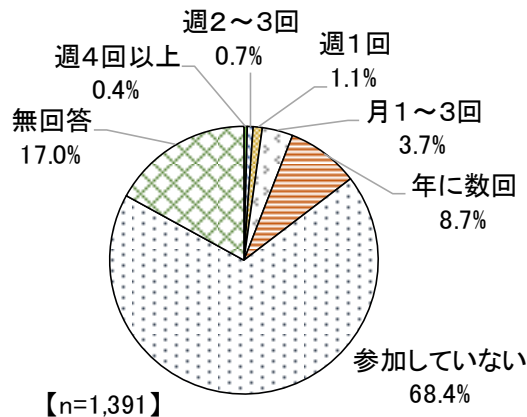
5 地域での活動について

(1) 会・グループへの参加状況

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

(①～⑧それぞれについて、1つずつ○)

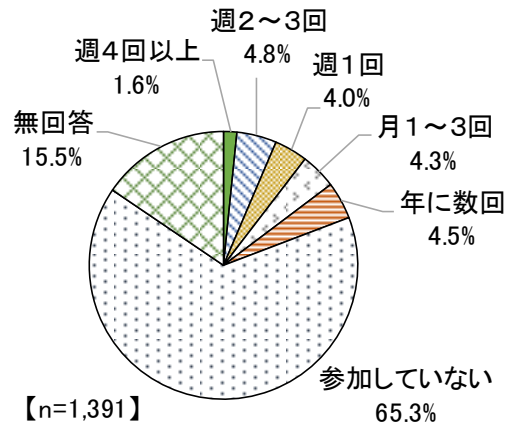
①ボランティアのグループ



ボランティアのグループについては、全体の14.6%が活動に参加しており、参加頻度としては「年に数回」が8.7%で最も多くなっています。

一方、68.4%は「参加していない」と回答しています。

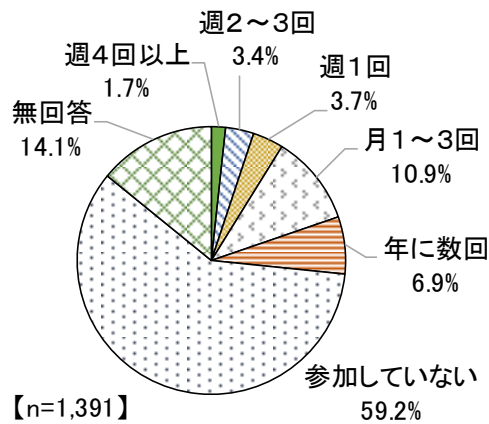
②スポーツ関係のグループやクラブ



スポーツ関係のグループやクラブについては、全体の19.2%が活動に参加しており、参加頻度としては「週2～3回」が4.8%で最も多くなっています。

一方、65.3%は「参加していない」と回答しています。

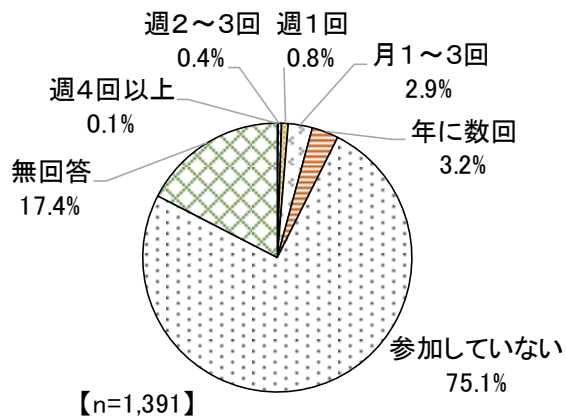
③趣味関係のグループ



趣味関係のグループについては、全体の26.6%が活動に参加しており、参加頻度としては「月1～3回」が10.9%で最も多くなっています。

一方、59.2%は「参加していない」と回答しています。

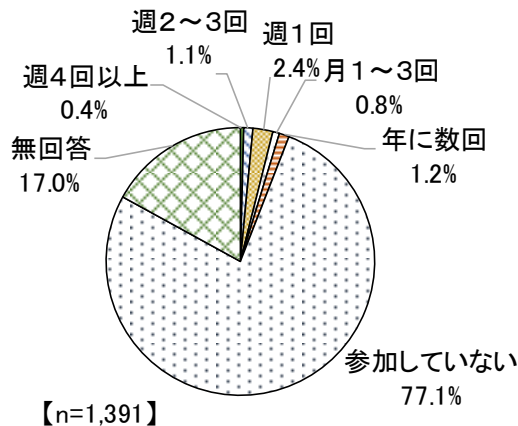
④学習・教養サークル



学習・教養サークルについては、全体の7.4%が活動に参加しており、参加頻度としては「年に数回」が3.2%で最も多くなっています。

一方、75.1%は「参加していない」と回答しています。

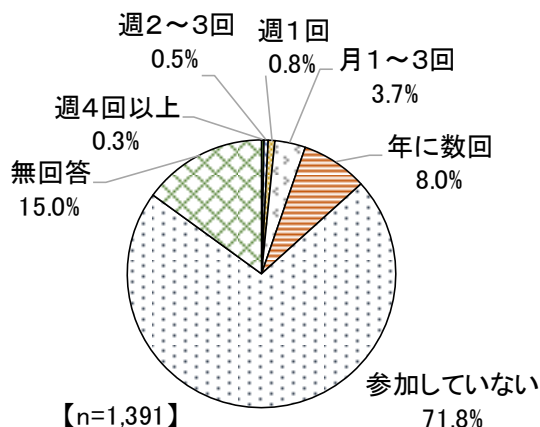
⑤介護予防のための通いの場



介護予防のための通いの場については、全体の5.9%が活動に参加しており、参加頻度としては「週1回」が2.4%で最も多くなっています。

一方、77.1%は「参加していない」と回答しています。

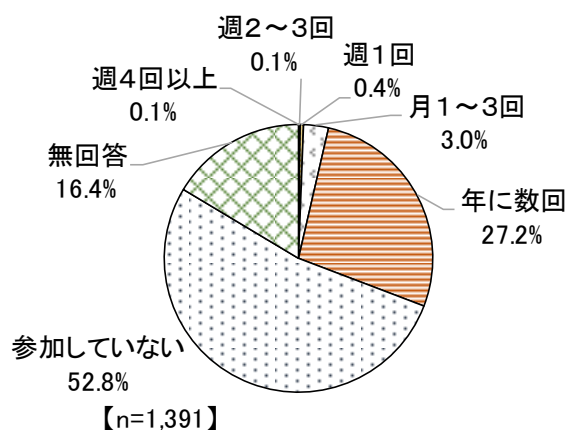
⑥老人クラブ



老人クラブについては、全体の13.3%が活動に参加しており、参加頻度としては「年に数回」が8.0%で最も多くなっています。

一方、71.8%は「参加していない」と回答しています。

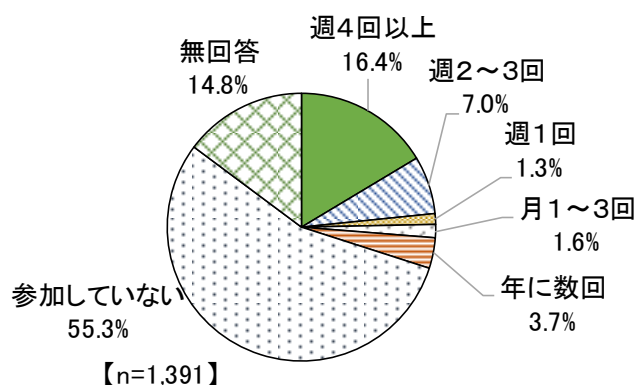
⑦町内会・自治会



町内会・自治会については、全体の30.8%が活動に参加しており、参加頻度としては「年に数回」が27.2%で最も多くなっています。

一方、52.8%は「参加していない」と回答しています。

⑧収入のある仕事

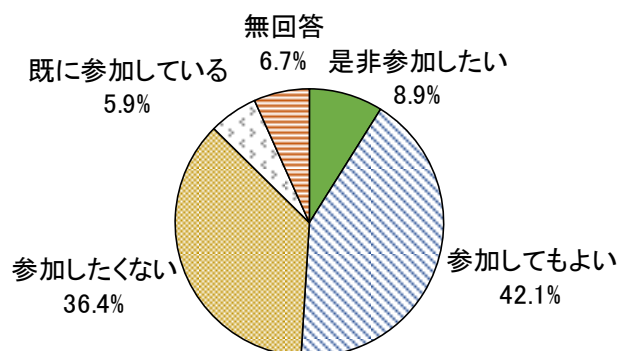


収入のある仕事については、全体の30.0%が活動に参加しており、参加頻度としては「週4回以上」が16.4%で最も多くなっています。

一方、55.3%は「参加していない」と回答しています。

(2) 地域活動への参加者としての参加希望

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)

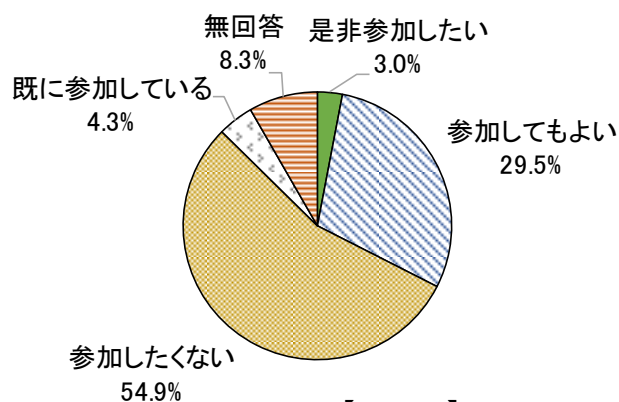


【n=1,391】

地域住民による活動に参加者として参加してみたいかを尋ねたところ、「参加してもよい」が42.1%で最も多く、以下、「参加したくない」が36.4%、「是非参加したい」が8.9%、「既に参加している」が5.9%となっています。

(3) 地域活動への企画・運営者としての参加希望

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)

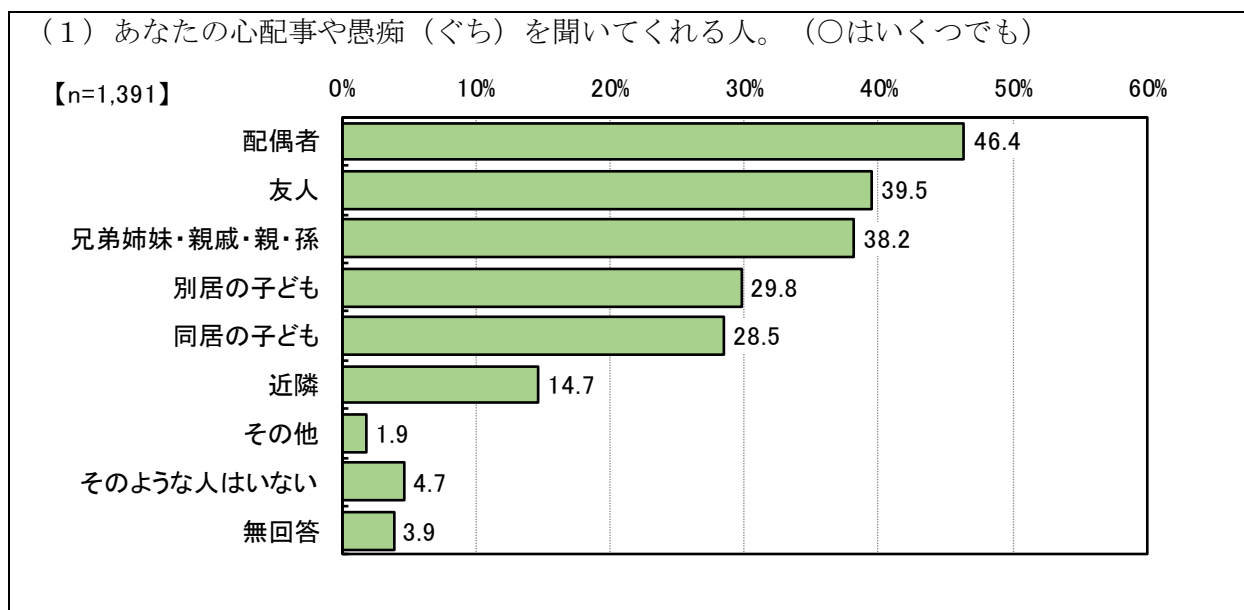


【n=1,391】

地域住民による活動に企画・運営者として参加してみたいかを尋ねたところ、「参加したくない」が54.9%で最も多く、以下、「参加してもよい」が29.5%、「既に参加している」が4.3%、「是非参加したい」が3.0%となっています。

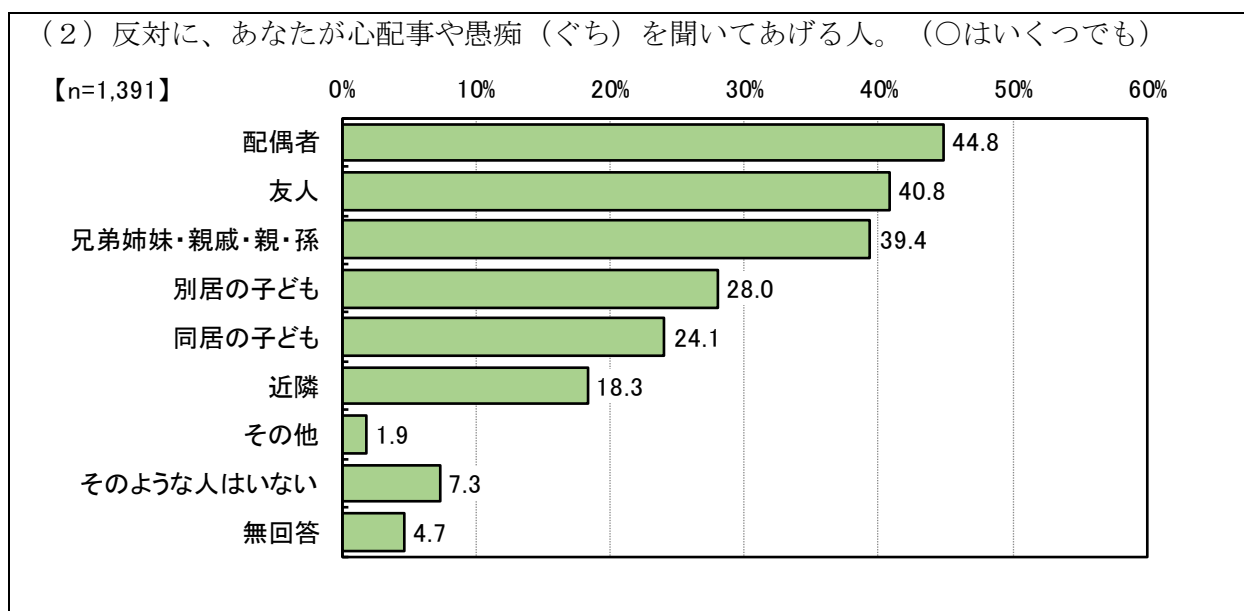
6 たすけあいについて

(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人



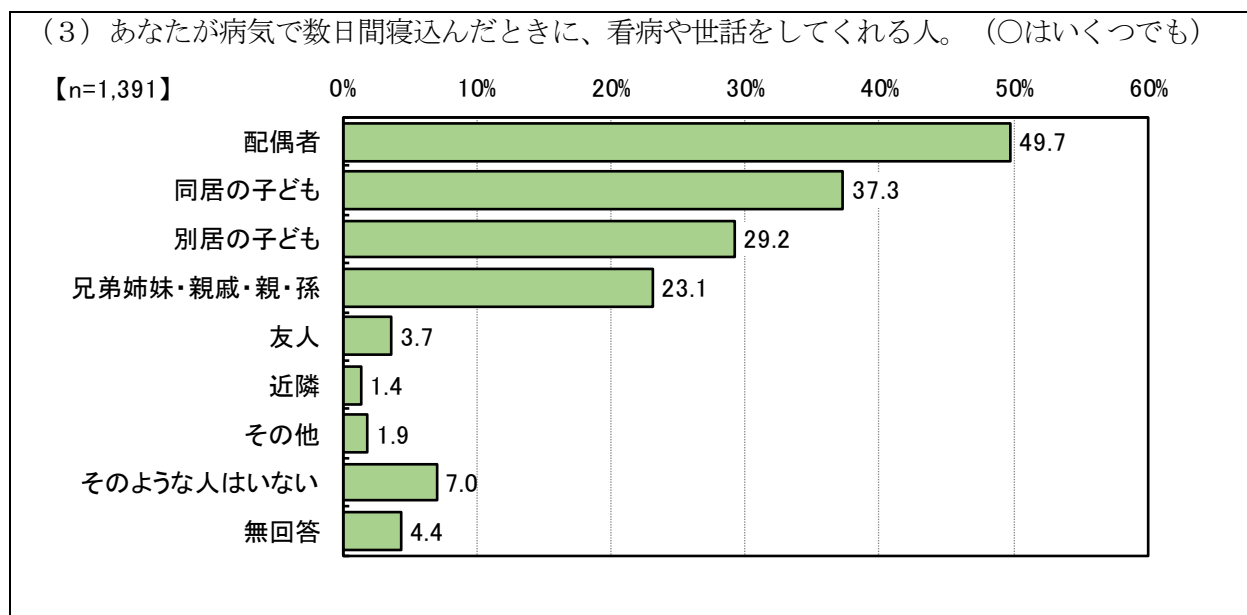
心配事や愚痴を聞いてくれる人を尋ねたところ、「配偶者」が46.4%で最も多く、以下、「友人」が39.5%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が38.2%、「別居の子ども」が29.8%などとなっています。

(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人



反対に、心配事や愚痴を聞いてあげる人を尋ねたところ、「配偶者」が44.8%で最も多く、以下、「友人」が40.8%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が39.4%、「別居の子ども」が28.0%などとなっています。

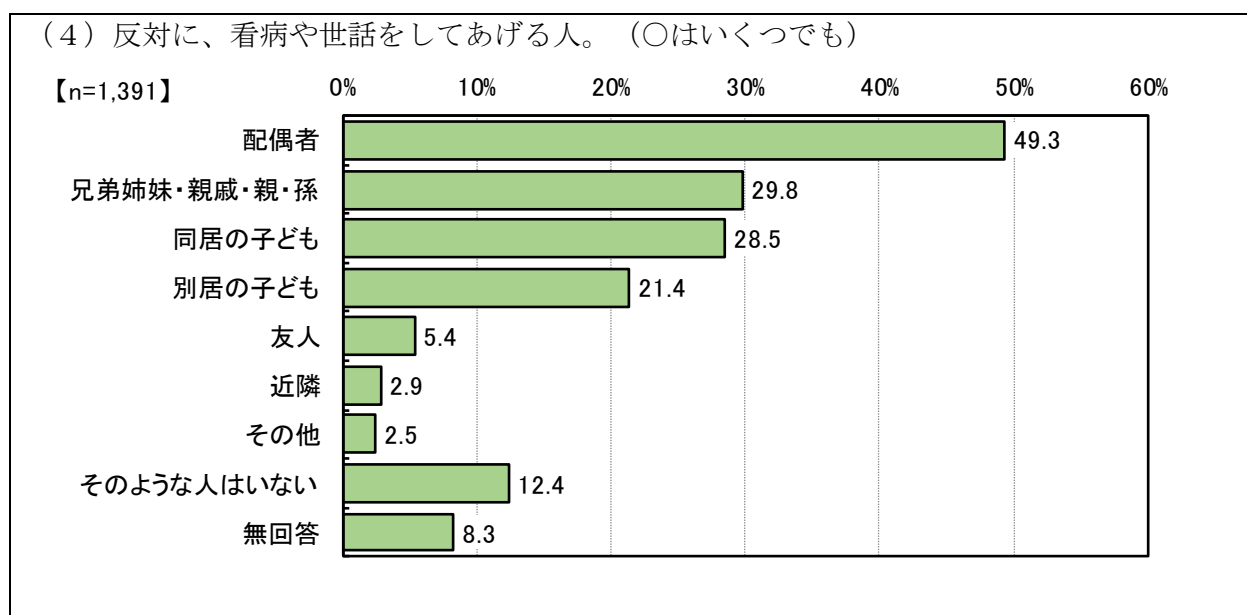
(3) 看病や世話をしてくれる人



病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人を尋ねたところ、「配偶者」が49.7%で最も多く、以下、「同居の子ども」が37.3%、「別居の子ども」が29.2%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が23.1%などとなっています。

なお、「そのような人はいない」と答えた人の割合は、7.0%となっています。

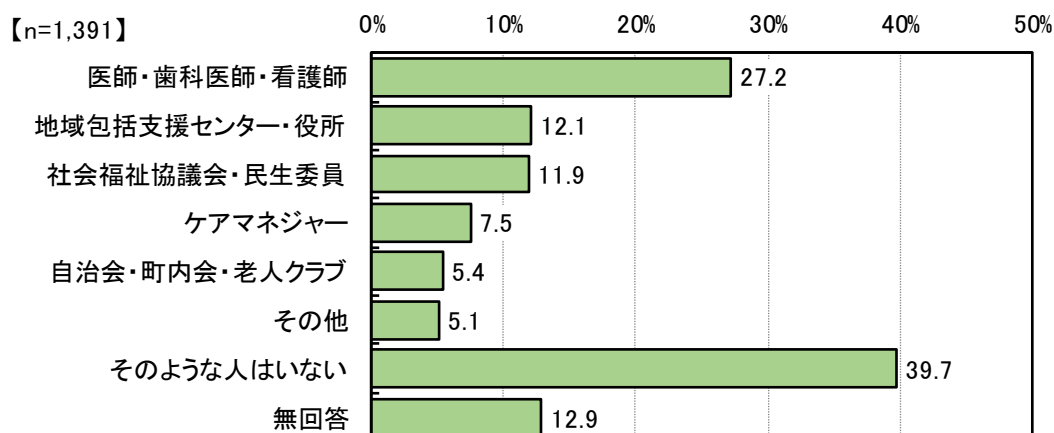
(4) 看病や世話をしてあげる人



反対に、看病や世話をしてあげる人を尋ねたところ、「配偶者」が49.3%で最も多く、以下、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が29.8%、「同居の子ども」が28.5%、「別居の子ども」が21.4%などとなっています。

(5) 家族や友人・知人以外の相談相手

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
(○はいくつでも)



家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を尋ねたところ、「医師・歯科医師・看護師」が27.2%で最も多く、「地域包括支援センター・役所」が12.1%、「社会福祉協議会・民生委員」が11.9%、「ケアマネジャー」が7.5%などとなっています。

なお、「そのような人はいない」と答えた人の割合は、39.7%となっています。

■居住地区（家族や友人・知人以外の相談相手）

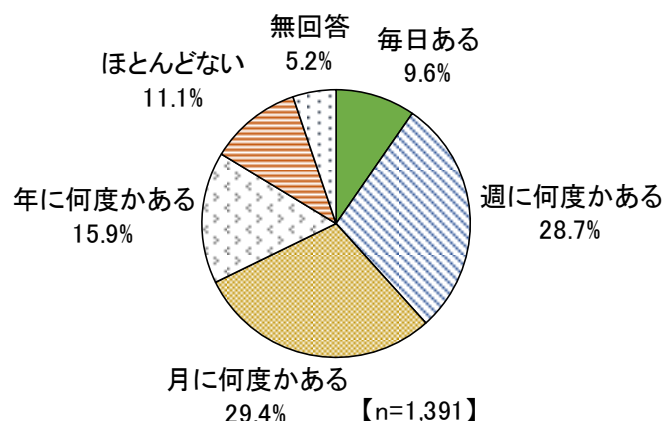
単位：%

	医師・歯科医師・看護師	社会福祉協議会・民生委員	地域包括支援センター・役所	ケアマネジャー	自治会・町内会・老人クラブ	その他	そのような人はいない	無回答
全体(n=1,391)	27.2	12.1	12.1	7.5	5.4	5.1	39.7	12.9
西地区(n=655)	27.2	11.0	11.9	6.4	6.9	5.0	40.6	13.0
東地区(n=439)	28.2	12.1	12.8	6.4	4.8	4.3	41.5	11.4
南地区(n=284)	24.3	14.1	10.9	11.3	3.2	6.0	35.9	15.8

居住地区でみると、いずれの居住地区においても「そのような人はいない」が最も多くなっており、西地区及び東地区では40%を超えています。

(6) 友人・知人と会う頻度

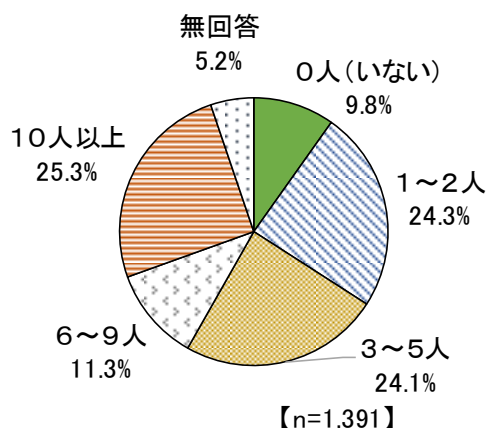
(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(○は1つ)



友人・知人と会う頻度については、「月に何度かある」が29.4%で最も多く、以下、「週に何度かある」が28.7%、「年に何度かある」が15.9%、「ほとんどない」が11.1%、「毎日ある」が9.6%となっています。

(7) 1か月間に会った友人・知人の数

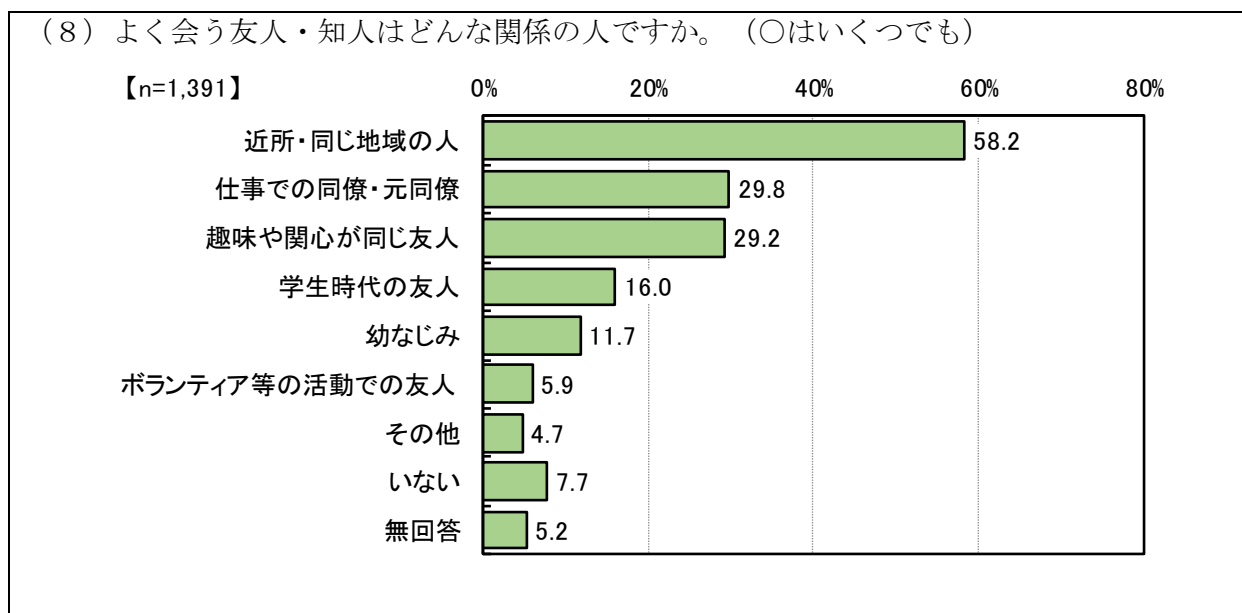
(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。(○は1つ)
同じ人には何度会っても1人と数えることとします。



この1か月間、何人の友人・知人と会ったか尋ねたところ、「10人以上」が25.3%で最も多く、以下、「1～2人」が24.3%、「3～5人」が24.1%、「6～9人」が11.3%となっています。

なお、「0人(いない)」は9.8%となっています。

(8) よく会う友人・知人との関係



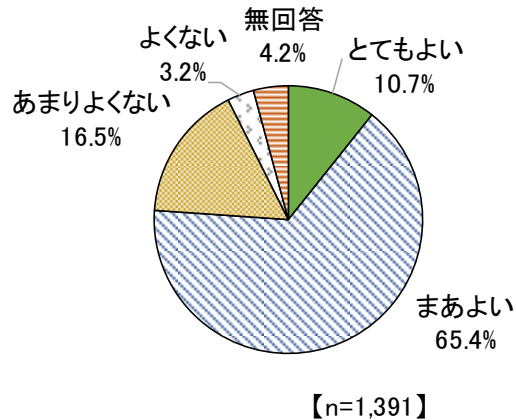
よく会う友人・知人はどのような関係の人か尋ねたところ、「近所・同じ地域の人」が58.2%で最も多く、以下、「仕事での同僚・元同僚」が29.8%、「趣味や関心が同じ友人」が29.2%、「学生時代の友人」が16.0%などとなっています。

なお、7.7%は「いない」と回答しています。

7 健康について

(1) 主観的健康感

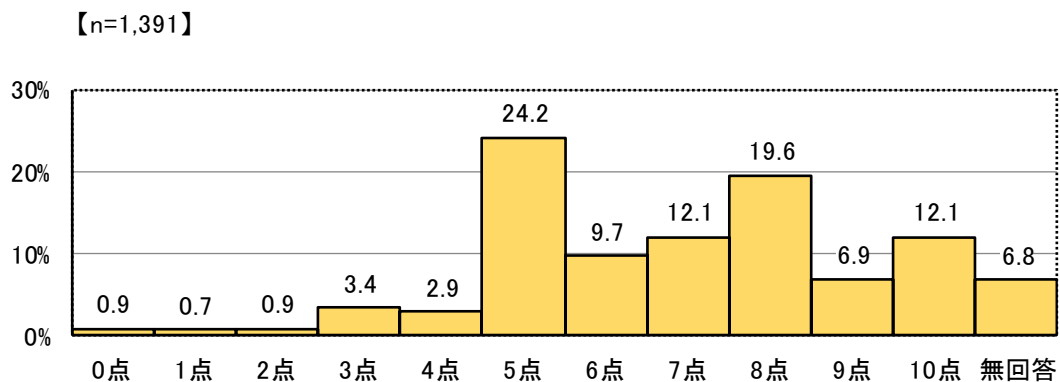
(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)



現在の健康状態を尋ねたところ、「まあよい」が65.4%で最も多く、以下、「あまりよくない」が16.5%、「とてもよい」が10.7%、「よくない」が3.2%となっています。

(2) 主観的幸福感

(2) あなたは、現在どの程度幸せですか。(○は1つ)



現在、どの程度幸せかを点数で尋ねたところ、「5点」が24.2%で最も多く、以下、「8点」が19.6%、「10点」「7点」がともに12.1%、「6点」が9.7%などとなっており、中間点である「5点」以上が大半を占めています。

■居住地区（主観的幸福感）

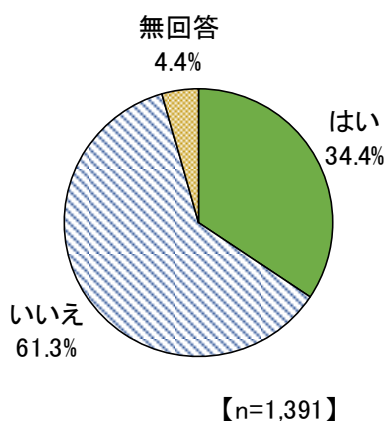
単位: %

	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体(n=1,391)	0.9	0.7	0.9	3.4	2.9	24.2	9.7	12.1	19.6	6.9	12.1	6.8
西地区(n=655)	0.2	0.6	0.5	2.3	2.6	25.0	10.4	12.2	21.4	6.7	12.4	5.8
東地区(n=439)	1.4	1.1	1.1	3.6	3.6	26.0	8.4	12.3	18.0	7.3	10.5	6.6
南地区(n=284)	1.8	0.4	1.4	5.6	2.1	19.7	10.2	11.6	16.9	6.3	14.4	9.5

居住地区でみると、いずれの地区においても大半が「5点」以上となっています。

(3) 最近 1 か月間の気分の状態

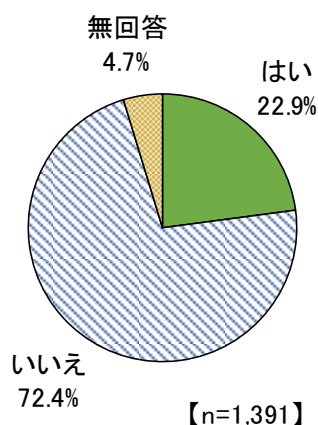
(3) この 1 か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○は 1 つ)



気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったか尋ねたところ、うつ傾向のチェック該当となる「はい」の割合は34.4%となっています。

(4) 最近 1 か月間の物事に対する心の状態

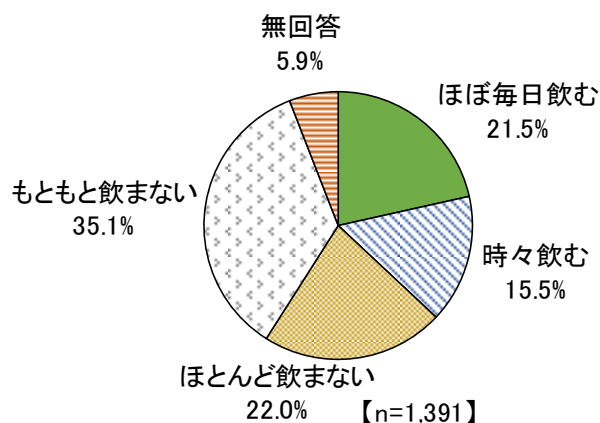
(4) この 1 か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は 1 つ)



物事に対して興味がわかない、心から楽しめない感じがあったか尋ねたところ、うつ傾向のチェック該当となる「はい」の割合は22.9%となっています。

(5) 飲酒の状況

(5) お酒は飲みますか。(○は1つ)

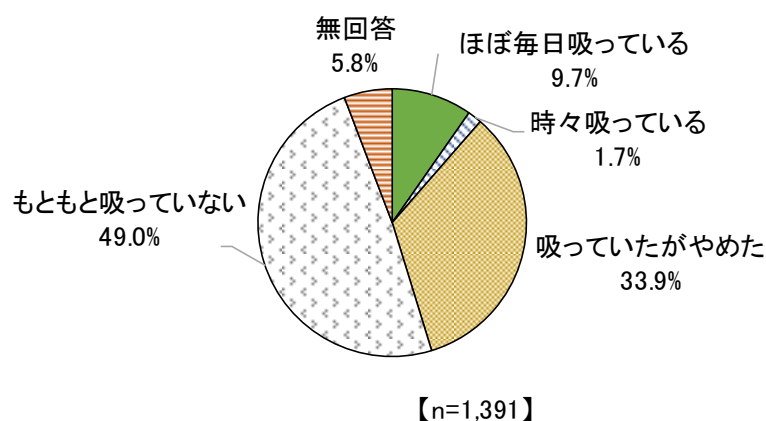


飲酒については、「もともと飲まない」が35.1%で最も多く、以下、「ほとんど飲まない」が22.0%、「ほぼ毎日飲む」が21.5%、「時々飲む」が15.5%などとなっています。

したがって、『飲酒する人の割合』（「ほぼ毎日飲む」と「時々飲む」の合計）は37.0%であることが分かります。

(6) 喫煙の状況

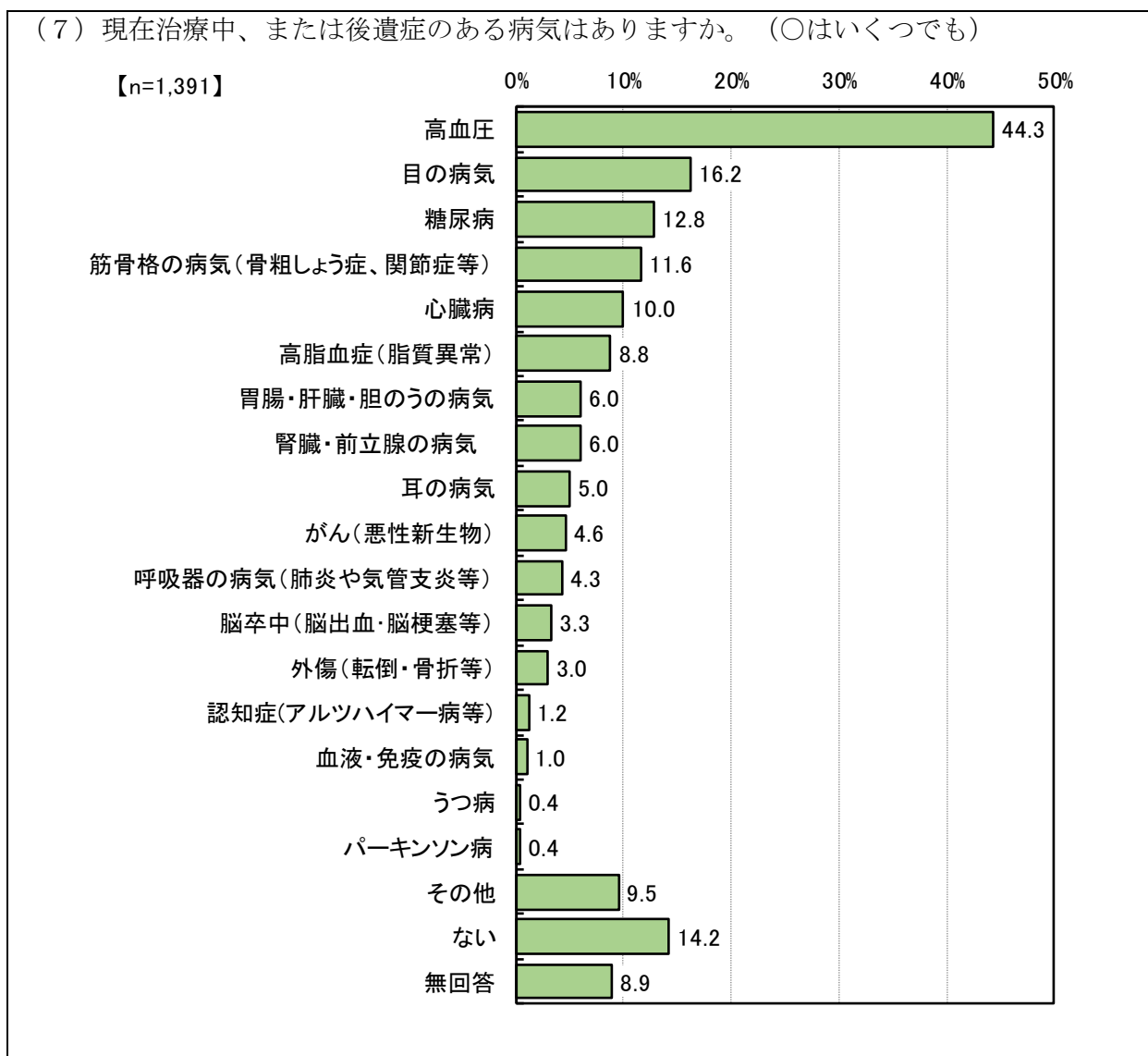
(6) タバコは吸っていますか。(○は1つ)



喫煙については、「もともと吸っていない」が49.0%で最も多く、以下、「吸っていたがやめた」が33.9%、「ほぼ毎日吸っている」が9.7%、「時々吸っている」が1.7%などとなっています。

したがって、『喫煙者の割合』（「ほぼ毎日吸っている」及び「時々吸っている」の合計）は11.4%であることが分かります。

(7) 治療中の病気



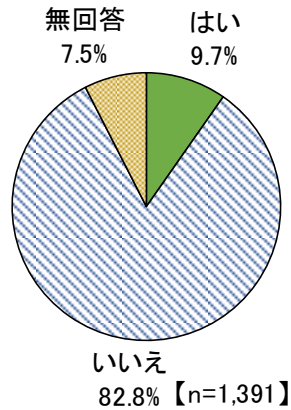
現在治療中もしくは後遺症のある病気は、「高血圧」が44.3%で最も多く、以下、「目の病気」が16.2%、「糖尿病」が12.8%、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」が11.6%などとなっています。

なお、14.2%は「ない」と回答しています。

8 認知症にかかる相談窓口の把握について

（１）認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか

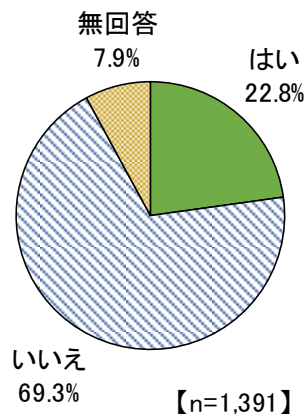
（１）認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。（○は１つ）



認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかを尋ねたところ、「はい」が9.7%となっています。

（２）認知症に関する相談窓口の認知度

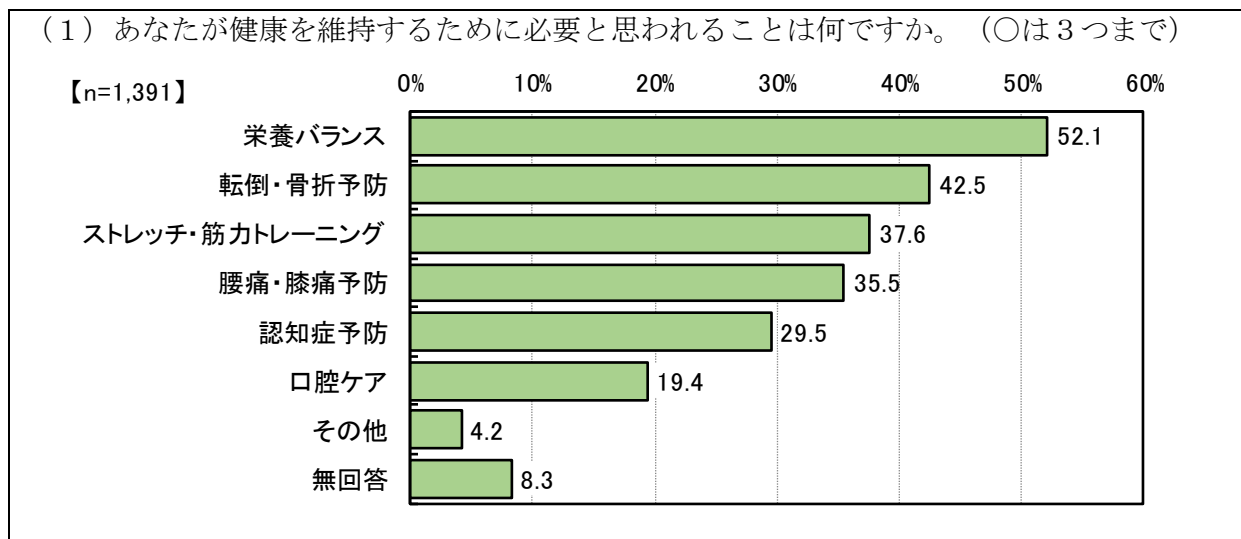
（２）認知症に関する相談窓口を知っていますか。（○は１つ）



認知症に関する相談窓口の認知度を尋ねたところ、「はい」が22.8%、「いいえ」が69.3%で「いいえ」の方が多くなっています。

9 その他

(1) 健康維持のために必要なこと



健康を維持するために必要だと思うことを尋ねたところ、「栄養バランス」が52.1%で最も多く、以下、「転倒・骨折予防」が42.5%、「ストレッチ・筋力トレーニング」が37.6%、「腰痛・膝痛予防」が35.5%、「認知症予防」が29.5%などとなっています。

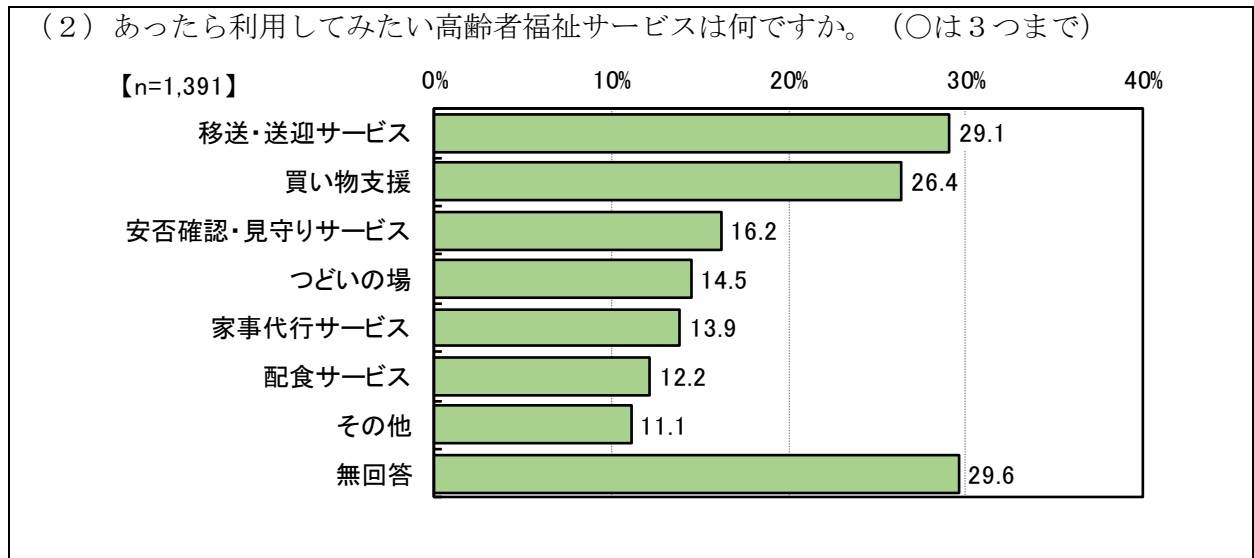
■居住地区（健康維持のために必要なこと）

単位：%

	栄養バランス	転倒・骨折予防	ストレッチ・筋力トレーニング	腰痛・膝痛予防	認知症予防	口腔ケア	その他	無回答
全体(n=1,391)	52.1	42.5	37.6	35.5	29.5	19.4	4.2	8.3
西地区(n=655)	49.8	45.0	37.7	35.7	29.8	21.7	4.0	7.6
東地区(n=439)	54.0	43.3	38.0	34.9	29.6	18.2	4.1	7.3
南地区(n=284)	54.6	35.9	35.9	37.0	29.9	16.2	3.2	12.0

居住地区でみると、いずれの地区においても「栄養バランス」が最も多くなっています。南地区では「腰痛・膝痛予防」が第2位となっています。

(2) 利用してみたい高齢者福祉サービス



利用してみたい高齢者福祉サービスは、「移送・送迎サービス」が29.1%で最も多く、以下、「買い物支援」が26.4%、「安否確認・見守りサービス」が16.2%、「つどいの場」が14.5%、「家事代行サービス」が13.9%などとなっています。

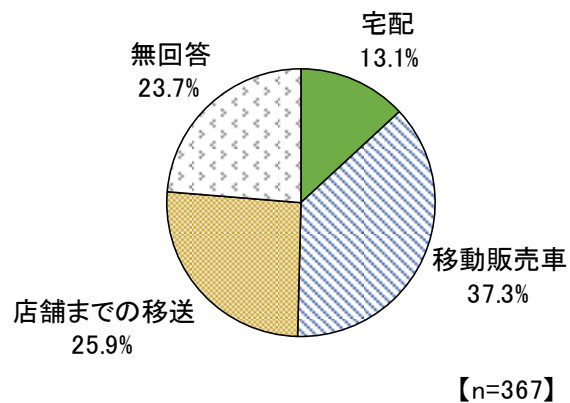
■居住地区（利用してみたい高齢者福祉サービス）

単位: %

	移送・送迎サービス	買い物支援	安否確認・見守りサービス	つどいの場	家事代行サービス	配食サービス	その他	無回答
全体(n=1,391)	29.1	26.4	16.2	14.5	13.9	12.2	11.1	29.6
西地区(n=655)	28.4	26.4	16.3	15.9	13.1	13.1	10.1	29.0
東地区(n=439)	28.0	26.0	15.5	12.3	14.4	12.3	13.9	29.8
南地区(n=284)	31.3	26.4	16.5	14.4	14.1	10.2	8.8	32.0

居住地区でみると、いずれの地区においても「移送・送迎サービス」が最も多く、次いで「買い物支援」となっています。

・買い物支援の内容



買い物支援の内容については、「移動販売車」が37.3%で最も多く、以下、「店舗までの移送」が25.9%、「宅配」が13.1%となっています。

■居住地区（買い物支援の内容）

単位：%

	移動販売車	店舗までの移送	宅配	無回答
全体(n=367)	37.3	25.9	13.1	23.7
西地区(n=173)	34.7	25.4	17.3	22.5
東地区(n=114)	40.4	26.3	10.5	22.8
南地区(n=75)	41.3	26.7	6.7	25.3

居住地区でみると、いずれの地区においても「移動販売車」が最も多く、次いで「店舗までの移送」となっています。

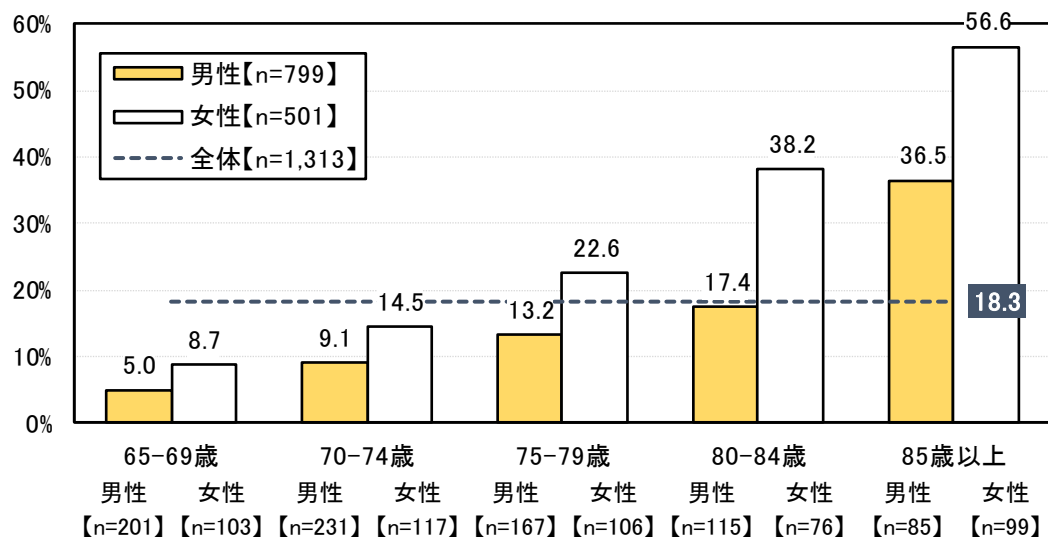
10 リスク分析

(1) 運動器機能の低下

【リスク判定方法】

下記の設問で3問以上、該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢	参照
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	13 頁
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	13 頁
15分位続けて歩いていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	14 頁
過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない	14 頁
転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない	14 頁



無回答による判定不能は全体で78サンプルあり、分析対象外としている
性別・年齢については無回答者が含まれるため、内訳の合計は全体と一致しない

運動器機能の低下リスクについて、全体では18.3%が有リスクとなっています。

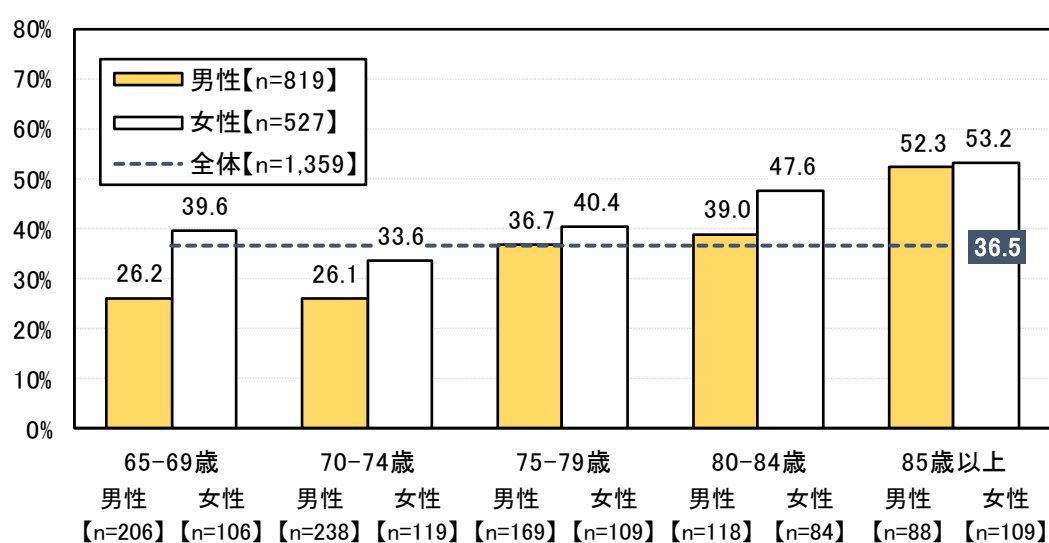
性別・年齢別に該当割合をみると、男女ともに年齢が上がるにつれて数値が高くなる傾向がみられ、「85歳以上」においては男性では36.5%、女性では56.6%が有リスクとなっています。

(2) 転倒リスク

【リスク判定方法】

下記の設問で、該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢	参照
過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない	14 頁



無回答による判定不能は全体で32サンプルあり、分析対象外としている
性別・年齢については無回答者が含まれるため、内訳の合計は全体と一致しない

転倒リスクについて、全体では36.5%が有リスクとなっています。

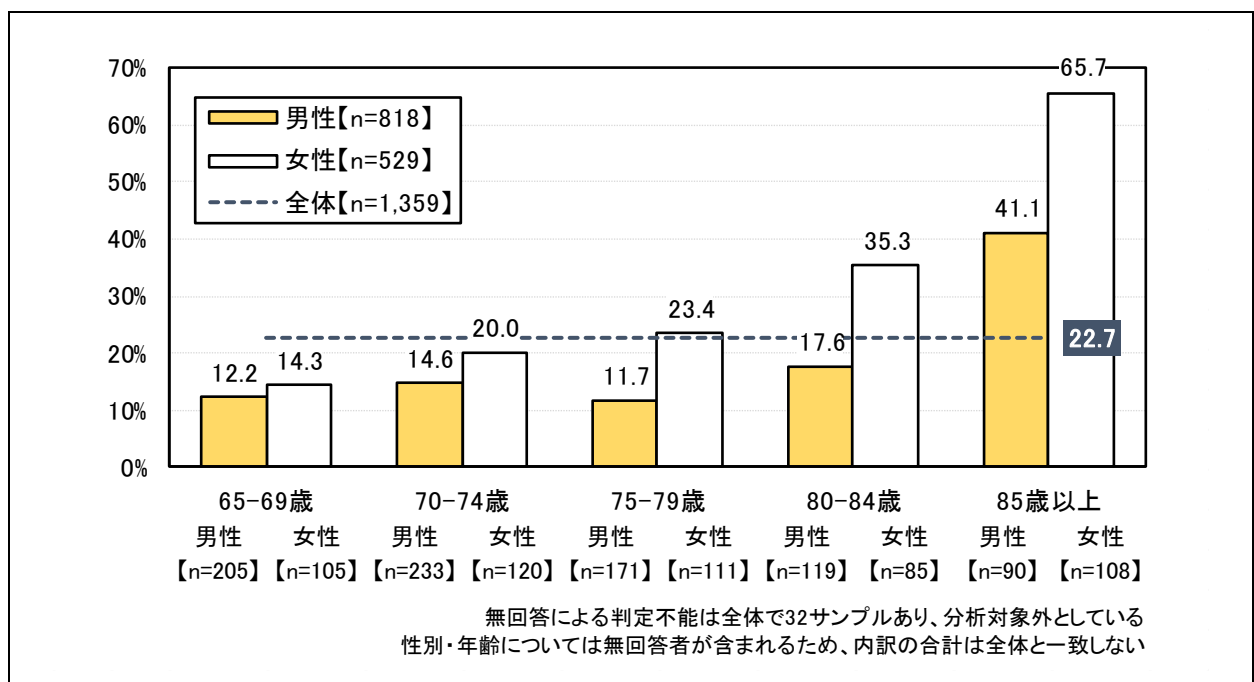
性別・年齢別に該当割合をみると、70歳以上の年齢層では、男女ともに年齢が上がるにつれて数値が高くなる傾向がみられ、「85歳以上」においては、男性では52.3%、女性では53.2%が有リスクとなっています。

(3) 閉じこもり傾向

【リスク判定方法】

下記の設問で、該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢	参照
週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2～4回 4. 週5回以上	15 頁



閉じこもり傾向のリスクについて、全体では22.7%が有リスクとなっています。

性別・年齢別に該当割合をみると、男女ともにおおむね年齢が上がるにつれて数値が高くなる傾向がみられ、特に「80～84歳」から「85歳以上」にかけて有リスク者が急増しています。

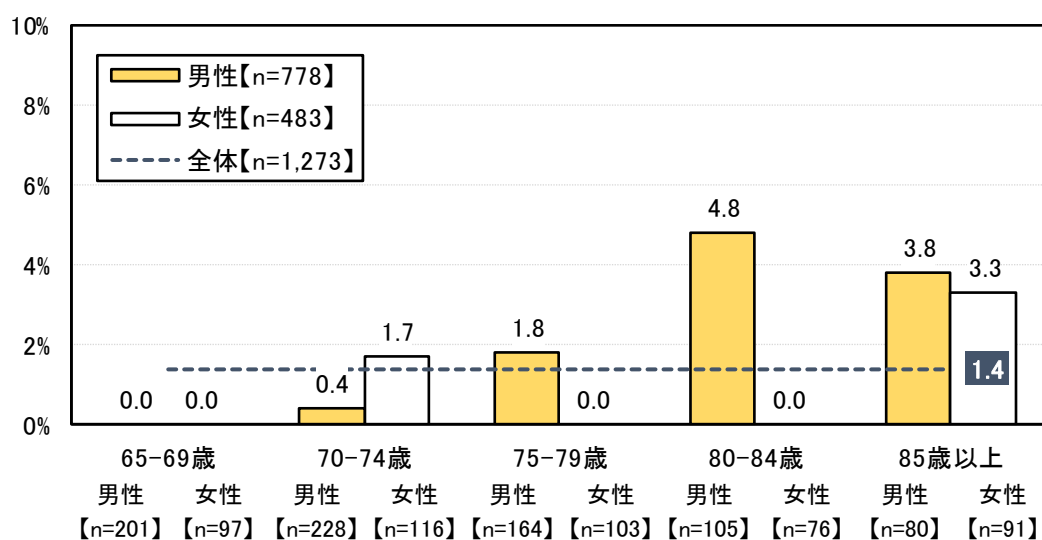
また、すべての年齢階級において女性が男性を上回っています。

(4) 低栄養傾向

【リスク判定方法】

下記の設問で、BMIが18.5以下となり、該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢	参照
身長・体重	身長・体重から算出される BMI(体重(kg)÷{身長(m)×身長(m)})が 18.5 以下の場合、低栄養が疑われる	18 頁
6ヶ月間で2～3kg 以上の体重減少がありましたか	1. はい 2. いいえ	22 頁



無回答による判定不能は全体で118サンプルあり、分析対象外としている
性別・年齢については無回答者が含まれるため、内訳の合計は全体と一致しない

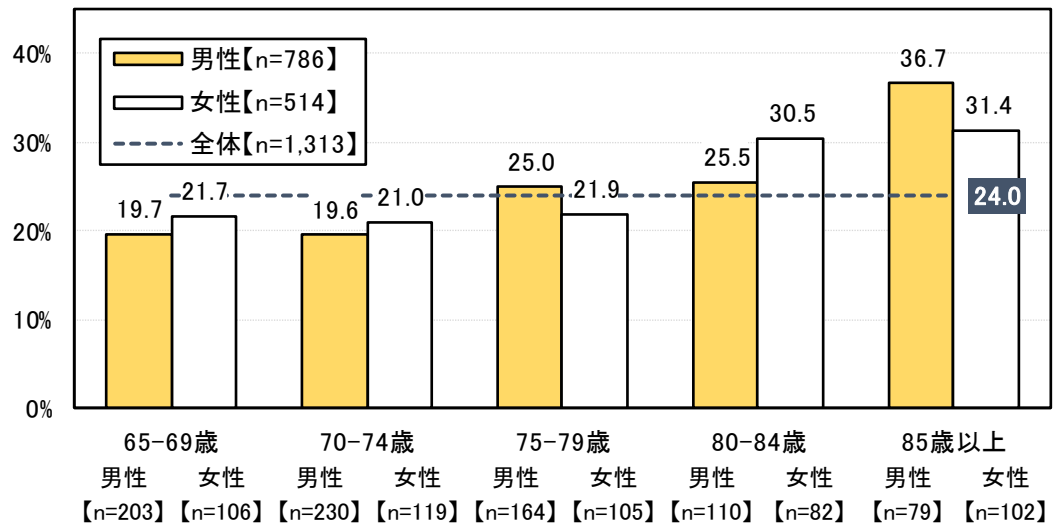
低栄養傾向のリスクについて、全体の該当割合が1.4%と他のリスクに比べて高い数値ではないほか、性別・年齢別に該当割合をみても性別及び年齢による目立った傾向はみられません。

(5) 口腔機能の低下

【リスク判定方法】

下記の設問で2問以上、該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢	参照
半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい 2. いいえ	19 頁
お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい 2. いいえ	19 頁
口の渇きが気になりますか	1. はい 2. いいえ	19 頁



無回答による判定不能は全体で78サンプルあり、分析対象外としている
性別・年齢については無回答者が含まれるため、内訳の合計は全体と一致しない

口腔機能の低下リスクについて、全体では24.0%が有リスクとなっています。

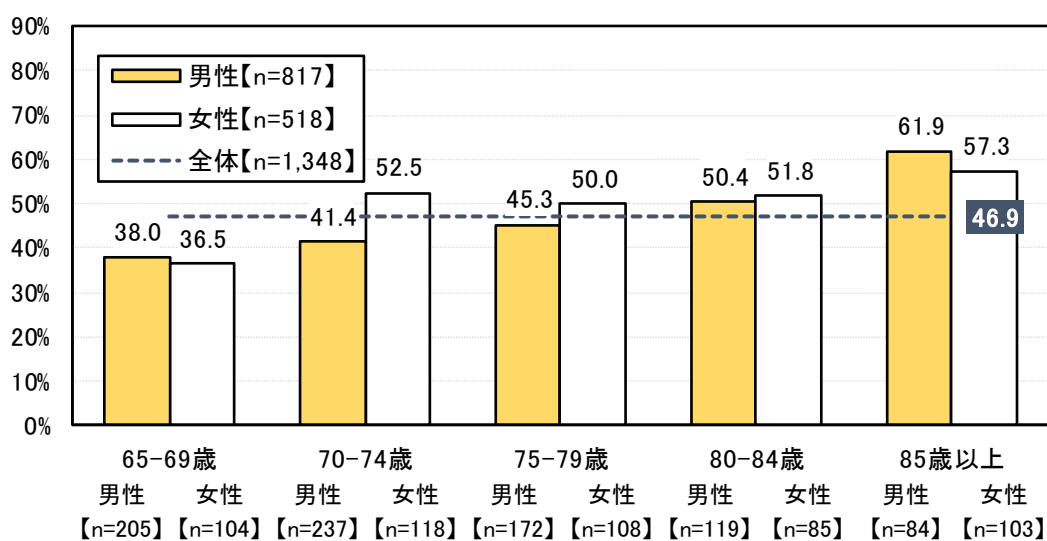
性別・年齢別に該当割合をみると、男女ともにおおむね年齢が上がるにつれて数値が高くなる傾向がみられ、「85歳以上」においては、男性では36.7%、女性では31.4%が有リスクとなっています。

(6) 認知機能の低下

【リスク判定方法】

下記の設問で、該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢	参照
物忘れが多いと感じますか	1. はい 2. いいえ	23 頁



無回答による判定不能は全体で43サンプルあり、分析対象外としている
性別・年齢については無回答者が含まれるため、内訳の合計は全体と一致しない

認知機能の低下リスクについて、全体では46.9%が有リスクとなっています。

性別・年齢別に該当割合をみると、男女ともにおおむね年齢が上がるにつれて数値が高くなる傾向がみられ、また、女性では70歳以上のすべての年齢層で過半数が有リスクとなっています。

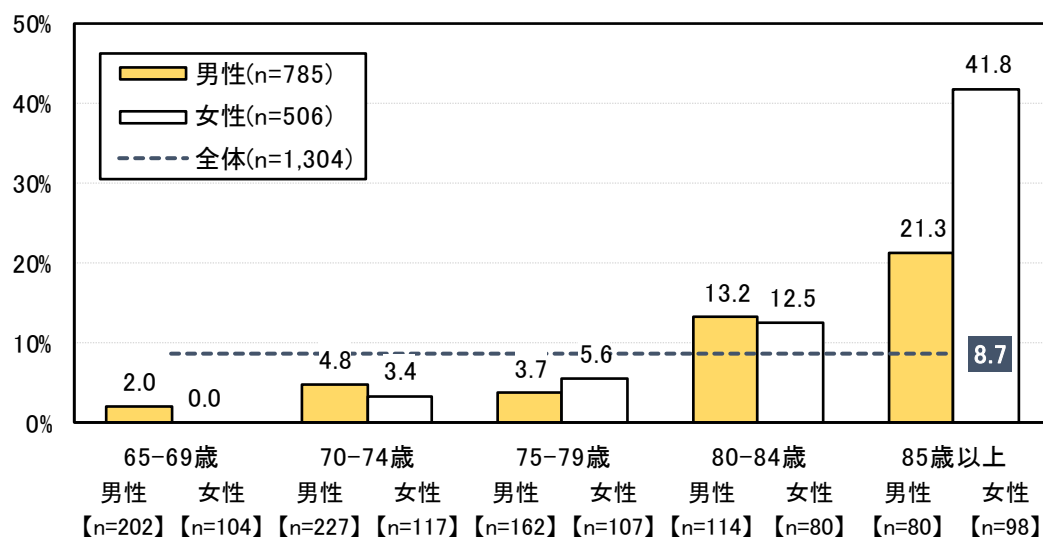
(7) IADL（手段的自立度）の低下

【リスク判定方法】

下記の設問で、5点満点中、3点以下を「低下」として評価します。

IADLは、外出や買物など、自立した日常生活を送るために必要な能力の判断基準となります。

設問内容	選択肢	参照
バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)	1. できるし、している 1点 2. できるけどしていない 1点 3. できない 0点	24 頁
自分で食品・日用品の買物をしていますか	1. できるし、している 1点 2. できるけどしていない 1点 3. できない 0点	24 頁
自分で食事の用意をしていますか	1. できるし、している 1点 2. できるけどしていない 1点 3. できない 0点	25 頁
自分で請求書の支払いをしていますか	1. できるし、している 1点 2. できるけどしていない 1点 3. できない 0点	25 頁
自分で預貯金の出し入れをしていますか	1. できるし、している 1点 2. できるけどしていない 1点 3. できない 0点	25 頁



無回答による判定不能は全体で87サンプルあり、分析対象外としている
性別・年齢については無回答者が含まれるため、内訳の合計は全体と一致しない

IADL（手段的自立度）の低下リスクについて、全体では8.7%が有リスクとなっています。

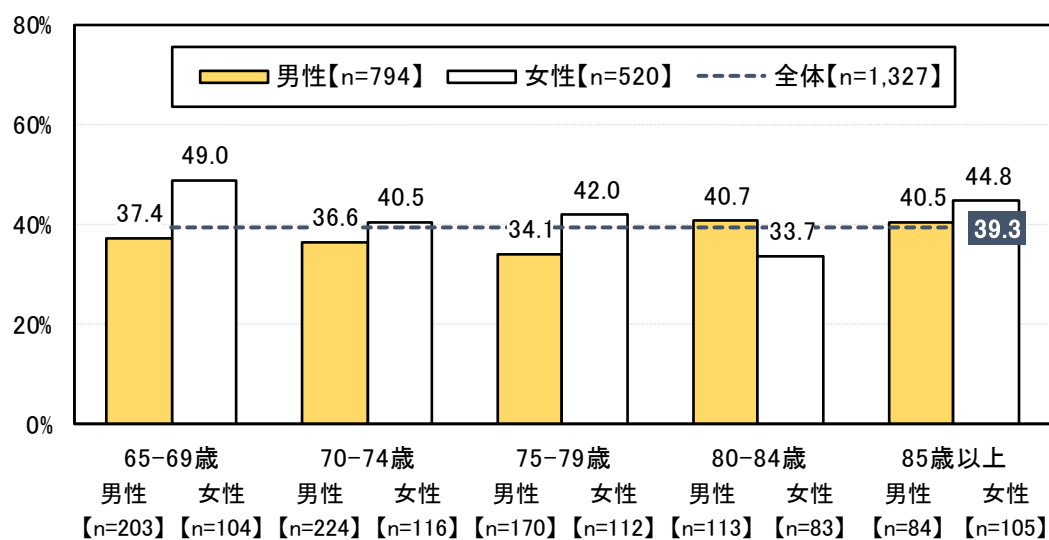
性別・年齢別に該当割合をみると、男女ともに80歳以上の年齢階層で比較的多く該当する傾向がみられます。男女いずれも「85歳以上」の該当割合が最も高く、特に女性については41.8%と突出して高い数値を示しています。

(8) うつ傾向

【リスク判定方法】

下記の設問で1問以上、該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢	参照
この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい 2. いいえ	40 頁
この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい 2. いいえ	40 頁



無回答による判定不能は全体で64サンプルあり、分析対象外としている性別・年齢については無回答者が含まれるため、内訳の合計は全体と一致しない

うつ傾向のリスクについて、全体では39.3%が有リスクとなっています。

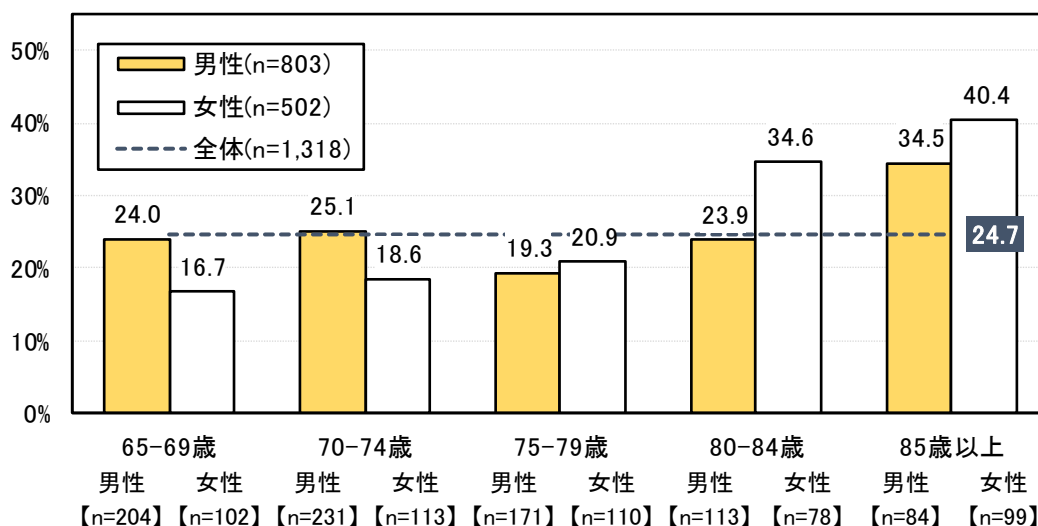
性別・年齢別に該当割合をみると、男女ともに年齢階層による大きな差はみられず、男性では「80～84歳」が40.7%で最も高く、女性では「65～69歳」が49.0%で最も高くなっています。

(9) 知的能動性の低下

【リスク判定方法】

下記の設問で、4点満点中、2点以下を「低下」として評価します。
知的能動性は、探索、創作、余暇活動などの知的な活動をすることです。

設問内容	選択肢	参照
年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点	26 頁
新聞を読んでいますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点	26 頁
本や雑誌を読んでいますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点	26 頁
健康についての記事や番組に関心がありますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点	27 頁



無回答による判定不能は全体で73サンプルあり、分析対象外としている
性別・年齢については無回答者が含まれるため、内訳の合計は全体と一致しない

知的能動性の低下リスクについて、全体では24.7%が有リスクとなっています。

性別・年齢別に該当割合をみると、女性では年齢が上がるにつれて数値が高くなる傾向がみられ、「85歳以上」では40.4%が有リスクとなっています。

男性では「85歳以上」が34.5%で最も高くなっています。

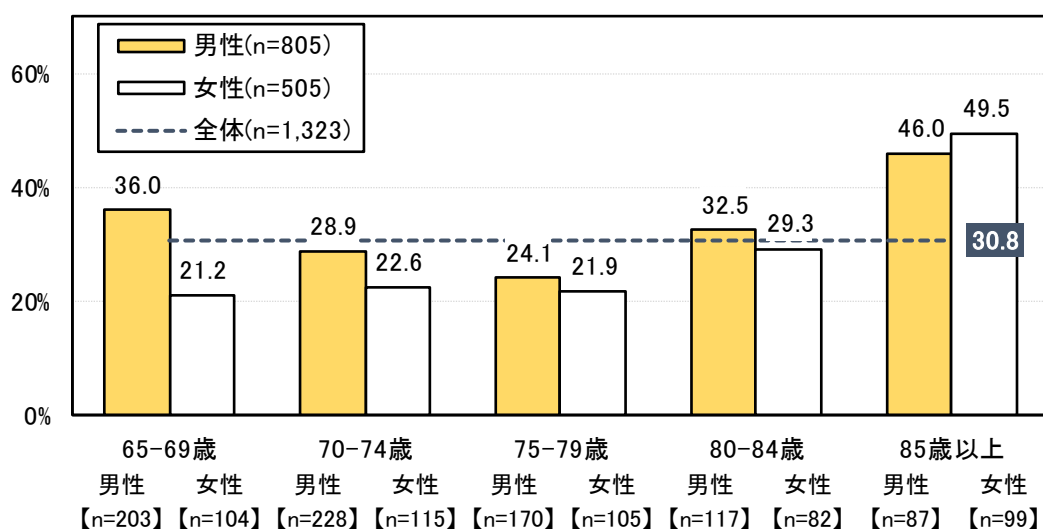
(10) 社会的役割の低下

【リスク判定方法】

下記の設問で、4点満点中、2点以下を「低下」として評価します。

社会的役割は、仲間と会食の機会を持ったり、地域の活動に参加したりするなど、地域で社会的な役割を果たすことです。

設問内容	選択肢	参照
友人の家を訪ねていますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点	27 頁
家族や友人の相談にのっていますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点	27 頁
病人を見舞うことができますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点	28 頁
若い人に自分から話しかけることがありますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点	28 頁



無回答による判定不能は全体で68サンプルあり、分析対象外としている
性別・年齢については無回答者が含まれるため、内訳の合計は全体と一致しない

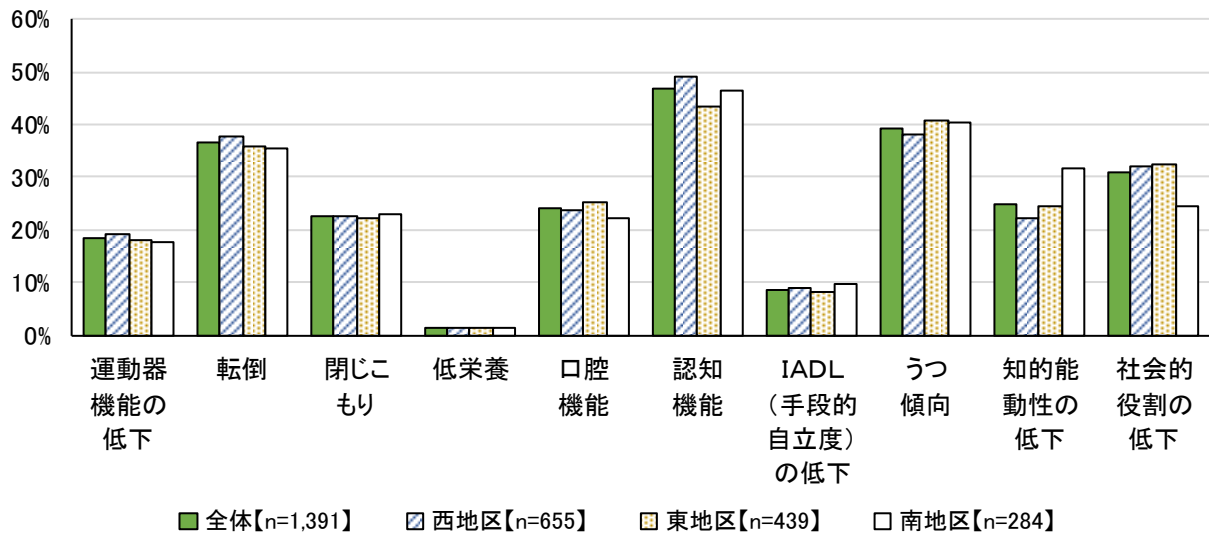
社会的役割の低下リスクについて、全体では30.8%が有リスクとなっています。

性別・年齢別に該当割合をみると、女性ではおおむね年齢が上がるにつれて数値が高くなる傾向がみられ、「85歳以上」では49.5%が有リスクとなっています。

一方、男性では75歳未満の前期高齢者の有リスク割合も高くなっています。

(11) 居住地区別有リスク割合

■居住地区（有リスク割合）



単位: %

	運動器機能の低下	転倒	閉じこもり	低栄養	口腔機能	認知機能	IADL (手段的自立度)の低下	うつ傾向	知的能動性の低下	社会的役割の低下
全体【n=1,391】	18.3	36.5	22.7	1.4	24.0	46.9	8.7	39.3	24.7	30.8
西地区【n=655】	19.0	37.8	22.5	1.5	23.7	48.9	8.8	38.0	22.2	32.1
東地区【n=439】	18.0	36.0	22.3	1.2	25.3	43.5	8.3	40.6	24.5	32.5
南地区【n=284】	17.5	35.4	22.8	1.2	22.2	46.5	9.9	40.2	31.7	24.4

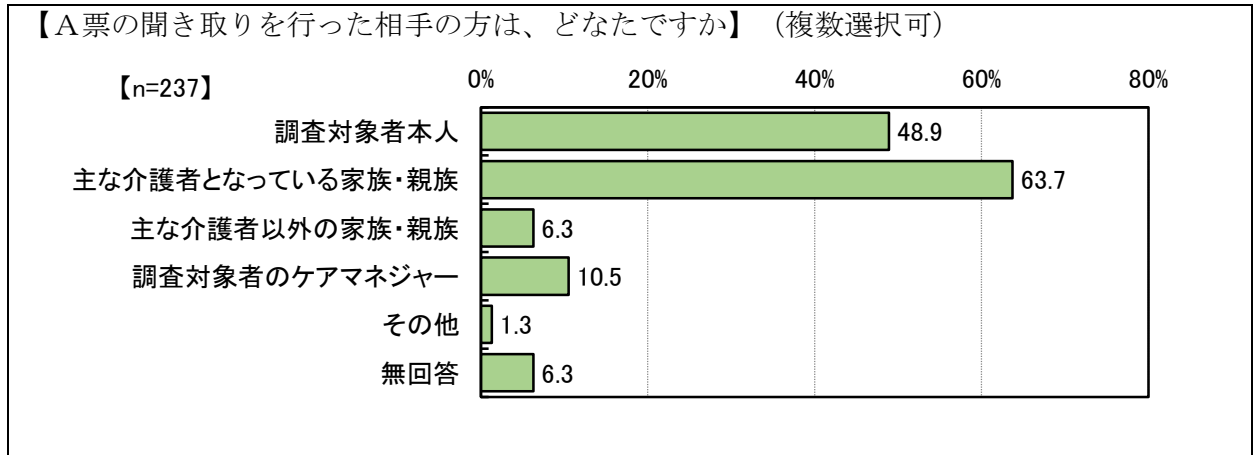
居住地区でみると、いずれの地区においても「認知機能」の有リスク割合が最も多く、次いで「うつ傾向」、「転倒」となっており、地区による大きな差はみられません。

Ⅲ 調査結果②

【在宅介護実態調査】

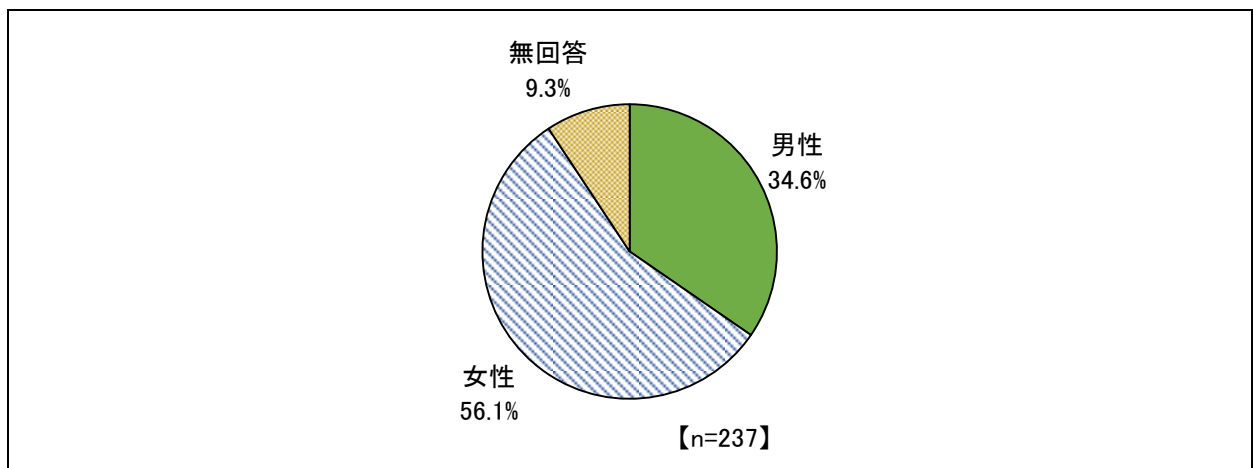
調査票記入者及び調査対象者について

◎ A表の聞き取りを行った相手の方



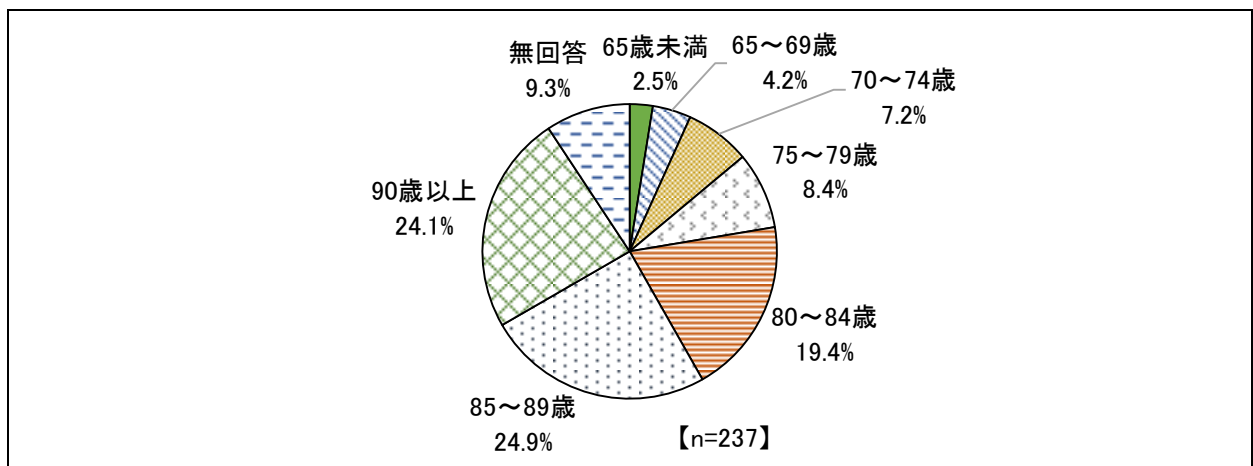
調査票の記入をした方は、「主な介護者となっている家族・親族」が63.7%、「調査対象者本人」が48.9%などとなっています。

◎性別



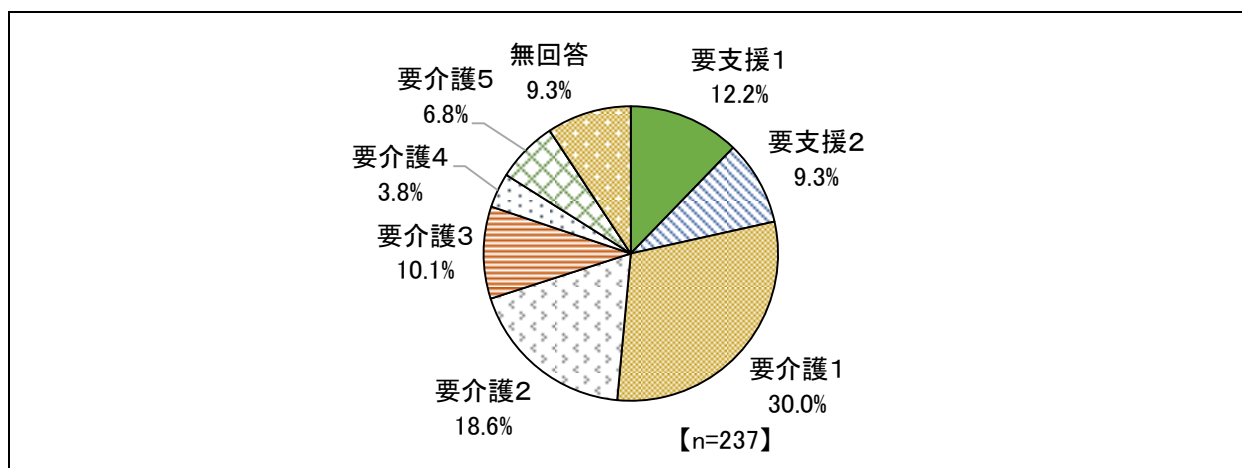
性別は、「男性」が34.6%、「女性」が56.1%となっています。

◎年齢



年齢は、「85～89歳」が24.9%で最も多く、以下、「90歳以上」が24.1%、「80～84歳」が19.4%、「75～79歳」が8.4%、「70～74歳」が7.2%などとなっています。

◎要介護状態区分

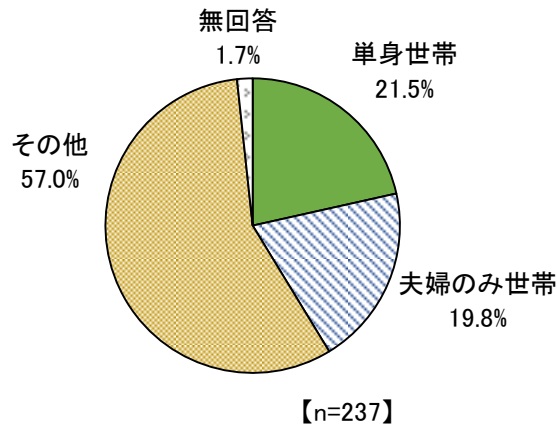


要介護認定の状況は、「要介護1」が30.0%で最も多く、以下、「要介護2」が18.6%、「要支援1」が12.2%、「要介護3」が10.1%、「要支援2」が9.3%などとなっています。

A票 認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目

(1) 世帯類型

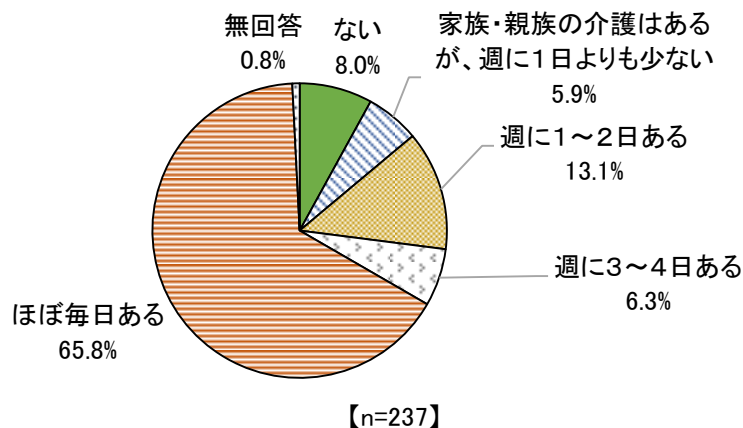
問1 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）



世帯類型は、「単身世帯」が21.5%、「夫婦のみ世帯」が19.8%となっています。

(2) 家族・親族からの介護の状況

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか
（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）

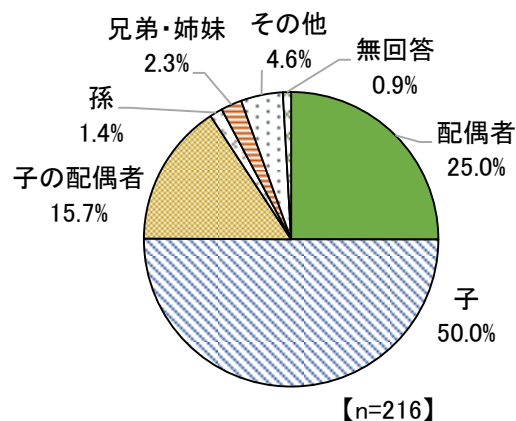


家族や親族からの介護の状況は、「ほぼ毎日ある」が65.8%で最も多く、以下、「週に1～2日ある」が13.1%、「週に3～4日ある」が6.3%、「家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない」が5.9%となっています。

なお、8.0%が「ない」と回答しています。

(3) 主な介護者

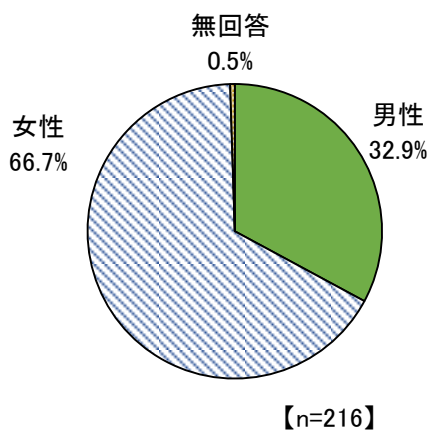
問3 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）



主な介護者は、「子」が50.0%で最も多く、「配偶者」が25.0%、「子の配偶者」が15.7%、「兄弟・姉妹」が2.3%などとなっています。

(4) 主な介護者の性別

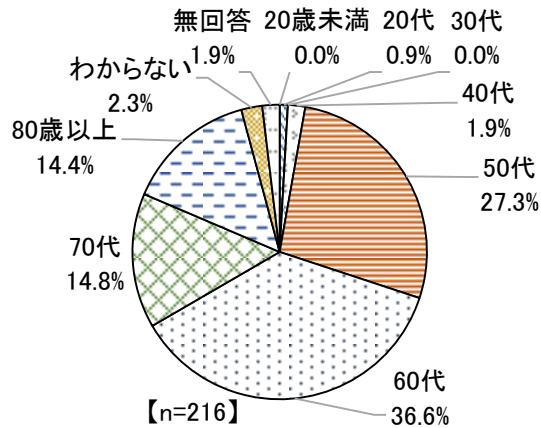
問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）



主な介護者の性別は、「女性」が66.7%で、「男性」が32.9%となっています。

(5) 主な介護者の年齢

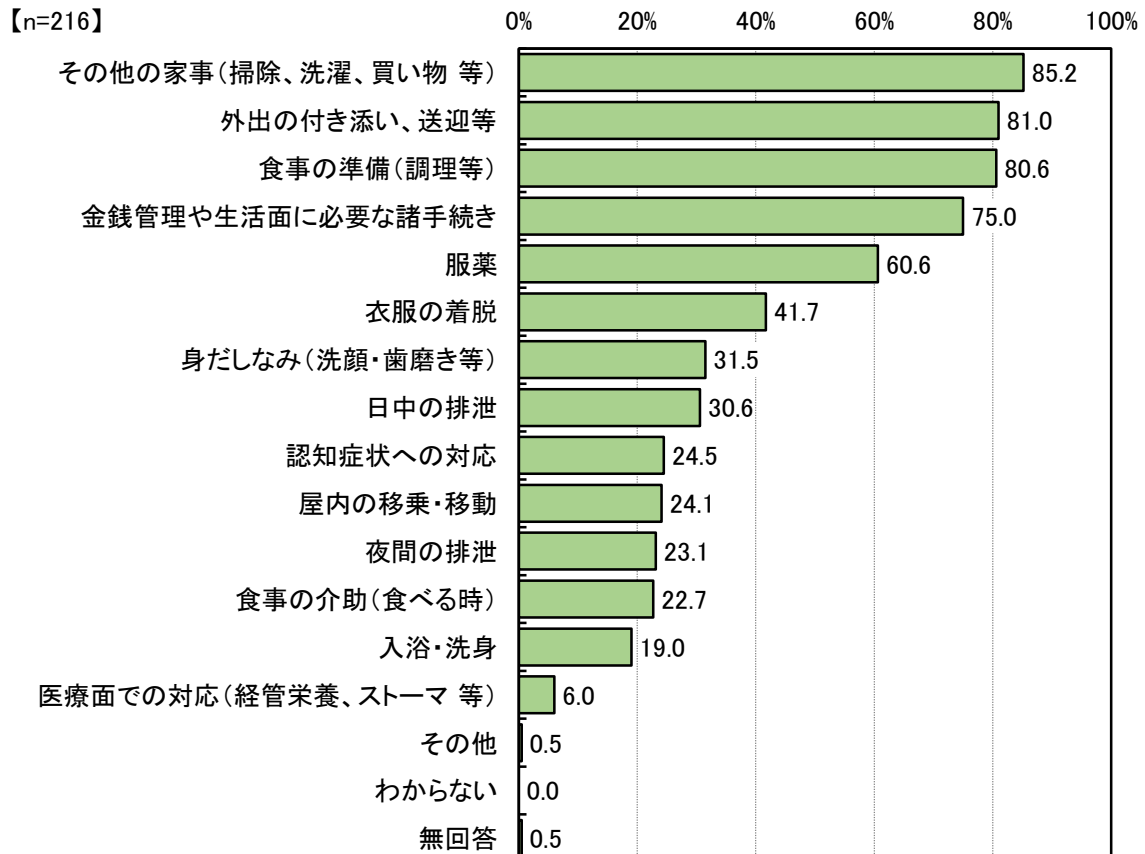
問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）



主な介護者の年齢は、「60歳代」が36.6%で最も多く、以下、「50歳代」が27.3%、「70歳代」が14.8%、「80歳以上」が14.4%などとなっており、60代以上が大半を占めています。

(6) 主な介護者が行っている介護

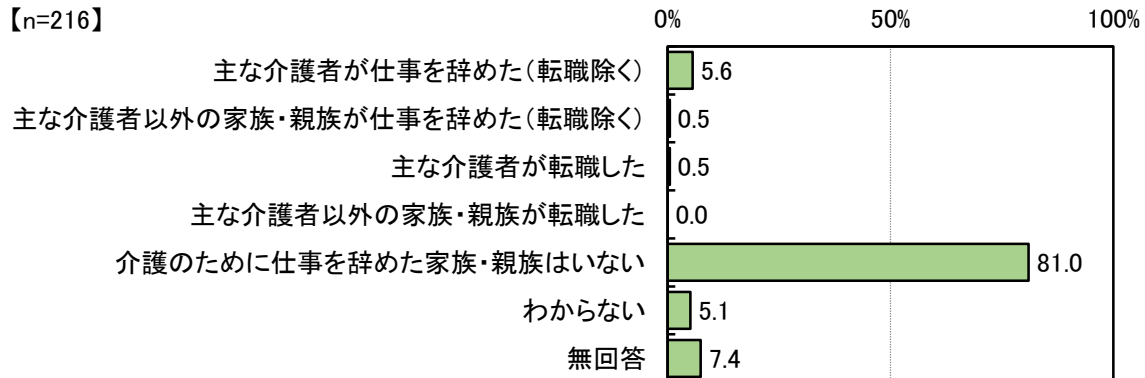
問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（複数選択可）



主な介護者が行っている介護については、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が85.2%で最も多く、以下、「外出の付き添い、送迎等」が81.0%、「食事の準備（調理等）」が80.6%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が75.0%、「服薬」が60.6%などとなっています。

(7) 介護を理由に仕事を辞めた家族・親族

問7 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

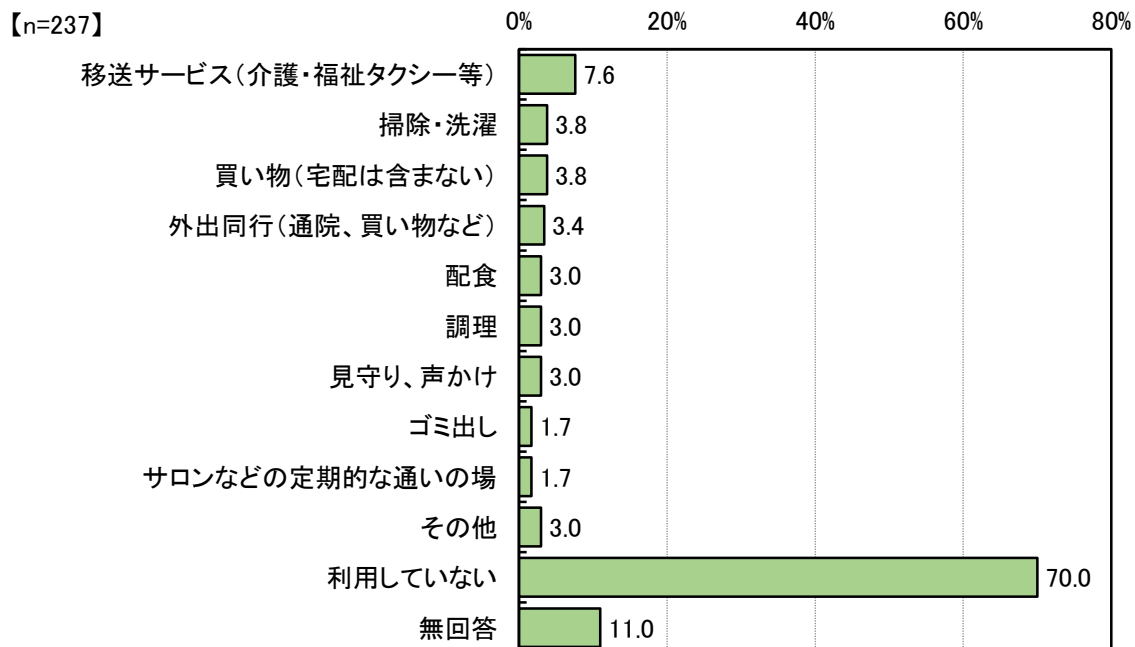


介護を理由に過去1年間で仕事を辞めた家族や親族について、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が5.6%、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）」と0.5%、「主な介護者が転職した」が0.5%で、合わせると6.6%となっています。

なお、81.0%が「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答しています。

(8) 介護保険サービス以外の支援・サービス利用状況

問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（複数選択可）

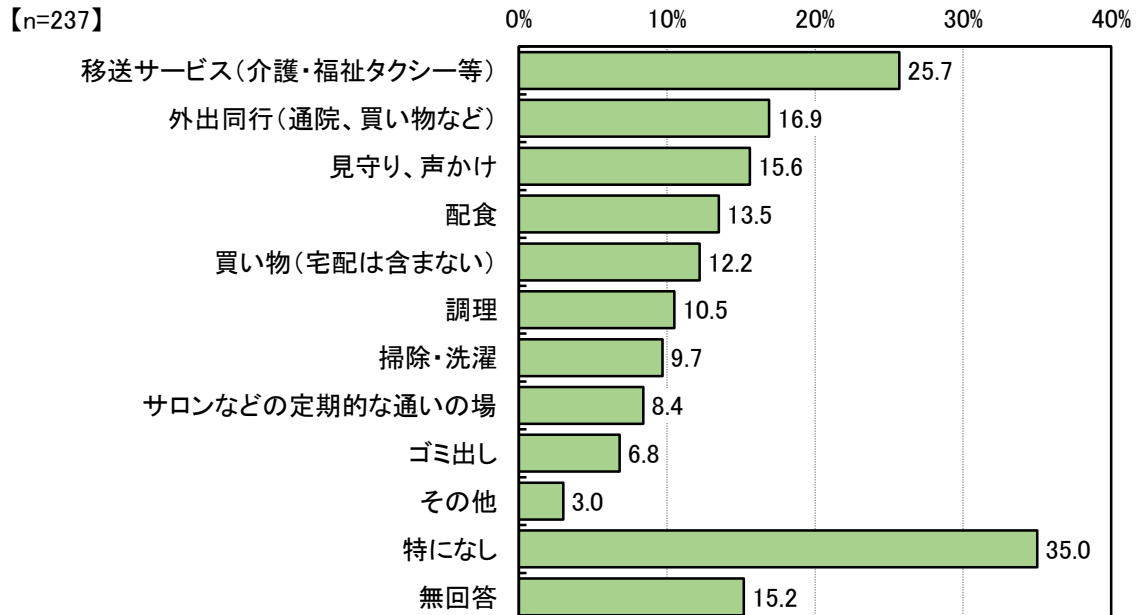


介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況は、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が7.6%で最も多く、「掃除・洗濯」、「買い物（宅配は含まない）」が3.8%、「外出同行（通院、買い物など）」が3.4%などとなっています。

なお、70.0%は「利用していない」と回答しています。

(9) 在宅生活の継続に必要な支援・サービス

問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）

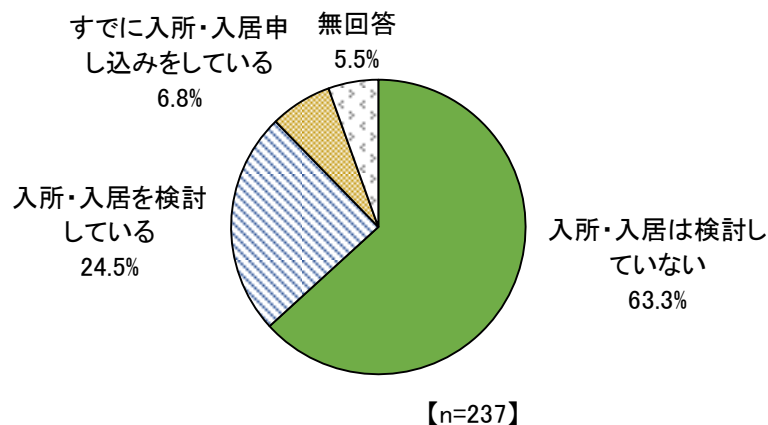


今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が25.7%最も多く、以下、「外出同行（通院、買い物など）」が16.9%、「見守り、声かけ」が15.6%、「配食」が13.5%、「買い物（宅配は含まない）」が12.2%などとなっています。

なお、35.0%が「特になし」と回答しています。

(10) 施設への入所・入居の検討状況

問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選択）

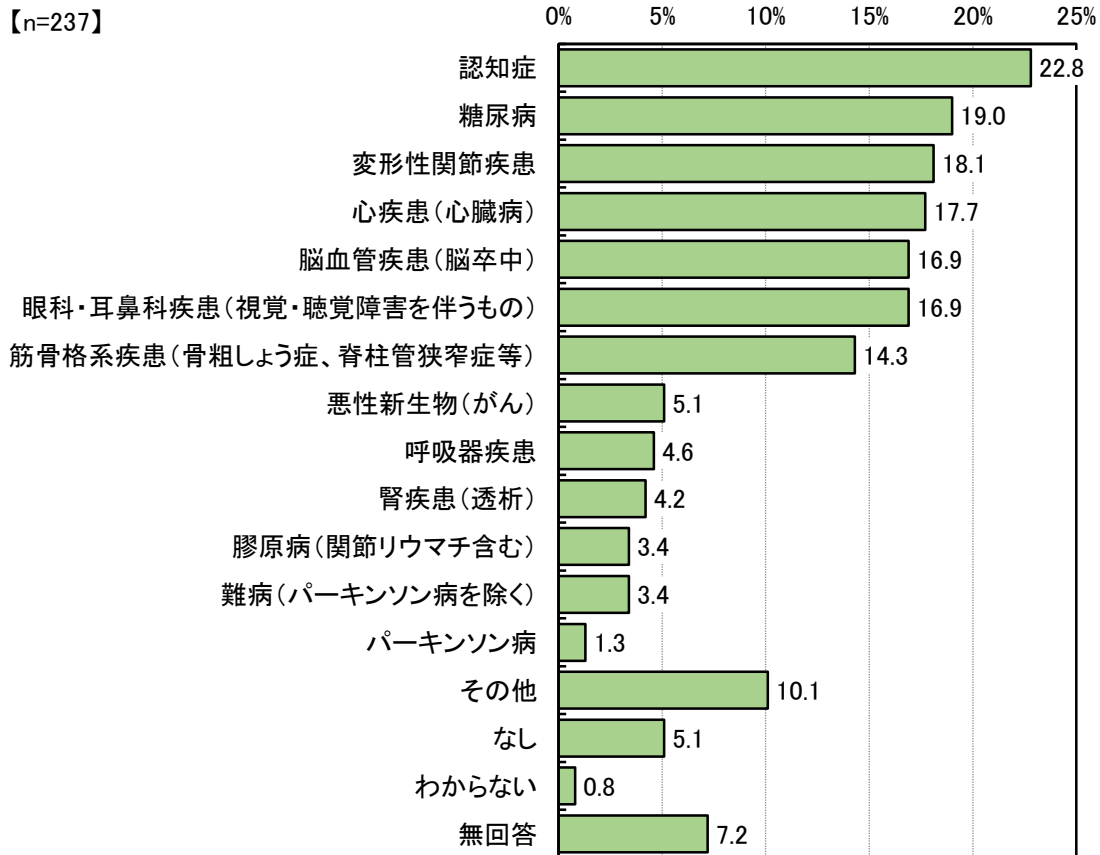


現時点での、施設等への入所・入居の検討状況は、「入所・入居を検討している」が24.5%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が6.8%となっています。

なお、63.3%が「入所・入居は検討していない」と回答しています。

(11) 現在抱えている傷病

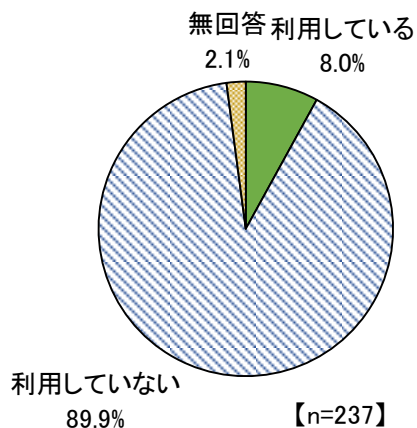
問11 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください
（複数選択可）



現在抱えている傷病については、「認知症」が22.8%で最も多く、以下、「糖尿病」が19.0%、「変形性関節疾患」が18.1%、「心疾患（心臓病）」が17.7%、「脳血管疾患（脳卒中）」、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が16.9%などとなっています。

(12) 訪問診療の利用状況

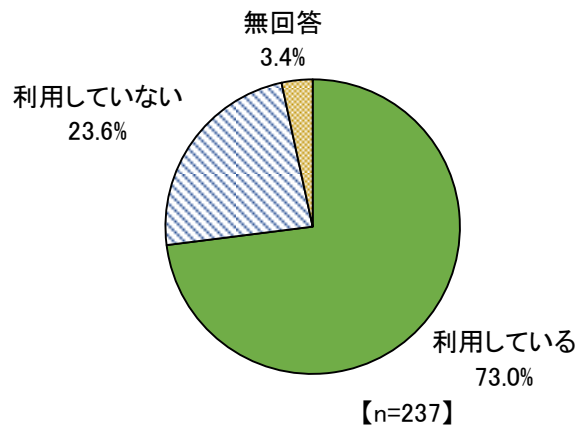
問12 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（1つを選択）



訪問診療の利用状況は、「利用している」が16.9%、「利用していない」が89.9%となっています。

(13) 介護保険サービスの利用状況

問13 現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか（1つを選択）

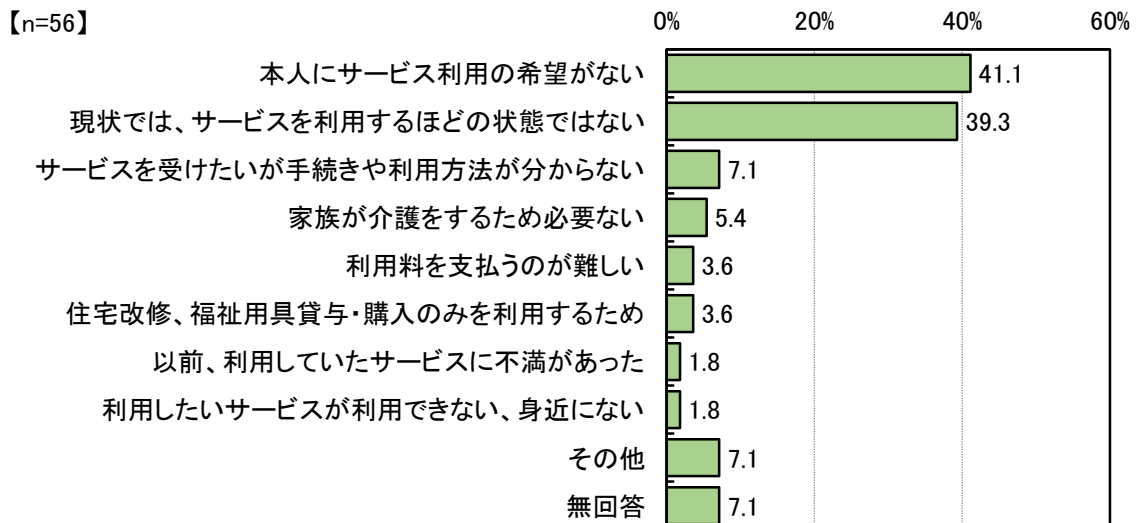


住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスについては、「利用している」が73.0%、「利用していない」が23.6%となっています。

(14) 介護保険サービスを利用していない理由

【問13で「2. 利用していない」を回答した方】

問14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）

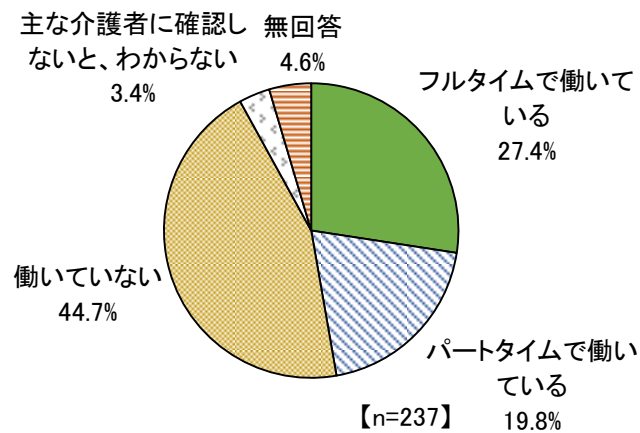


介護保険サービスを利用していない理由は、「本人にサービス利用の希望がない」が41.1%で最も多く、以下、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が39.3%、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が7.1%、「家族が介護をするため必要ない」が5.4%などとなっています。

B票 主な介護者、もしくはご本人にご回答・ご記入頂く項目

(1) 主な介護者の勤務形態

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）



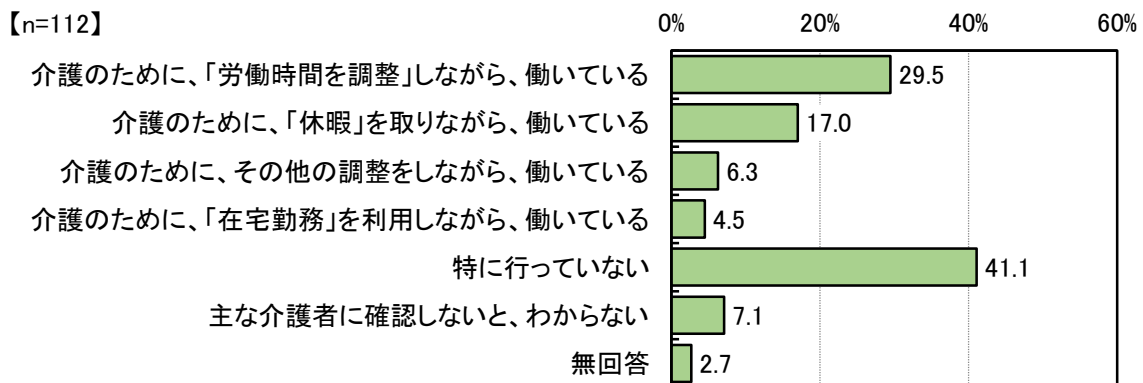
主な介護者の現在の勤務形態については、「フルタイムで働いている」が27.4%、「パートタイムで働いている」が19.8%となっています。

なお、48.9%が「働いていない」と回答しています。

(2) 働き方の調整について

問2 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。

主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（複数選択可）



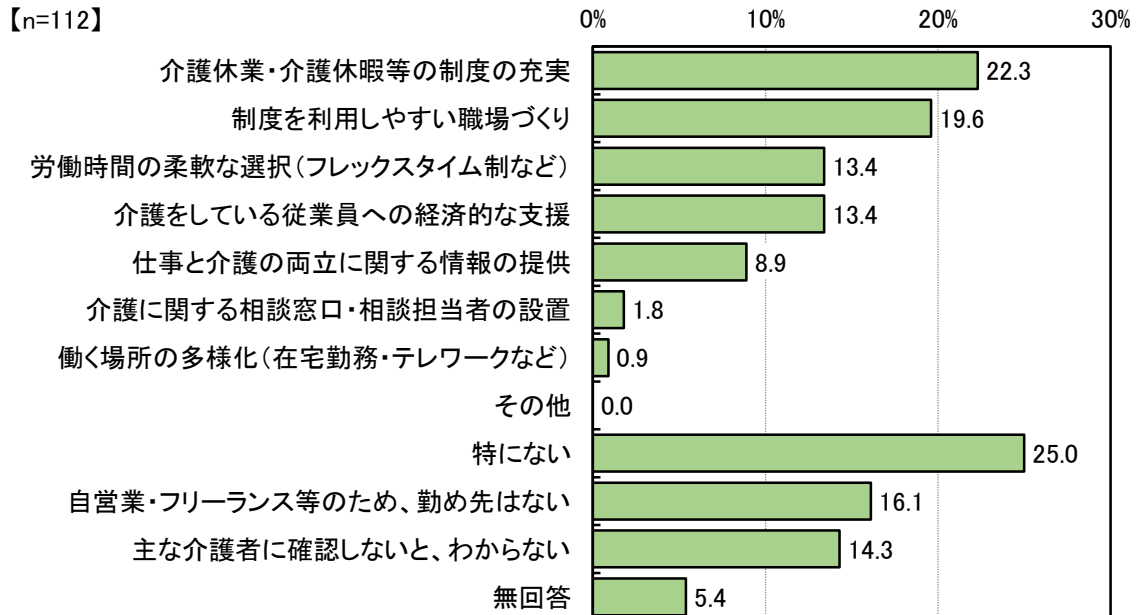
介護をするにあたって働き方の調整をしているかを尋ねたところ、「介護のために、「労働時間を調整」しながら、働いている」が29.5%で最も多く、以下、「介護のために、「休暇」を取りながら、働いている」が17.0%、「介護のために、その他の調整をしながら、働いている」が6.3%、「介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている」が4.5%となっています。

なお、41.1%が「特に行っていない」と回答しています。

(3) 仕事と介護の両立のための支援

問3 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。

主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）



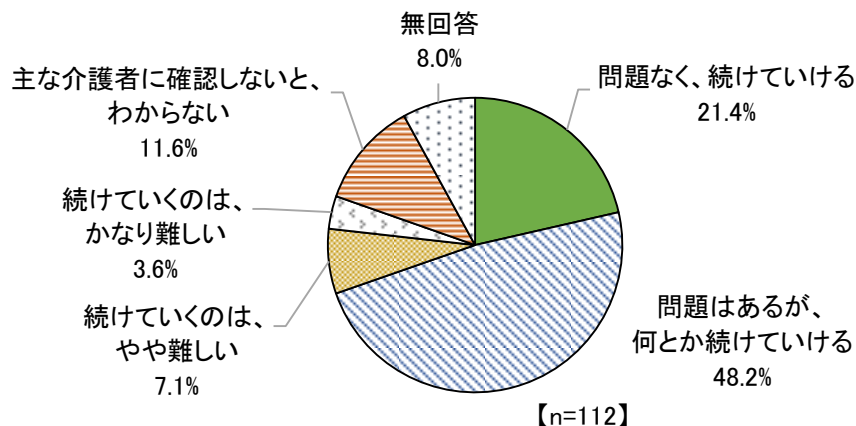
仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援は、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が22.3%で最も多く、以下、「制度を利用しやすい職場づくり」が19.6%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」、「介護をしている従業員への経済的な支援」がともに13.4%などとなっています。

なお、25.0%が「特にない」、16.1%が「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」と回答しています。

(4) 主な介護者の仕事と介護の継続

問4 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。

主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）



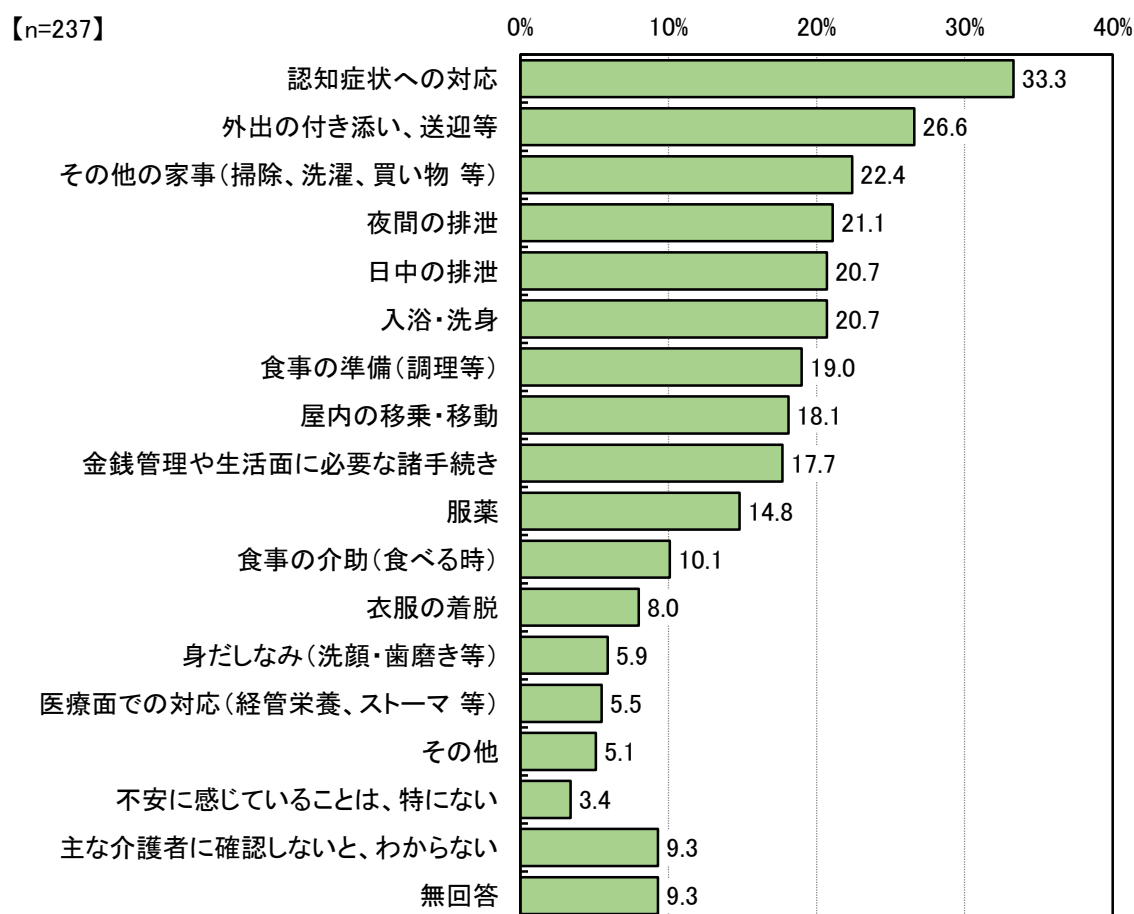
主な介護者の仕事と介護の継続については、「問題はあるが、何とか続けていける」が66.0%で最も多く、次いで、「問題なく、続けていける」が21.4%となっています。

一方、3.6%が「続けていくのは、かなり難しい」、7.1%が「続けていくのは、やや難しい」と回答しています。

(5) 主な介護者が不安に感じる介護

【全員の方が回答してください】

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）



主な介護者が不安に感じる介護は、「認知症状への対応」が33.3%で最も多く、以下、「外出の付き添い、送迎等」が26.6%、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が22.4%、「夜間の排泄」が21.1%、「日中の排泄」が20.7%などとなっています。

Ⅳ 自由記述

■介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

地区	性別	年齢	記入者	記述内容
西地区	男性	65 歳	本人	介護保険料が高い。年金暮らしを考えた場合、もう少し配慮すべきではないか。福祉サービスを行う人の質の向上を図ってもらいたい。ありふれた企画ではなく、もっと本質的なことを考えたサービス提供をお願いします。
西地区	男性	65 歳	本人	私(本人)は耳がきこえません。わかりやすいように色々な説明してほしい。チラシについては、わかりやすいし読みわかりやすいしできるような報告してほしい。アドバイスとしてわかりやすい。これだけおねがいします。
西地区	男性	65 歳	本人	認知症の90才の母が一人で離れた場所で暮らしていますが、チョットした電気製品の操作ミスなどで、暑い思い、寒い思い、また危ない思いをしています。家族がその時その場所にすぐに行けない時に間違いを直してくれる、そんな人がいたらいいと思います。近所の家は知らない人ばかりです。
西地区	男性	66 歳	本人	サービス等の実費が安くなるように。
西地区	男性	66 歳	本人	まだ現役で仕事している身なので、福祉サービスと言われても、ピンとこないのが現状です。
西地区	女性	66 歳	本人	今は介護は必要はないのですが、なるべくお金がかからないようにできたらと思います。
西地区	男性	67 歳	本人	介護保険証は手元に有るが、介護・福祉に関してはまだピンとこない。
西地区	男性	67 歳	本人	最近、膝が痛くなり買い物に出るのも辛くなってきた。仕方がないのでタクシーを利用しているが金銭的負担が大きい。一部でもタクシー代の補助があれば有難い。
西地区	女性	67 歳	本人	お金がなくても、福祉サービスは使用できますか。1人なので、天涯孤独で心配です。記おくがある時に死にたいと、いつも思い友人がはげましてくれる毎日です。野栄の福祉課に見える方が、たよりです、あの方のアドバイスで、私は生きています。
西地区	女性	67 歳	本人	今現在は夫婦共に車の運転が出来ますが、乗れなくなった時に買物難民になってしまう事が心配です。
西地区	男性	68 歳	本人	介護保険料が高い。
西地区	男性	68 歳	本人	高齢者の運転免許証返納促進の観点からも、利活用交通網(手段)の充実。(移動手段の充実)
西地区	男性	68 歳	本人	昨年の11月に亡くなった父のご支援・サービスありがとうございました。幸い家族で支援を受けながら対応出来ましたが、近くに独居老人の方もいて、とても心配です。
西地区	男性	68 歳	本人	年金から引かれる介護保険料が多い様に感じます。
西地区	男性	68 歳	本人	年金生活になると介護保険料は負担。
西地区	女性	68 歳	本人	介護保険の利用方法がよくわからない人が多いのでは。家族がみている要介護者の介護認定が低く困っている。ケアマネジャーが細部まで見ていない。
西地区	女性	68 歳	本人	一人暮らしなので、今は大丈夫なのですが、もう少し高齢になった時に車が運転できない人は、役所等に行くのにも不自由になってしまう事が心配なので、交通の便の良い所に引越す事も考えています。
西地区	男性	69 歳	本人	介護保険を取られている者が必ず施設等に入れる様にする。
西地区	男性	69 歳	本人	現在自営で仕事をしている。
西地区	男性	69 歳	家族	高齢者の率の高い匝瑳市ですが、施設や病院をあまり利用せず、元気ではつらつとした高齢者が多くなる様な、企画・運営(例:いきいき百歳体操)をお願いします。
西地区	女性	69 歳	本人	見聞きした経験から、介護保険サービスが必要かも知れないと思った時に、本人にしろ、家族や知人にしろ、誰にどう相談したらよいのかが分からずに、とまどっている方々がいます。基礎知識としての「利用の仕方」が分からない人が多いのは、無責任な情報に踊らされてしまうことにもつながるのでは。学習意欲のある年代の方々に「ボランティア講習の基礎編」の様な形で広く知ってもらう、というのは如何でしょう。講習修了者の間に、互助の知恵も生まれるかも知れません。

地区	性別	年齢	記入者	記述内容
西地区	女性	69 歳	本人	高齢になると、車の運転ができなくなり、買物、病院等行く事が不安になります。
西地区	女性	69 歳	本人	今は自分で車の運転が出来るのでいいのですが、もし運転が出来なくなったら足が悪いのでタクシーなど利用するようになったら思う様に出かけられなくなる。これから先がとても不安です。市のバスがありますが、聞くと目的地まで行くのにとても時間がかかると聞きます。
西地区	男性	70 歳	本人	70才を過ぎましたが、まだ高齢者とは自分は思っていませんでした。このアンケートは私にはまだ早いです。現役で仕事をしていますので、内容がまだ先の事かと思いました。
西地区	男性	70 歳	本人	介護保険制度の事をくわしくもっと知りたい。
西地区	男性	70 歳	本人	機会があればですが。色々な制度やサービスについて、もっと知りたいと思っています。
西地区	女性	70 歳	本人	自宅近くの公民館等をふるに使用できたらと思う。(たとえば遠くに行って、習うのではなく徒歩5、10分以内の場所で、手芸、習字、ダンス、カラオケ等々。)
西地区	女性	70 歳	本人	自動車運転していますが、免許返納したくても店はないし公共の場へ行く手立てがありません。銀行等に頻繁に行きますし、その辺の所をなんとかして頂きたいと思います。今の処は人様の助けはいりませんが。
西地区	男性	71 歳	本人	窓口の受付の態度が良くない。サービスの向上に努力してもらいたい。
西地区	女性	71 歳	本人	デイサービスの入浴支援は大変良いと思います。私達の世代は福祉のサービスを受けない老後が重要です。その為には個人の意識をどこにもってゆくか。そういうサービス(考え、予防)すでにありますが何か老後福祉に頼りたい気持ちが強いのをなくしたいです。
西地区	女性	71 歳	本人	情報の伝達について。どういう福祉サービスがあるのか、問5の地域での活動についてもいつも限られた人(同じ人)のみ知らされて、情報がわきを通り過ぎていく感じがします。
西地区	女性	71 歳	本人	身近に親しい人はほとんどいません。友人とは仕事での中での付き合いです。後、どの位働けるか考えると、本当にうつ病になりそうです。
西地区	男性	72 歳	本人	間接的な意見・要望として。予防対策や早急な医療施設の充実が必要です。匠瑤市の総合病院の充実です。(病院の場所、先進医療設備や施設、医師、看護師、事務員と事務処理システムの充実と改革。)
西地区	男性	72 歳	本人	晩年を高齢者福祉施設で迎える者が多い現状から、施設数の増加及び充実を進めていただきたい。
西地区	女性	72 歳	本人	一人暮らしなので夜など具合が急にわるくなった時、どのように連絡したらいいか、対処のしかたがわからないので、自分自身一人で、こどく死をするのではないかと非常に心配しております。
西地区	女性	72 歳	本人	一人暮らしの為、何か事が起きた時、知らせる事も出来ない場合など、常に不安に感じます。又、日常のお買物の行き帰りの車がないので少し不自由を感じる。
西地区	女性	72 歳	家族	調査前は少し歩けていましたが、今現在はリハビリ中でこの回答が必ずしもあっているとは思えません。意見、要望は今現在あまり使用してないのでハッキリわかりませんが、やさしく接して頂けたらと。後オムツ等の利用券などがあると助かります。(皆様の税金を使う事になるので申し訳ないと思います)
西地区	女性	72 歳	家族	年金支給がない為、家族に負担をかけていますので介護保険料をもう少し安くできないでしょうか。
西地区	男性	73 歳	本人	支援・介護認定なくても70才以上の一人・二人暮らし住宅へ、スロープ、手すり等設置する際、補助がほしい。昨年の秋から市内のタクシーが、廃業ないしは台数が大幅に減ってとても困っています。シルバー人材タクシー(市内限定運行)検討されたい。以前に宅食サービスを利用していましたが、2年前に廃止となりとても残念に思っています。(一食600円でバランスも良かったのですが。)
西地区	男性	73 歳	本人	今の所1人身ながら自立して生活できていると思います。この先、なるべく家族や回りの人に迷惑がかからないように健康な時に、先の身の振り方を早めに考えておこうと思います。

地区	性別	年齢	記入者	記述内容
西地区	男性	73 歳	本人	亡くなるまで現役で働く事ができる様にしたい。日本は人口減が激しい。「自分の事は自分でやる」事を基本に、年配者を尊敬する社会にしたいものです。
西地区	男性	73 歳	不明	高齢者の買い物や病院等の足となる交通が不便ですし、現在のバスの利用状況を改善すべきである。必要な時にタクシーを使える状態がほしい。(今でも使えるが高額な費用がかかる)デマンドタクシーを早く導入すべきです。
西地区	男性	74 歳	本人	今は健康(元気)なのでそんな事に対してまだ考えてない。
西地区	男性	74 歳	本人	市民病院の体質改善(人事)求む。
西地区	女性	74 歳	本人	今すぐはありません。独居老人なので先が不安です。金銭的にも精神的にも。
西地区	男性	75 歳	本人	1人暮らしの高齢者に行政にて1日1回位、安否確認と見守りのかね食事等(弁当)が出来るサービスがある市・町を望む。以前はスーパーとかに高齢者が何人か集まるソファ、イスとかがあったが、今はその様な人が集まるに集まる所が見当たらない。これもタバコのせいなのか。スペースは必要マナーの為に。
西地区	男性	75 歳	本人	サービスを必要とする段階になったとき、「待機」ではなく即、「施設入所」「必要介護が受けられる」等の体制整備をお願いしたい。“認知症にかかる相談窓口”について、広報等で告知して欲しい。
西地区	男性	75 歳	本人	今の所、特に心配なく過ごしているが、筋肉の衰えが心配である。その対策を考えている昨今である。
西地区	女性	75 歳	家族	2～3年前に、民生委員の方が時々声をかけてくれました。それだけでもほっとしたものでした。今は全くありません。いつまでこの住居に居られるか考えています。
西地区	女性	75 歳	家族	自分で車を運転して買物も行きたい所へ行き、それが目も耳も頭も車の運転が出来なくなってからずいぶん今の事分わすれる。ホッサが起きるとどこでもかまわずたおれる。自分で気が付いて起きるまでそのままです。自分がすごくみじめでいやになります。
西地区	男性	76 歳	本人	リハビリ施設の整備をもっと充実してもらいたい。市民病院の中での器具が古くて使用しにくい。
西地区	男性	76 歳	本人	毎日、高齢者福祉サービスの車に乗せられて行く人、又自宅へ送り届けられる人々を見ると、自分も何れこうなるのか、それ共働き続けて、急に倒れて死を迎えるのか。もう30年若かったら。共に良い生き様を過しましょう。
西地区	女性	76 歳	本人	まだ介護保険及び福祉サービス等について受けていないので特にありません。
西地区	女性	76 歳	本人	各地区の空屋を利用か会館でも老人が又若い方、子供、でも一緒に集う機会が一年数回でもあったら良いと思います。
西地区	女性	76 歳	本人	今は自分で運転でき、病院も行けますが、出来なくなった時どうなるか。主人は免許返上していますので2人分の医者通いの為。足(特にひざ)が悪いのでバスの利用はできないので考えています。
西地区	女性	76 歳	家族	収入が国民年金のみの為(独居)年金だけで入所出来る施設がほしい。)
西地区	女性	77 歳	本人	数年前に現在の家に越してきました。家の軒数が非常に少なく、友人になれる様な人は居ません。このままだと先々が心配です。ほぼ一日中テレビを見る生活なので、認知症になって娘の家族に迷惑を掛けたく無いと常に考えて居ります。
西地区	女性	77 歳	本人	年令が進むと、交通の手段が少なくなるので、循環バスの充実(回数、場所)をお願いしたい。(市民病院経由)
西地区	男性	78 歳	本人	現在は福祉サービス等必要ありませんが、いずれ加齢に伴って体力が低下し、それに伴って日常生活が思う様に出来なくなって来るのは目に見えています。その為に各種医療保険等を利用し、対応したいと思います。
西地区	男性	78 歳	本人	数年の内に介護が必要になると思っており、心配世代になって、先が見えない。
西地区	女性	78 歳	本人	いつも御苦勞様です。とてもありがたいです。私は家族が多いのであまり淋しい事はないが、もう少し老人の楽しみの場があったらと思います。投函が遅れてしまい申し訳ありませんがよろしいでしょうか。ごめんなさい。

地区	性別	年齢	記入者	記述内容
西地区	女性	78 歳	本人	市内循環バスは車を乗らない高齢者が街に出たり、医者に行く一つの交通機関なので是非続けてほしいと思います。
西地区	女性	78 歳	本人	私は匝瑳市のタクシー券をいただいている者です。先日券を利用させていただきました。その時にタクシードライバーも高齢者となり、もう三年位しかもたないだろうと言っていました。なかなか若いドライバーが入ってこないのが困ることだと。家族に移動をたのめなかった時のこと考えると不安です。市といたしましても、このような事を考えておいていただきたいと思います。
西地区	男性	79 歳	本人	現在の制度で充分かと考えています。特にありません。
西地区	男性	79 歳	本人	出来るだけ市内の病院(入院)で見てほしい
西地区	男性	80 歳	本人	その人その人の性格、家族環境によって適正にはむずかしいでしょう。
西地区	男性	80 歳	本人	介護の場を多くしてほしい。
西地区	女性	80 歳	家族	封書とアンケートに通し番号が書いてあり誰だか判ったらはずかしいな、なんて母が言っていました。
西地区	男性	81 歳	本人	お世話様です。よろしく。
西地区	女性	81 歳	本人	私は今健康です。高い介護料を払っています。年金生活(国民年金)をしているのに、皆さんのために私の介護料を使ってもらいたくないです。何とか人の介護料を使わずに自分の事は自分で出来ないのでしょうか。国の問題でしょうね。
西地区	女性	82 歳	家族	ケアマネジャー等、役所関係の人達に、もう少し見守りに来ていただけたらうれしいです。子どもも県内にはいますが、すぐ飛んでくる距離にはいないので心配です。(一昨年父が亡くなってからの生活が、淋しいようです。)
西地区	男性	83 歳	本人	それぞれお世話になる状態になったらよろしくお願いしたいですね。それまでは出来る範囲で頑張りたい。
西地区	男性	83 歳	本人	何事も過ぎたるは及ばざるがごとし。
西地区	男性	83 歳	本人	自動車の運転、利用を無くさないこと。自動車運転免許を取り上げないこと。通院、買い物、趣味をうばわないこと。
西地区	男性	84 歳	本人	家族に認知症と耳の障害者が居る。
西地区	女性	84 歳	本人	今は自分の事は自身で出来て居りますし、家事も自分でやれて居ります。自分で家の事が出来なくなったら、介護保険のサービスを受けたいと思います。飯倉台に住んで居りますので近くで受けられたら1番良いのですが。
西地区	女性	84 歳	家族	介護保険料は高すぎる。
西地区	男性	85 歳	本人	昨今、同窓生や友人が死亡されるとの悲しみが多くありつらいです。人口が少しでも減少しないことを願います。
西地区	女性	85 歳	家族	現在二人暮らしです。主人が入院したら体が丈夫でない私は一寸不安です。
西地区	男性	86 歳	本人	介護保険制度や高齢者福祉サービスの充実。地域の支え合い、助け合いの充実。
西地区	女性	86 歳	本人	(介護保険の手引き)とてもわかりやすく良い本です。今自分のために勉強しております。
西地区	女性	86 歳	本人	この市では、高齢者には、とてもつめたく感じます。足も腰の痛で医者にかよってましたが、車代が往復で5千円以上であれば医者にも行けずでがまん。車代のサービス買物でも、1ヶ月1回くらいは、したいので何かあればと、考えます歩く事できないので。
西地区	女性	86 歳	家族	まわりからデイサービスをすすめられるけど、本人が行きたがらなくてまだ行っていません。本人は家で好きにしているのが、ストレスがなくて過ごしやすいらしいので、もう少しこのまま様子をみます。
西地区	女性	86 歳	家族	現在野栄にある紙ふうせんというデイサービスを利用させていただいております。それまでは1人でいるのが不安で、私たち娘も大変心配していましたが、行くようになってからは明るくなり、話の合う友人もでき楽しみにしております。お世話してくださる方も親身になってくださり本当に感謝しております。(娘)
西地区	女性	87 歳	本人	私としては今の制度で満足です。漢字がほとんど調べないと書けません。見づらくてすみません。これからもよろしくお願い致します。
西地区	男性	88 歳	本人	家内がぬくもりの郷にお世話になっています。有難いと思っています。
西地区	男性	88 歳	本人	介護施設に入所したい時に入所できるよう施設を充実してもらいたい。

地区	性別	年齢	記入者	記述内容
西地区	女性	88 歳	本人	タクシー券はとても有難いです。今後どのような制度に変わるのでしょうか。一寸不安です。
西地区	女性	88 歳	本人	介護保険を受けて週3回ヘルパーさんに来ていただき、買物週1時間、料理週2時間やってもらい助かっています。
西地区	男性	89 歳	本人	ありがたいサービスだと思いますが、何分、男で趣味もなく仕事ばかりだったので、デイサービスに行きたがらないため、家ですごしています。何かたのしいことあったら教えてほしいです。
西地区	女性	90 歳	本人	高齢者福祉サービスに一度伺いたいと思い乍ら、いってない。何をお願い出来るのかわからない。そのうち伺いたいと思っている。
西地区	女性	92 歳	本人	第8期匠瑳市、高齢者福祉その他、心からの老人の為の行政に大満足です。役に立たない93才、御地に生活出来て感謝して居ります。
西地区	女性	92 歳	本人	路線バスを利用して買物、食事に行きます。体力の良い時は野菜作りや草取りをしています。自分のやりたいようにしていますので大変ではありません。路線バスが大変ありがたいです。
東地区	男性	65 歳	本人	今回の調査結果と、今後のスケジュール・結果に対する具体策について示して頂く様お願い致します。意義のある調査となる様期待する次第です。
東地区	女性	65 歳	本人	ストレッチや筋トレが高齢者には必要といわれている。団塊の世代以降の高齢者は、健康に対する関心は高いので、行政は、たくさん運動の講座を企画したらよいと思う。無料ではなく、料金を徴収しても集まると思う。
東地区	女性	65 歳	本人	旭市には健康福祉センター等、健康の為にトレーニングする所がありますが、匠瑳市には予防の為にトレーニングセンターがない。もっと充実させてほしい。
東地区	女性	65 歳	本人	高齢者世帯はほんの些細な事ができない場合もあるので、ボランティアというより制度の中で、ゴミ出しの手伝いや蛍光灯の交換等、気軽に依頼できるのがあればよいと思う。
東地区	女性	65 歳	本人	今のところ健康に問題はなく通院もせず過ごせているので、正直なところ介護や福祉に対し、深い関心があるとは言えません。それより独居の為、日々の生活の中で不便さを感じる事の方が気がかりといえれば気がかり。然しながら、いずれサービスを受ける事も考えられるが、どんな場面においても独居は孤立しがち。普段から地域や他者とのかかわりを積極的に持たないと社会に埋もれたり見過ごされる。
東地区	男性	66 歳	本人	健康寿命を少しでも延ばす事は皆の幸福の醸成と考えます。無気力な高齢者を少しでも減らす想思工夫は、官民挙げての課題です。その為には、行政と住民の交流、意見交換が必要と思います。
東地区	女性	66 歳	本人	サービスを受けるのが当たり前でいるが、それまで自分で努力することを理解していない人が多くいるように感じるののでいざサービスを受ける時の個人負担をもっとしてもよいと思う。
東地区	女性	66 歳	本人	なるべく自分のことは自分でできるよう生きて生きたいと思っているが、人の手を借りようになった時、子供達には自分の生活があり、働かなければ生きていけないので、介護施設などを増やしてほしい。
東地区	女性	66 歳	本人	以前、介護保険の認定の際、職員の方が匠瑳市は財政面で苦しいので、サービスに関してお金をかけたくないという趣旨の事を言われ、深く失望したことがあります。人口が減少している中で財政面で苦しいことは長く住んでいるので分かります。もう少し職員の方には市民の声に耳を傾け、想像力を働かせてくれたら良いと思います。
東地区	女性	66 歳	本人	今後増々すすむ高齢社会、住み慣れた地域や自宅で最期まで過ごしたいと熱望します。匠瑳市役所から発せられる高齢者福祉サービスが充実したものになることを応援したいと思います。
東地区	女性	66 歳	本人	私は現在まだ現役で仕事をしておりますがもう少し高齢になって自動車の運転ができなくなった時送迎サービスを受けられたら大変助かると思います。高齢になって歩くのが困難になった時は出張で、家まで来て下さる歯医者さんがおられたらいいなと思います。

地区	性別	年齢	記入者	記述内容
東地区	男性	67 歳	本人	ご苦労様です。身内にお世話になっている92才の義母が神奈川県に次男夫婦と一緒に住んでいます。何度も福祉サービス関連社に行ったり来たり、足、目、耳が極度に悪化してきており、大変な思いをしています。貴社制度には大変感謝しております。私はある程度の年齢になったら自身で判断出来る。制度が出きる事に期待をしています。
東地区	女性	67 歳	本人	1人暮らしの老人が1人で日常生活が出来なくなった時、適切なサービスが受けられるのか不安です。
東地区	女性	67 歳	本人	いつまでも迷惑をかけず生活を送りたいと思いますが、いつ体調を悪くするかわかりません。介護は大切な事です。サービスを受けられる体制をお願い致します。
東地区	女性	67 歳	本人	一人暮らしで、子供は県外にいますので、介護施設に待たずに入れるようにしてほしい。
東地区	女性	67 歳	本人	他の町では市民が利用出来るプールやスポーツジムが有ると聞きましたが、匝瑳市にもそのような施設を作っていただけます様ご要望致します。
東地区	男性	68 歳	本人	生活の質が維持され、意欲がもてるように訪問の家事代行(手伝い)をしてもらうと、自立しての活動もしやすくなると思う。駅近くの商店街等老人でも歩き易く歩車分離の道や交流の街並の整備等してもらうと健康維持のために歩いたり交流したりする事もしやすくなるのではと思う。
東地区	男性	68 歳	本人	私自身が福祉のボランティアをしております。私が不満なのは、私の周囲に居る市役所OBの方が福祉ボランティアに就かない。最も理解があるべき立場だと思うのですが。
東地区	女性	68 歳	本人	65歳を過ぎますと介護のリスクが高くなるのが現状です。年齢とともに年金は目減りします。しかし65歳から介護保険料が値上がります。収入が少なくなり、日常生活に於いて医療機関に行く回数は増えます。ますます老いて行く弱者は生活が苦しくなります。介護保険料、もう少し安くなりませんか。
東地区	女性	68 歳	本人	介護保険もう少し安くしてもらいたい。年金で生活しているので医者代が取られ息子と暮らしていますが、息子は知能停滞ですが、仕事は半日働いて給料は、もらっていますが、幼稚なので生活能力がないので私が支援しています。税金控除してもらっているのに医療控除はできないと言われていたのでできれば良いと思います。去年は台風で支出が多かったのだ。
東地区	女性	68 歳	本人	子供のいない夫婦なので、今後のこと(どちらかが倒れた時など老々介護になる為)をいつも心配しています。認知症のことも心配です。支援の程度が軽くても、相談なり支援の内容なりがしっかり対応できる政策をしてほしいと思っています。
東地区	女性	69 歳	本人	私の母が94才で、デイサービスを週2回受けています。楽しみに通っているので将来自分も有りかなと考えています。出来るだけ自分の事は自分で出来る様に心がけて行きます。有難うございます。
東地区	男性	70 歳	本人	この先介護が必要になった時に、介護を受けられるか不安である。
東地区	男性	70 歳	本人	介護度申請しても日数がかかるので、出来るだけ早く介護度を出してもらいたい。今現在では日数がかかりすぎてしまって、利用者様が亡くなられた例もたくさんある。改善していただければ有難いと思います。
東地区	男性	70 歳	本人	介護保険高すぎます。
東地区	男性	70 歳	本人	現在、組織をつくっても機能しないのでは意味の無い無駄な資金となる。多機能な面で地方自治の観点からも町内の育成、又メリットの創成が急務ではないかと思います。(町内の加入はデメリットだけでやめる町内会も進行している。)区長だけに負担をかけるだけでなく運用の転換。
東地区	男性	70 歳	本人	今のところ、まだ数年は福祉サービスをお願いすることはないと思っていますので、申し訳ありませんが、具体的なイメージが湧きません。
東地区	男性	70 歳	不明	介護保険に入っていますが、もし自分が必要になったら面倒みてくれますか。
東地区	男性	70 歳	不明	地域福祉事業等の活動が区会や各団体の役員から一般市民にうまく伝わっていない様な感じがする(強く)。
東地区	女性	70 歳	本人	今は車で移動できていますが、いずれ免許返納になります。週2回位は町へ出ますので(病院通院)市内循環バスの本数を増やしていただきたいと思います。タクシー利用は経済的に絶対無理なので。

地区	性別	年齢	記入者	記述内容
東地区	男性	71 歳	本人	今は車で買物、病院、役所等に行けるが行けない状態になったら代行をどのようにするか。
東地区	男性	71 歳	本人	特に有りませんが、独居老人の見廻り等、非常に大事な事と思われます。
東地区	男性	71 歳	本人	福祉施設の充実。このアンケートを元に何の役に立てようとしていますか。このアンケートの結果をお知らせ下さい。(発表して下さい)
東地区	女性	71 歳	本人	「健康がなにより」と常に思っています。健康でいられる事が何よりの宝ですね。
東地区	女性	71 歳	本人	将来、免許返納した後の生活について不安。買い物、医者通い、役所への届け出、等の足。昨年の台風時、ふれあいセンターに行く為、自力では無理な為、迎えをお願い。遠方にいる娘もお願いした所“その様なサービスはしておりません”と軽く断られました。ショックでした。もっと身近な役所になってほしいです。この調査(文章)だけで終わらせないで、現実味を是非、期待しております。
東地区	女性	71 歳	本人	匝瑳市にも、パークゴルフ場が出来ますが、自分で運転できなくなった時の事を考えると、吉崎までのコミュニティーバスが必要だと思います。80才過ぎても、病院に行くことなく、パークゴルフで歩く事が夢です。
東地区	女性	71 歳	本人	年金が少額なので介護保険料を安くして頂きたい。
東地区	男性	72 歳	本人	このアンケートは、65才以上の人全員に送付したのか。全員ではないとすれば、その抽出方法を最初を書いて欲しかった。又、Noもあまり気に入らないよ。
東地区	女性	72 歳	本人	どこに、何があるかよくわからない。もっとわかるように冊子を作って配ってください。広報などでも知らせてください。1947年～1949年までは、人口が多いと聞きますので。父の時、支援課に行ったら、課の人がよくわからなくて2度行った。一人ひとりが、よくわかるようにして欲しいですよ。高齢者が多くなります。具体的にどんなことを望んでいるのか聞きとりすることもいいのでは。アンケートだけではわからないと思います。おおよその事はわかってもね。役所のみなさんががんばってください。
東地区	女性	73 歳	本人	老化は自然の摂理ですから抗う事はできませんが、可能な限り、自分の力で過ごしたいと考えます。本当に何もできなくなった時は、と不安です。助けあえる環境が醸成されるといいなあと思います。
東地区	女性	73 歳	不明	義母の入退院後本人の希望にて在宅介護。一年後一人では大変になり、介護保険を利用させていただき(3か月程。一人で無理せず早くお願いすれば良かったと思っています)助かりました。特に亡くなる一週間前からの訪問看護員には、心強く想い感謝しておりました。ありがとうございました。
東地区	女性	74 歳	本人	国民年金で入所できる所があればうれしいですが、無理ですよ。こういう人はどうしたらいいんですか。月4万位ではね。死ぬしかないですね。
東地区	男性	75 歳	本人	家庭のゴミの集収がなく毎月お金を払って行っています。私は1500万ぐらい(税、すべての)払って市民税もファミリーで2000万～3000万支払ってゴミの収集がないのは市長の職にありながら全体を見てない。市職員もつめたい相談をしても。回答下さい。
東地区	男性	75 歳	本人	今現在妻が週2回のデイサービスを利用させて頂いております。大変助っております。
東地区	女性	75 歳	本人	介護(施設)で働いています。何の力も持っていない無力さを感じます。
東地区	男性	76 歳	本人	アンケート調査や結果に携わっておられる方々、真に御苦労様です。高齢者社会の為の大切な調査で更により良い福祉になります様に願っております。
東地区	男性	76 歳	本人	高齢者よりも、若い人が結婚して子供を育てるのに困らないような政策を考えてほしい。
東地区	男性	78 歳	本人	循環バスの見直しについてのお願い。私は10年前に小脳梗塞の為、身体のバランスをとることが出来ません。杖で歩くのがやっとですので5年前に免許証を返納しましたので外出、買物や病院通いに困っております。市の巡回バスは停留所が遠いため利用することが出来ません。巡回バスにはほとんど人が乗っていません。マイクロバスなどでどこでも乗り降り出来るようにしていただきたい。数日前に予約で、数人の家を廻り送り迎えすることができませんか。今後は年々1人暮らしや老夫婦が多くなり皆不便していると思います。

地区	性別	年齢	記入者	記述内容
東地区	男性	78 歳	家族	これから利用する介護保険制度や高齢者福祉サービスを詳しく知るには、パンフレット等ありますか。
東地区	男性	79 歳	本人	区の用件で電話しても通じず(数回)、前任者に携帯の番号を聞いても個人情報だからと教えてもらえず、そんな民生委員は不要。
東地区	男性	79 歳	本人	私は何事にも諦めず、前向に行動しています。諦めたら、人生は負だと思って毎日を動いています。毎日人様の事を思って行動しています、結果として後ですべてに於いて自分に来ると思い乍ら行動してます。
東地区	男性	80 歳	不明	年金ぐらしで介護保険料など支払いが困難。
東地区	女性	80 歳	本人	グランドゴルフ週2回皆と一緒に回れる人、又家事も孫の世話も出来る人(椿海地区)も介護度がついてデイサービスに行っています。出かける事は良いことかもしれませんが介護制度としては如何なものでしょうか。いいんですか。
東地区	男性	82 歳	本人	もうすこし介護保険がやすい方がありがたいです。考えて下さい。
東地区	男性	82 歳	本人	今は車の運転をしますが、この先出来なくなった場合は、交通の便が悪くてどうしたら良いかと考えています。
東地区	女性	83 歳	本人	施設(介護)に希望通りいつでも入所出来る様お願いいたします。
東地区	男性	84 歳	家族	介護保険料が高いが、特に今は利用していない。
東地区	男性	85 歳	本人	調査集計分析ご苦労様です。意見要望特にありません。
東地区	男性	85 歳	不明	地区の民生委員の方に時々、家庭訪問をしてもらいたい。(3か月に1度位)
東地区	女性	86 歳	本人	今は自分の事は自分で出来るがこれから先体が不自由になったら介護施設などに入ってお世話になりたいと思っております。宜しくをお願いいたします。
東地区	男性	87 歳	本人	足腰が一日一日弱っていき、歩行も思うようにはいかない状況のなか、中々外出は億劫になってしまう。自家用車の運転も心配でもあり不安な気持である。
東地区	女性	88 歳	家族	一年での申請大変。高齢者は大変だ。申請なしでオムツの配慮してほしい。
東地区	男性	89 歳	本人	高齢者福祉サービスの人がかかりの人が2～3月の1度位訪問できたら来てもらいたいな。世間の話が聞きたいです。
東地区	男性	89 歳	本人	市のタクシー券配付は大変ありがたい。
東地区	男性	90 歳	本人	少ない年金から、高い介護保険料が差引になるのが痛いです。
東地区	女性	92 歳	家族	今のところはお世話になる事もなく元気で過ごす事が出来、うれしい限りです。
東地区	女性	93 歳	本人	今の所身体が動かせるので頑張っております。バスは本当にたまにしか乗りませんが、一人切りだったりすると申し訳ない様な勿体ないかと思ってしまう。個人的に必要なだとは思いますがタクシー券ですと病院、買物など利用する人が多い様に思います。
東地区	男性	94 歳	本人	夜1人で不安。
東地区	女性	94 歳	家族	現在、別居の子の支援を受けながら、一人でがんばって生活しております。しかしながら、やがて(近い将来)介護施設等のお世話になる時が来ますので、その時は時間をかけずに入所できるような配慮をしていただけたらよいと思います。
南地区	男性	65 歳	本人	介護保険制度や福祉サービスの事は、あまり気にしてなかったもので、分からない事が多いので、今後お世話になる事になった時の為、知っておく必要があると思う。
南地区	男性	65 歳	本人	社会福祉、老人ホームなどの低額化、及び国、市町村の支援の充実。
南地区	男性	65 歳	本人	福祉制度を充実させてほしい。
南地区	男性	66 歳	本人	意見及び要望は少ない収入から保険料を天引きされているので、無駄にならない様使ってほしい。
南地区	女性	66 歳	本人	今は、自分でなんでもできますが、あと5年10年後が心配です。一人ぐらしなので、国民年金も少ししかもらえません。今は働いていますけど、これから先が心配です。
南地区	男性	67 歳	本人	地域のタクシー会社が廃業した為に高齢者にとって交通手段の確保が難しくなってしまったので、福祉タクシー等のサービス向上の為に、早急なる施策の展開及び整備を期待するものであります。

地区	性別	年齢	記入者	記述内容
南地区	男性	68 歳	本人	福祉サービスは今後、増々重要になっていくと思われますが、サービスが必要になる前の「健康維持」をどうするかが大切に思われます。市内各地区を拠点に、健康情報の提供、健康教室(運動)等を開催し、意識化していくことが要と思う。
南地区	女性	68 歳	本人	まだ高齢者としての実感がわからない。
南地区	男性	69 歳	本人	介護認定が厳しくなってきた(母の時より)。
南地区	男性	69 歳	本人	自分が思うには、まず介護保険料が高すぎることです。この先、自分自身が介護の必要がなかった場合、保険料の戻りがあってもいいと思う。強制的に年金から引かれるのは、非常になつくがいきません。
南地区	女性	70 歳	本人	健康な高齢者に参加してもらい、市をもっときれいにすることが出来るのではないのでしょうか。植木の街であるのに市内で感じることはないのですが。ムダが多い。このアンケート用紙を送る封筒が小さく入れづらい。送ってきた封筒は大きいのに。もっとよく考えてもらいたい。多くアンケートを回収する為に。他のことも市民が喜ぶ様に。
南地区	女性	70 歳	本人	現在、主人の介護におわれています。息子の応援があり、経済的には今のところ不安はありませんが、応援者のいない方々の事を思うと、一家に一人、寝たきりの人のかかえるには、生きていくのに大変な事と思います。市の財政が豊かになる事を願います。
南地区	男性	71 歳	本人	高齢者の介護生活へ至る人をできるだけ少なく、又遅らせるため高齢者自身で健康維持できるような対策と遂行を。例えばその一つとして高齢者の運動の仕方、日常生活管理、栄養管理等への高齢者への理解と実践を広める事等によって介護に関わる費用や人的手間の節減する方向等も必要だと思う。
南地区	男性	71 歳	本人	自分のことよりも、現在リハビリ入院中の母のことが中心の生活で余裕もなく、今後市には大変お世話になろうかと思えます。又ご相談にのっていただくことが増えますが、今後ともよろしく願います。
南地区	女性	71 歳	本人	今現在は生活に支障がない為、よく解りませんが不安はあります。
南地区	女性	71 歳	本人	私達もこれから年を取っていきます。アンケートを記入しながら考える事がたくさんありました。良い事ですね。これからも頑張っていきたいです。
南地区	女性	72 歳	本人	一人暮らしなので、この先自分の生き方が分らないのでその相談があればと娘は居ますが、余り世話になるのがわるいと思い、一人でかんがえている日々です。つまらないこと書きまして、すみません。追伸、皆さんの良い方がありましたら、教えて頂きたいです。
南地区	女性	72 歳	本人	現在息子が糖尿病で障害有り、障害年金の件について経済的に余裕無いので、多少年金が頂ければと思っております。色々福祉課に相談しました。
南地区	男性	73 歳	本人	社会福祉活動や支援事業活動の目的、内容、連絡先等の周知徹底。(福祉サービス等あることがわからない人が多い。)
南地区	女性	73 歳	家族	買い物、病院に行くのに誰かに送迎を頼まないといけない現状のため、移送等どうにかして欲しい。
南地区	女性	75 歳	本人	子供達とは離れての一人生活ですので一寸心配な事も有ります。(今は週に3~4日位働いて居りますがどんな風になってしまうだろうと心細く思う日も有ります。)働きながら友達と接したり、色々なことを相談したりしていますが友達も高齢者です。
南地区	女性	77 歳	本人	免許返納を考える。77才、デマンドタクシー、小型バス、乗合い出来る交通手段が欲しいです。病院へ行ったりするのにタクシーでは経済的に大変です。
南地区	男性	78 歳	本人	介護保険制度を利用する前の人達(健康状態)の良好な人を月1回コミュニティ利用して、脳活性化を中心にいろいろな行事を計画してみても。カルタ、ゲーム、ビデオ鑑賞、等々、老人クラブなどある組織を利用するのも一つの方法ではないか。
南地区	男性	78 歳	本人	今の時代、自分用の足がわりになる車が無いと不便です。買い物(日用品等の)に行く時、遠い所では、市内巡回バスでは、用が足りない店が多く、タクシーで行くと高い買い物になる。福祉の世話になっていて、申し分けないとは思いますが人間生きていて感じるのは、会いたい時に友人と逢ったり、子供や孫と時をすごす時だと思う。足変りなるものが無いと今の私には、人間としての生きている意味を感じない。

地区	性別	年齢	記入者	記述内容
南地区	女性	78 歳	本人	自分が介護を受けるようになったときは、この制度があると本当に助かると思います。
南地区	男性	79 歳	本人	介護保険制度について。介護保険が高いから、これから大変です。
南地区	男性	79 歳	本人	急な相談事がある場合の連絡所の表示やTEL先を(たとえばカード)のような物があつたらいいと考えます。宜しく願い致します。
南地区	男性	79 歳	本人	高齢者等が自由に過せる「広場」の設置を希望します。軽い体操・カラオケ・ゲーム・球技等、その人々に合致した内容の出来る広場があれば利用者もありがたいと思います。(利用日、時間、人数すべて自由に。)会場や担当者、安全管理等大変な問題が多いと思われますが、このような「広場」が出来れば最高と思います。
南地区	男性	79 歳	本人	免許証返納後の交通手段を充実させる事。
南地区	女性	79 歳	本人	80才が来ます。今のところ車の運転をしていて行動範囲は楽しんでいますが免許がなくなったときの寂しさを考えてしまいます。ぜひ移送・送迎サービスを利用しながら残りの人生を元気に過ごせたらと思います。足・腰の痛みも悩んでいます。
南地区	女性	79 歳	本人	今は必要ないけどいつかはだれかのお世話になると思います。78才仕事を下さる方又いろいろ毎日もの忘れがあるので回りの人に助けられて仕事をしておりますので感謝しております。自分も回りの人の助けになれる人でありたいと思うこの頃です。もう2年で80才自分でも信じられません。これからもよろしくお願い致します。
南地区	女性	80 歳	本人	現在は運転していますがこれから先が不安です。事故を起こすまえにと考えていますが、食生活の手段がわかりません。となり同志でもお茶をさそったり、さそわれたり中々出来ません。地域で集会所など月に2回位あつたら楽しく生活が出来るでしょう。個人的でなく匠瑳市として孤独な老人をつくらないで下さい。
南地区	女性	82 歳	本人	お買物に本当に困って居ます。タクシーは高いしタダで行こうとは思いませんが少し安く乗せて行ってくれる車がほしいです。
南地区	女性	82 歳	本人	バス停まで歩けないので家から乗れるタクシーが欲しい。
南地区	男性	83 歳	本人	これからもよろしくおねがいします。
南地区	女性	85 歳	家族	今は、家族と暮らしているので病院への移送は、家族の者に頼んでいますが、一人暮らしの場合を考えると、病院へも行けません。交通手段が、ほとんどない状態。バスは時間がかかりすぎて、トイレの心配もあります。若い人たちが少なくなっていくと不安です。
南地区	女性	86 歳	家族	お話ししたり、お風呂に自分で出来ていてもサービスがあると楽しいと思います。今は介護がとれないのでサービスは受けられないので、毎日出かけた様です。いつも友達と行っています。
南地区	女性	86 歳	家族	入居施設の充実・食事サービス。
南地区	女性	87 歳	本人	デマンドタクシーを走らせて下さい。
南地区	男性	89 歳	本人	いろいろ考え事が多くて悩む。
南地区	男性	89 歳	本人	其の頃忘れる事が出来た、89才と8か月毎日が初日として居ます。ありがとうございます。係の方ごころう様です。1日1日頑張ります。
南地区	女性	90 歳	本人	なるべく世話かけたくない。日々楽しくすごす。

V 資料編

第8期

郵 送

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 調査票

（高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定のためのアンケート調査）

ご協力のお願い

市民の皆さまには、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日ごろから本市の高齢者福祉行政にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、市では令和3年度から5年度までを計画期間とした「第8期匝瑳市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の策定にあたり、その基礎資料とするためのアンケート調査「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」を行うこととしました。

この調査は、要介護度の悪化につながるリスクや高齢者の生活支援の充実、介護予防の推進等のために必要な社会資源を把握し、計画に反映するために実施するものです。

匝瑳市の高齢者対策の今後の方向性を決める大切な調査ですので、本調査の趣旨をご理解の上、ご協力くださるようお願いいたします。

令和2年2月

匝瑳市長 太田 安規

＜ご記入にあたってのお願い＞

- ◆この調査の対象者は、令和元年 12 月 31 日現在で 65 歳以上の方です。
- ◆ご回答は、お送りした封筒のあて名のご本人にお願いいたします。
- ◆ご回答は、あてはまる答えの番号を○で囲んでください。
- ◆回答数は設問によって異なるため、() 内のことわり書きに従ってください。
- ◆「その他」と回答した場合には、() 内に具体的な内容をご記入ください。
- ◆ご記入いただいた調査票は、2月21日（金）までに、同封の返信用封筒に入れて、お近くの郵便ポストに投函してください。切手は不要です。
- ◆この調査に関するお問い合わせは、下記まで、お願いいたします。

＜問い合わせ先＞ 匝瑳市高齢者支援課介護保険班

電話：0479-73-0033（直通）

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護および活用目的について】

- この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、介護保険事業計画策定の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、匝瑳市内で適切に管理いたします。
- ただし、介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する匝瑳市外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

調査票の記入者や、あて名のご本人の情報について

(1) 調査票の記入日をお書きください。

令和2年（ ）月（ ）日

(2) 調査票を記入されたのはどなたですか。(○は1つ)

- 1. あて名のご本人が記入
- 2. ご家族が記入 → （あて名のご本人からみた続柄 ）
- 3. その他（ ）

(3) あて名のご本人の年齢を記入してください。

（ ）歳 （記入日時点）

(4) あて名のご本人の性別をお答えください。

- 1. 男性 2. 女性

問1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えてください。(〇は1つ)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 1人暮らし | 2. 夫婦2人暮らし(配偶者 65 歳以上) |
| 3. 夫婦2人暮らし(配偶者 64 歳以下) | 4. 息子・娘との2世帯 |
| 5. その他() | |

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(〇は1つ)

- | | |
|--|-----------------------------|
| 1. 介護・介助は必要ない | 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない |
| 3. 現在、何らかの介護を受けている(要介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む) | |

(2)-① 【(2)において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方(介護が必要な方)のみ】

①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) | 2. 心臓病 |
| 3. がん(悪性新生物) | 4. 呼吸器の病気(肺炎・肺炎等) |
| 5. 関節の病気(リウマチ等) | 6. 認知症(アルツハイマー病等) |
| 7. パーキンソン病 | 8. 糖尿病 |
| 9. 腎疾患(透析) | 10. 視覚・聴覚障害 |
| 11. 骨折・転倒 | 12. 脊椎損傷 |
| 13. 高齢による衰弱 | 14. その他() |
| 15. 不明 | |

②-② 【(2)において「3. 現在、何らかの介護を受けている」方のみ】

②主にどなたの介護、介助を受けていますか。(〇はいくつでも)

- | | | | | |
|-------------|----------------|-----------|----------|------|
| 1. 配偶者（夫・妻） | 2. 息子 | 3. 娘 | 4. 子の配偶者 | 5. 孫 |
| 6. 兄弟・姉妹 | 7. 介護サービスのヘルパー | 8. その他（ ） | | |

(3)現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(〇は1つ)

- | | | |
|-------------|-------------|--------|
| 1. 大変苦しい | 2. やや苦しい | 3. ふつう |
| 4. ややゆとりがある | 5. 大変ゆとりがある | |

(4)お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(〇は1つ)

- | | | |
|-----------------|-----------------|-----------|
| 1. 持家（一戸建て） | 2. 持家（集合住宅） | 3. 公営賃貸住宅 |
| 4. 民間賃貸住宅（一戸建て） | 5. 民間賃貸住宅（集合住宅） | 6. 借家 |
| 7. その他（ ） | | |

問2 からだを動かすことについて

(1)～(3) 日常の歩行状況などについてお答えください。(それぞれ1つに〇)

	1. できるし、 している	2. できるけど していない	3. できない
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1	2	3
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1	2	3
(3) 15分位続けて歩いていますか	1	2	3

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)

1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない

(5) 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない

(6) 週に1回以上は外出していますか。(○は1つ)

1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2～4回 4. 週5回以上

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)

1. とても減っている 2. 減っている 3. あまり減っていない 4. 減っていない

(8) 外出を控えていますか。(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(8)-① 【(8)で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】

①外出を控えている理由は、次のどれですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|---|
| 1. 病気 | 2. 障害(脳卒中の後遺症など) |
| 3. 足腰などの痛み | 4. トイレの心配(失禁など) |
| 5. 耳の障害(聞こえの問題など) | 6. 目の障害 |
| 7. 外での楽しみがない | 8. 経済的に出られない |
| 9. 交通手段がない | 10. その他() |

(9) 外出する際の移動手段は何ですか。(○はいくつでも)

1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク
4. 自動車(自分で運転)	5. 自動車(人に乗せてもらう)	6. 電車
7. 路線バス	8. 病院や施設のバス	9. 車いす
10. 電動車いす(カート)	11. 歩行器・シルバーカー	12. タクシー
13. その他()		

問3 食べることについて

(1) あて名のご本人の身長・体重をお答えください。(それぞれ数字を記入)

身長				cm	体重				kg
----	----------------------	----------------------	----------------------	----	----	----------------------	----------------------	----------------------	----

(2)～(5) 食べることや、口や歯の状況についてお答えください。(それぞれ1つに○)

	はい	いいえ
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1	2
(3) お茶や汁物等でむせることがありますか	1	2
(4) 口の渇きが気になりますか	1	2
(5) 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか	1	2

(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(○は1つ)

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

1. 自分の歯は <u>20本以上</u> 、かつ <u>入れ歯を利用</u>	2. 自分の歯は <u>20本以上</u> 、 <u>入れ歯の利用なし</u>
3. 自分の歯は <u>19本以下</u> 、かつ <u>入れ歯を利用</u>	4. 自分の歯は <u>19本以下</u> 、 <u>入れ歯の利用なし</u>

(6)-①【すべての方】

①噛み合わせは良いですか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(6)-②【(6)で「1」または「3」の方(入れ歯を利用している方)のみ】

②毎日入れ歯の手入れをしていますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(8) どなたかと食事をとにする機会がありますか。(○は1つ)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 毎日ある | 2. 週に何度かある | 3. 月に何度かある |
| 4. 年に何度かある | 5. ほとんどない | |

問4 毎日の生活について

(1)～(16)毎日の生活の状況についてお答えください。(それぞれ1つに○)

■物忘れについて

	はい	いいえ
(1) 物忘れが多いと感じますか	1	2
(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	1	2
(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか	1	2

■外出・買物・食事・金銭管理について	1. できるし、 している	2. できるけど していない	3. できない
(4) バスや電車を使って1人で外出 していますか(自家用車でも可)	1	2	3
(5) 自分で食品・日用品の買物を していますか	1	2	3
(6) 自分で食事の用意をしています か	1	2	3
(7) 自分で請求書の支払いをして いますか	1	2	3
(8) 自分で預貯金のおし入れをして いますか	1	2	3

■書類の作成、新聞・雑誌の購読状況について	はい	いいえ
(9) 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか	1	2
(10) 新聞を読んでいますか	1	2
(11) 本や雑誌を読んでいますか	1	2

■健康への関心と他者との関わりについて	はい	いいえ
(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか	1	2
(13) 友人の家を訪ねていますか	1	2
(14) 家族や友人の相談にのっていますか	1	2
(15) 病人を見舞うことができますか	1	2
(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか	1	2

(17) 趣味はありますか。(○は1つ)

1. 趣味あり (→具体的に) 2. 思いつかない

(18) 生きがいがありますか。(○は1つ)

1. 生きがいあり (→具体的に) 2. 思いつかない

問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

(①～⑧それぞれについて、1つずつ○)

	週4回 以上	週 2～3回	週1回	月 1～3回	年に 数回	参加して いない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係の グループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ 介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

- (2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

- (3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

問6 たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。

- (1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人。(〇はいくつでも)

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
7. その他() 8. そのような人はいない

- (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人。(〇はいくつでも)

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
7. その他() 8. そのような人はいない

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。(〇はいくつでも)

- | | | |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他 () | 8. そのような人はいない | |

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人。(〇はいくつでも)

- | | | |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他 () | 8. そのような人はいない | |

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。

(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 自治会・町内会・老人クラブ | 2. 社会福祉協議会・民生委員 |
| 3. ケアマネジャー | 4. 医師・歯科医師・看護師 |
| 5. 地域包括支援センター・役所 | 6. その他 () |
| 7. そのような人はいない | |

(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(〇は1つ)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 毎日ある | 2. 週に何度かある | 3. 月に何度かある |
| 4. 年に何度かある | 5. ほとんどない | |

(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。(〇は1つ)

同じ人には何度会っても1人と数えることとします。

- | | | | | |
|-------------|---------|---------|---------|----------|
| 1. 0人 (いない) | 2. 1～2人 | 3. 3～5人 | 4. 6～9人 | 5. 10人以上 |
|-------------|---------|---------|---------|----------|

1. 近所・同じ地域の人	2. 幼なじみ
3. 学生時代の友人	4. 仕事での同僚・元同僚
5. 趣味や関心が同じ友人	6. ボランティア等の活動での友人
7. その他（ ）	8. いらない

問7 健康について

1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない

とても不幸 ←————→ とても幸せ

0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点

1. はい	2. いいえ
-------	--------

1. はい 2. いいえ

(5) お酒は飲みますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. ほぼ毎日飲む | 2. 時々飲む |
| 3. ほとんど飲まない | 4. もともと飲まない |

(6) タバコは吸っていますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. ほぼ毎日吸っている | 2. 時々吸っている |
| 3. 吸っていたがやめた | 4. もともと吸っていない |

(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---|--|
| 1. ない | 2. 高血圧 |
| 3. <small>のうそっちゅう</small> 脳卒中 (<small>のうしゅつけつ</small> 脳出血・ <small>のうこうそくなど</small> 脳梗塞等) | 4. 心臓病 |
| 5. <small>とうにょうびょう</small> 糖尿病 | 6. <small>こうしけっしゅう</small> 高脂血症 (<small>しじついじょう</small> 脂質異常) |
| 7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等) | 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 |
| 9. <small>じんぞう</small> 腎臓・ <small>ぜんりつせん</small> 前立腺の病気 | 10. <small>きんこつかく</small> 筋骨格の病気 (<small>こつそ</small> 骨粗しょう症、関節症等) |
| 11. <small>がいしやう</small> 外傷 (<small>てんどう</small> 転倒・ <small>こっせつなど</small> 骨折等) | 12. がん (悪性新生物) |
| 13. 血液・ <small>めんえき</small> 免疫の病気 | 14. うつ病 |
| 15. <small>にんちしやう</small> 認知症 (アルツハイマー病等) | 16. パーキンソン病 |
| 17. 目の病気 | 18. 耳の病気 |
| 19. その他 () | |

問8 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(〇は1つ)

1. はい

2. いいえ

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(〇は1つ)

1. はい

2. いいえ

問9 その他

(1) あなたが健康を維持するために必要と思われることは何ですか。(〇は3つまで)

- | | | |
|--|------------|-------------------|
| 1. <small>ようつう</small> 腰痛・ <small>しつづ</small> 膝痛予防 | 2. 転倒・骨折予防 | 3. ストレッチ・筋力トレーニング |
| 4. 認知症予防 | 5. 栄養バランス | 6. 口腔ケア |
| 7. その他() | | |

(2) あったら利用してみたい高齢者福祉サービスは何ですか。(〇は3つまで)

- | | | |
|---|-----------------|-------------|
| 1. 移送・送迎サービス | 2. 安否確認・見守りサービス | 3. 家事代行サービス |
| 4. 買い物支援(ア. 宅配 イ. 移動販売車 ウ. 店舗までの移送) | | |
| 5. 配食サービス | 6. つどいの場 | |
| 7. その他() | | |

介護保険制度や高齢者福祉サービスなどについて、ご意見・ご要望などがございましたら、
ご自由にお書きください。

.....

ご記入いただいたアンケート用紙は **2月21日(金)** までに同封の返信用封筒に入れて、お近くの郵便ポストに投函して下さい。切手は不要です。

■■■以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました■■■

在宅介護実態調査 調査票

被保険者番号[_____]

【A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか】（複数選択可）

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 調査対象者本人 | 2. 主な介護者となっている家族・親族 |
| 3. 主な介護者以外の家族・親族 | 4. 調査対象者のケアマネジャー |
| 5. その他 | |

A票 認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目

問1 世帯類型について、ご回答ください(1つを選択)

- | | | |
|---------|-----------|--------|
| 1. 単身世帯 | 2. 夫婦のみ世帯 | 3. その他 |
|---------|-----------|--------|

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つを選択)

- | | | |
|---------------------------|---|---------|
| 1. ない | } | 問8(裏面)へ |
| 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない | | 問3～問13へ |
| 3. 週に1～2日ある | | |
| 4. 週に3～4日ある | | |
| 5. ほぼ毎日ある | | |

問3 主な介護者の方は、どなたですか(1つを選択)

- | | | |
|--------|----------|----------|
| 1. 配偶者 | 2. 子 | 3. 子の配偶者 |
| 4. 孫 | 5. 兄弟・姉妹 | 6. その他 |

問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください(1つを選択)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください(1つを選択)

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20代 | 3. 30代 |
| 4. 40代 | 5. 50代 | 6. 60代 |
| 7. 70代 | 8. 80歳以上 | 9. わからない |

問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください(複数選択可)

〔身体介護〕

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助(食べる時) | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、スーマ 等) | |

〔生活援助〕

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等) | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

〔その他〕

- | | |
|---------|-----------|
| 15. その他 | 16. わからない |
|---------|-----------|

問7 ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去 1 年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(複数選択可)

- | | |
|--------------------------|-------------------------------|
| 1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く) | 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く) |
| 3. 主な介護者が転職した | 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した |
| 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない | 6. わからない |

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

● ここから再び、全員に調査してください。

問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください(複数選択可)

- | | | |
|-----------------------|-------------|-------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 | 3. 掃除・洗濯 |
| 4. 買い物(宅配は含まない) | 5. ゴミ出し | 6. 外出同行(通院、買い物など) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ | 9. サロンなどの定期的な通いの場 |
| 10. その他 | 11. 利用していない | |

※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください(複数選択可)

- | | | |
|-----------------------|------------|-------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 | 3. 掃除・洗濯 |
| 4. 買い物(宅配は含まない) | 5. ゴミ出し | 6. 外出同行(通院、買い物など) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ | 9. サロンなどの定期的な通いの場 |
| 10. その他 | 11. 特になし | |

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

問 10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください(1つを選択)

1. 入所・入居は検討していない
2. 入所・入居を検討している
3. すでに入所・入居申し込みをしている

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問 11 ご本人(認定調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください(複数選択可)

1. 脳血管疾患(脳卒中)
2. 心疾患(心臓病)
3. 悪性新生物(がん)
4. 呼吸器疾患
5. 腎疾患(透析)
6. 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)
7. 膠原病(関節リウマチ含む)
8. 変形性関節疾患
9. 認知症
10. パーキンソン病
11. 難病(パーキンソン病を除く)
12. 糖尿病
13. 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)
14. その他
15. なし
16. わからない

問 12 ご本人(認定調査対象者)は、現在、訪問診療を利用していますか(1つを選択)

1. 利用している
2. 利用していない

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

問 13 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか(1つを選択)

1. 利用している
2. 利用していない

● 問 13 で「2.」を回答した場合は、問 14 も調査してください。

問 14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか(複数選択可)

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
9. その他

● 問2で「2.」～「5.」を回答し、さらに「主な介護者」が調査に同席している場合は、「主な介護者」の方にB票へのご回答・ご記入をお願いしてください。

● 「主な介護者」の方が同席されていない場合は、ご本人(調査対象者の方)にご回答・ご記入をお願いしてください(ご本人にご回答・ご記入をお願いすることが困難な場合は、無回答で結構です)。

被保険者番号()

B票

主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入頂く項目

※主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入(調査票の該当する番号に○)をお願い致します。

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つを選択)

1. フルタイムで働いている
2. パートタイムで働いている
3. 働いていない
4. 主な介護者に確認しないと、わからない

問2～問5へ

問5(裏面)へ

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」、「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問2 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか(複数選択可)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問3 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか(3つまで選択可)

1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
3. 制度を利用しやすい職場づくり
4. 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)
5. 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
8. 介護をしている従業員への経済的な支援
9. その他
10. 特にない
11. 主な介護者に確認しないと、わからない

問4 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけるかどうか(1つを選択)

1. 問題なく、続けていける
2. 問題はあるが、何とか続けていける
3. 続けていくのは、やや難しい
4. 続けていくのは、かなり難しい
5. 主な介護者に確認しないと、わからない

⇒ 皆様、裏面へお進みください

● ここから再び、全員の方にお伺いします。

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください
(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)

〔身体介護〕

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助(食べる時) | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) | |

〔生活援助〕

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等) | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

〔その他〕

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 15. その他 | 16. 不安に感じていることは、特にない |
| 17. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

介護予防・日常生活圏域二一ズ調査
在宅介護実態調査
調査結果報告書

発 行 : 令和2年6月
編 集 : 匝瑳市高齢者支援課
